

案内図

工事場所
和光市広沢地内

案内図

図面リスト

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
	(意匠図)		(意匠図)				(電気図)		(機械設備図)
A-01	案内図・図面リスト	A-23	2階天井伏図(改修前)	A-45	便所詳細図	E-01	電気設備特記仕様書	M-01	機械設備特記仕様書(1)
A-02	特記仕様書(改修その1)	A-24	2階天井伏図(改修後)	A-46	階段詳細図	E-02	電気設備配置図	M-02	機械設備特記仕様書(2)
A-03	特記仕様書(改修その2)	A-25	展開図(1)(改修前)	A-47	サイン計画図(1)	E-03	受変電設備単線結線図	M-03	給排水設備配置図
A-04	特記仕様書(改修その3)	A-26	展開図(2)(改修前)	A-48	サイン計画図(2)	E-04	分電盤結線図(1)	M-04	給排水衛生設備1階平面図(改修前)
A-05	特記仕様書(改修その4)	A-27	展開図(3)(改修前)	A-49	部分詳細図(1)	E-05	分電盤結線図(2)	M-05	給排水衛生設備2階平面図(改修前)
A-06	特記仕様書(改修その5)	A-28	展開図(4)(改修前)	A-50	部分詳細図(2)	E-06	分電盤結線図(3)	M-06	給排水衛生設備1階平面図(改修後)
A-07	特記仕様書(改修その6)	A-29	展開図(5)(改修前)	A-51	家具詳細図	E-07	系統図	M-07	給排水衛生設備2階便所平面図(改修後)
A-08	工事区分表	A-30	展開図(6)(改修前)	A-52	外構図	E-08	幹線・動力・弱電1階平面図(改修前)	M-08	換気・空調設備1階平面図(改修前後)
A-09	仕上表(1)	A-31	展開図(1)(改修後)	A-53	外構詳細図	E-09	幹線・動力・弱電1階平面図(改修後)	M-09	換気・空調設備2階平面図(改修前後)
A-10	仕上表(2)	A-32	展開図(2)(改修後)			E-10	幹線・動力・弱電2階平面図(改修前)		
A-11	配置図・仮設計画図・概略工程表	A-33	展開図(3)(改修後)			E-11	幹線・動力・弱電2階平面図(改修後)		
A-12	1階平面図(改修前)	A-34	展開図(4)(改修後)			E-12	電話機特記仕様書		
A-13	1階平面図(改修後)	A-35	展開図(5)(改修後)			E-13	照明器具姿図(改修前)		
A-14	2階平面図(改修前)	A-36	展開図(6)(改修後)			E-14	照明器具姿図(改修後)		
A-15	2階平面図(改修後)	A-37	建具表キープラン(1階)(改修前)			E-15	電灯コンセント1階平面図(改修前)		
A-16	屋上平面図(1)	A-38	建具表キープラン(2階)(改修前)			E-16	電灯コンセント1階平面図(改修後)		
A-17	屋上平面図(2)	A-39	建具表(1)(改修前)			E-17	電灯コンセント2階平面図(改修前)		
A-18	立面図	A-40	建具表(2)(改修前)			E-18	電灯コンセント2階平面図(改修後)		
A-19	矩計図(改修前)	A-41	建具表キープラン(1階)(改修後)			E-19	自動火災報知機1階平面図(改修前)		
A-20	矩計図(改修後)	A-42	建具表キープラン(2階)(改修後)			E-20	自動火災報知機1階平面図(改修後)		
A-21	1階天井伏図(改修前)	A-43	建具表(1)(改修後)			E-21	自動火災報知機1階平面図(改修後)		
A-22	1階天井伏図(改修後)	A-44	建具表(2)(改修後)			E-22	自動火災報知機1階平面図(改修後)		

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				設計年月日

工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事

図面名称 案内図・図面リスト

A-01

No.

工事名	事務所用建物（旧保健センター）改修工事	
章	項目	特記事項
I 工事概要	1. 工事場所	埼玉県和光市広沢1番5号
2. 敷地面積	一 m ²	
3. 工事種目 (建物概要)	旧保健センターを和光市水道庁舎に改修する工事 上記工事に伴う電気設備、機械設備の更新工事	
4. 工事内容	内装の改修工事と間仕切り変更工事 上記に伴う電気および機械設備工事 1・2階便所、多目的便所の改修工事 駐車場の再整備と樹木の伐採・剪定を伴う外構改修工事 床・壁・天井(アスベストレベル3)建材の撤去・処分工事 本改修工事に支障のある設置物を既存撤去後、処分か復旧するか は特記なき場合は係員と協議の上決定する事。	
5. 工期	契約工期 共通仮設費率の算定に用いる工期 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工期間 ただし、仮設工事等は施設との協議による	契約日から令和8年3月20日まで 令和7年7月1日から令和8年2月28日まで 主任技術者と協議の上決定する事。 現場施工に着手するまで 令和7年7月1日から令和8年2月28日まで ただし、仮設工事等は施設との協議による
6. 工事範囲	※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。	
工事項目	工事種目	改修工事
	2. 仮設工事	○
	3. 防水改修工事	
	4. 外壁改修工事	
	-1 コンクリート打放し 仕上げ外壁	
	-2 モルタル塗り仕上げ外壁	
	-3 タイル張り仕上げ外壁	
	-4 塗り仕上げ外壁	
	-5 外壁用塗膜防水塗り	
	5. 建具改修工事	○
	6. 内装改修工事	○
工事種目	7. 塗装改修工事	○
	8. 耐震改修工事	
	9. 環境配慮改修工事	○
	10. 外構工事	○
	11. コンクリート工事	
	12. その他	
	13. 県産品の使用	
	14. 環境への配慮	
	15. 材料の品質等	
	16. 石綿含有建材の調査	
工事種目	17. 週休2日制工事	
	18. 仮設間仕切り	
	19. 施工箇所	
	20. 中間検査	
	21. 完成図等	
	22. 保証書	
	23. その他	
	24. 附設工事	
	25. 既存部分の養生	
	26. 仮設間仕切り	
工事種目	27. 保証書	
	28. 既存部分の養生	
	29. 仮設間仕切り	
	30. 保証書	
	31. 既存部分の養生	
	32. 仮設間仕切り	
	33. 保証書	
	34. 既存部分の養生	
	35. 仮設間仕切り	
	36. 保証書	
工事種目	37. 既存部分の養生	
	38. 仮設間仕切り	
	39. 保証書	
	40. 既存部分の養生	
	41. 仮設間仕切り	
	42. 保証書	
	43. 既存部分の養生	
	44. 仮設間仕切り	
	45. 保証書	
	46. 既存部分の養生	
工事種目	47. 仮設間仕切り	
	48. 保証書	
	49. 既存部分の養生	
	50. 仮設間仕切り	
	51. 保証書	
	52. 既存部分の養生	
	53. 仮設間仕切り	
	54. 保証書	
	55. 既存部分の養生	
	56. 仮設間仕切り	
工事種目	57. 保証書	
	58. 既存部分の養生	
	59. 仮設間仕切り	
	60. 保証書	
	61. 既存部分の養生	
	62. 仮設間仕切り	
	63. 保証書	
	64. 既存部分の養生	
	65. 仮設間仕切り	
	66. 保証書	
工事種目	67. 既存部分の養生	
	68. 仮設間仕切り	
	69. 保証書	
	70. 既存部分の養生	
	71. 仮設間仕切り	
	72. 保証書	
	73. 既存部分の養生	
	74. 仮設間仕切り	
	75. 保証書	
	76. 既存部分の養生	
工事種目	77. 仮設間仕切り	
	78. 保証書	
	79. 既存部分の養生	
	80. 仮設間仕切り	
	81. 保証書	
	82. 既存部分の養生	
	83. 仮設間仕切り	
	84. 保証書	
	85. 既存部分の養生	
	86. 仮設間仕切り	
工事種目	87. 保証書	
	88. 既存部分の養生	
	89. 仮設間仕切り	
	90. 保証書	
	91. 既存部分の養生	
	92. 仮設間仕切り	
	93. 保証書	
	94. 既存部分の養生	
	95. 仮設間仕切り	
	96. 保証書	
工事種目	97. 既存部分の養生	
	98. 仮設間仕切り	
	99. 保証書	
	100. 既存部分の養生	
	101. 仮設間仕切り	
	102. 保証書	
	103. 既存部分の養生	
	104. 仮設間仕切り	
	105. 保証書	
	106. 既存部分の養生	
工事種目	107. 仮設間仕切り	
	108. 保証書	
	109. 既存部分の養生	
	110. 仮設間仕切り	
	111. 保証書	
	112. 既存部分の養生	
	113. 仮設間仕切り	
	114. 保証書	
	115. 既存部分の養生	
	116. 仮設間仕切り	
工事種目	117. 保証書	
	118. 既存部分の養生	
	119. 仮設間仕切り	
	120. 保証書	
	121. 既存部分の養生	
	122. 仮設間仕切り	
	123. 保証書	
	124. 既存部分の養生	
	125. 仮設間仕切り	
	126. 保証書	
工事種目	127. 既存部分の養生	
	128. 仮設間仕切り	
	129. 保証書	
	130. 既存部分の養生	
	131. 仮設間仕切り	
	132. 保証書	
	133. 既存部分の養生	
	134. 仮設間仕切り	
	135. 保証書	
	136. 既存部分の養生	
工事種目	137. 保証書	
	138. 既存部分の養生	
	139. 仮設間仕切り	
	140. 保証書	
	141. 既存部分の養生	
	142. 仮設間仕切り	
	143. 保証書	
	144. 既存部分の養生	
	145. 仮設間仕切り	
	146. 保証書	
工事種目	147. 既存部分の養生	
	148. 仮設間仕切り	
	149. 保証書	
	150. 既存部分の養生	
	151. 仮設間仕切り	
	152. 保証書	
	153. 既存部分の養生	
	154. 仮設間仕切り	
	155. 保証書	
	156. 既存部分の養生	
工事種目	157. 保証書	
	158. 既存部分の養生	
	159. 仮設間仕切り	
	160. 保証書	
	161. 既存部分の養生	
	162. 仮設間仕切り	
	163. 保証書	
	164. 既存部分の養生	
	165. 仮設間仕切り	
	166. 保証書	
工事種目	167. 既存部分の養生	
	168. 仮設間仕切り	
	169. 保証書	
	170. 既存部分の養生	
	171. 仮設間仕切り	
	172. 保証書	
	173. 既存部分の養生	
	174. 仮設間仕切り	
	175. 保証書	
	176. 既存部分の養生	
工事種目	177. 保証書	
	178. 既存部分の養生	
	179. 仮設間仕切り	
	180. 保証書	
	181. 既存部分の養生	
	182. 仮設間仕切り	
	183. 保証書	
	184. 既存部分の養生	
	185. 仮設間仕切り	
	186. 保証書	
工事種目	187. 既存部分の養生	
	188. 仮設間仕切り	
	189. 保証書	
	190. 既存部分の養生	
	191. 仮設間仕切り	
	192. 保証書	
	193. 既存部分の養生	
	194. 仮設間仕切り	
	195. 保証書	
	196. 既存部分の養生	
工事種目	197. 保証書	
	198. 既存部分の養生	
	199. 仮設間仕切り	
	200. 保証書	
	201. 既存部分の養生	
	202. 仮設間仕切り	
	203. 保証書	
	204. 既存部分の養生	
	205. 仮設間仕切り	
	206. 保証書	
工事種目	207. 既存部分の養生	</

⑤	1 改修工法 建 具 改 修 工 事	[5. 1. 3]		10 ステンレス製建具 ⑪ 木製建具	性能値等 建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所 ・7m以内製建具 樹脂製建具 ・鋼製建具 ・外部 ・内部 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ・木製建具 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 新規建具周囲の補修工法及び範囲 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。	[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による)・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性的等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ() (適用する建具 ※建具表による) 断熱性的等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級(-D-1:1/300 -D-2:1/120 -D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)	17 軽量シャッター ⑫ ガラス	管理用シャッターのシャッターケース ・設ける・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) めっきの付着量※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS43JIL 耐震ドア	① 改修範囲 内装改修工事 ② 既存床の撤去及び下地補修 ③ 既存壁の撤去及び下地補修 ④ 施工一般 5 製材	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合戸天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合戸天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存床のまま・図示 ビニル床シート等の除去※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6. 2. 2] 合成樹脂塗床材の除去工法・機械的除去工法・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるボリマーゼメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の中の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4. 3. 10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置)※図示 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4. 3. 10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置)※図示 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1) (a) (b)による ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材		
		[5. 1. 4]										
2 防火戸		[5. 1. 5]		建具見本の製作 ・行う(建具符号:)・行わない	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	
3 見本の製作等		[5. 1. 6]		建具見本の製作 ・行う(建具符号:)・行わない	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	建具見本製作の目的等: ()	
4 防犯建物部品		[5. 1. 7]		通用箇所(・建具表による)								
5 アルミニウム製建具		[5. 2. 2~5] [表5. 2. 1, 2]		性能値等 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)	・A種 ・B種 ・C種	・S-4 ・S-5 ・S-6	・W-4 ・W-100 ・W-5	・70 ・100 ・	※図示による	※図示による	※図示による	
6 網戸等		[5. 2. 3] [5. 3. 3]		防音ドア、防音サッシ 遮音性的等級() (適用する建具 ※建具表による)								
7 樹脂製建具		[5. 2. 2] [5. 3. 2~5]		性能値等 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)	・A種 ・B種 ・C種	・S-4 ・S-5 ・S-6	・W-4 ・W-5	・70 ・100 ・	※図示による	※図示による	※図示による	
8 鋼製建具		[5. 2. 2] [5. 4. 2, 4] [表5. 4. 2]		性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具表による)・適用しない								
9 鋼製軽量建具		[5. 2. 2] [5. 5. 2~4]		耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)	・A種 ・B種 ・C種	・S-4 ・S-5 ・S-6	・W-4 ・W-5	・70 ・100 ・	※図示による	※図示による	※図示による	
10 ステンレス製建具 ⑪ 木製建具		[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]		性能値等 建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所 ・7m以内製建具 樹脂製建具 ・鋼製建具 ・外部 ・内部 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ・木製建具 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 新規建具周囲の補修工法及び範囲 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。								
11 建具用金物 ⑫ ガラス		[5. 8. 1~3]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
12 建具用金物 ⑬ 鍵		[5. 8. 1~3]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
13 鍵		[5. 8. 4]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
14 自動ドア開閉装置 ⑭ ガラスブロック		[5. 9. 2, 3] [5. 14. 5]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
15 自閉式上吊り戸装置 ⑮ ガラス用フィルム		[5. 10. 3]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
16 重量シャッター ⑯ 重量シャッターケース		[5. 11. 2, 3]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
17 重量シャッターケース ⑰ ガラス用フィルム		[5. 12~4]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
18 オーバーヘッドドア ⑱ ガラス		[5. 13. 2, 3]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
19 ガラス ⑲ ガラス		[5. 14. 2~4]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
20 ガラスブロック ⑳ ガラス		[5. 15]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
21 ガラス用フィルム ㉑ ガラス		[5. 16]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
22 造作用集成材 ㉒ 造作用集成材		[6. 5. 2]		表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	規格等 セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	セクション材料による区分 風圧力による強さの区分(Pa)	
23 造作用集成材 ㉓ 造作用集成材		[6. 5. 2]										

8 合板等	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]						[6.7.3、4][表6.7.1]	
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用	
	※5.5			※1類 ・2類	広葉樹 ※3等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・	
	「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]							
施工箇所	等級	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の 品質	厚さ (mm)	防虫 処理	強度 等級	間伐材等 の適用
※2級以上 ・1級			※1類 ・特類	※C-D以上	※12	・適用 する ・適用 しない	・適用 する ・適用 しない	・
	「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 [G]							
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等 の適用			
						・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・
	「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]							
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名		厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用			
						・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	
	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用			
						・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	
	・パーティクルボード [G]							
施工箇所	表裏面の状態 による区分		曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)		
				※13タイプ	※P又はM		※15	
	・JAS 0360に基づく構造用パネル							
施工箇所	寸法 (mm)							
	・MDF [G]							
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態 による区分	曲げ強さに による区分	接着剤に による区分	難燃性に による区分			
	9 接合具等							
	造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]							
	※隠し釘打ち・釘頭埋め木・つぶし頭釘打ち・釘頭現し							
	※かすがい・座金・箱金物・短冊金物 (改修標準仕様書6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) (形状)							
	10 接着剤							
	接着剤のホルムアルデヒドの放散量							
	※F☆☆☆☆							
	11 防腐・防蟻処理							
	・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理							
	・適用部材							
	・保存処理性能区分							
	・K2・K3・K4							
	・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理							
	・適用部材							
	・改修標準仕様書6.11.2.(2)による							
	各工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量							
	※F☆☆☆☆							
	12 内部間仕切軸組及び床組み							
	・窓・出入りその他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)							
	※杉又は松							
	・床組みに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)							
	※杉又は松							
	13 窓・出入口その他							
	窓・出入りその他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)							
	※杉又は松							
	14 軽量鉄骨天井下地							
	野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形)							
	屋外の形式及び寸法							
	野縁・吊りボルト及びインサートの間隔							
	周辺部の端からの間隔							
	野縁の間隔							
	既存の埋込みインサートの使用する・使用しない							
	あと施工アンカーの施工後の確認試験							
	・行う							
	・試験箇所数							
	・改修試験にて確認する強度							
	※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の							
	・単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400mm程度							
	○行わない							
	・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法							
	・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法							
	○天井下地材における耐震性を考慮した補強							
	補強箇所							
	補強方法							
	8 合板等							
	・「合板の日本農林規格」による普通合板 [G]							
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用	
		※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※3等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・	
	・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]							
施工箇所	等級	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の 品質	厚さ (mm)	防虫 処理	強度 等級	間伐材等 の適用
※2級以上 ・1級			※1類 ・特類	※C-D以上	※12	・適用 する ・適用 しない	・適用 する ・適用 しない	・
	・「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 [G]							
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等 の適用			
						・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・
	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]							
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名		厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等 の適用		
						・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	
	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等 の適用		
						・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	
	18 特殊機械床材							

35 階段滑り止め	材種・ステンレス製 ・アルミニウム製押出型材 形状・ダイヤモンド(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等)・タイヤレス製 端部の幅・フラットエンド・あり・なし 寸法/幅・35mm程度 寸法/高さ・40mm程度 寸法/厚さ・50mm程度 取付け工法・接着工法・埋め込み工法	・黄銅製押出型材 (20. 2. 7)	49 屋内掲示板 既存撤去	枠の材質・アルミニウム製 表面の材質・塗装・発泡シート張り	・高日射反射塗装塗り [G] 下地調整 [7. 2. 2] ・R A種 ※R B種 ・R C種	8 断熱・防露改修工事 [G]	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9. 3. 2~4] ※F☆☆☆☆	
36 黒板及びホワイトボード [G] 既存撤去	・黒板 分区・焼き付け 種類・ほうろう・銅製 色・緑 ・ホワイトボード ()	(20. 2. 9)	50 洗面カウンター 既存撤去	・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材)・人工大理石 奥行き (mm)・約450・約600	工程 規格番号・規格名称・種類・等級 塗装塗り JIS K 5675 樹脂用高日射 2種 1級・2級 塗装製造所の 反射率塗料 3級 仕様による	9 断熱・防露改修工事 [G]	開口部等修理のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	
37 表示	衝突防止表示 ・設置場所・※図示による 形状・寸法・(30) 材質・(ステンレス製・塩ビシート) ・設置しない 説明標識、非常用入り口等の表示・※消防法に適合する市販品 室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、 取付け形式等(案内用記号はJIS Z 8210による) ※図示による	(20. 2. 11)	51 防煙垂れ壁	・固定式 材質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備考 ※鋼入り磨坂ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き 線入り磨坂ガラス	クリヤラッカーカー塗り A種の工程2の適用 ・適用しない ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する・適用しない オイルアセテイン塗りの工程等 ・製造所の仕様による	10 断熱材改修工事 [G]	断熱材規格発泡工法 断熱材の種類・A種1・A種1H 厚さ (mm)・25・30 施工箇所・図示	
38 タラップ	材質及び仕上げ ・SUS04(スリップ止め加工・あり・なし) ・銅製 表面処理 油膜垂鉛めっき (※標準仕様書表 14. 2. 2による種別(※C種・種))	(20. 2. 12)	52 収納家具 既存撤去	・可動式 種類 高さ (mm) 備考 ・垂直降下式 ※不燃布(不燃認定品) ※500 ガイドレール ・(巻取り型) 800 ※固定式(巻き戻し型) ・可動式(天井取納型)	8 耐震改修工事	特記仕様書(改修の7~8)による	・断熱材規格強化工法 断熱材の種類・A種1・A種1H 厚さ (mm)・25・30 施工箇所・図示	
39 ブラインド 既存撤去	形式 操作方法 操作方法の種類 スラットの材種 スラット幅 (mm) ボックス・レール 幅・高さ 取付箇所 ・横形・手動 ※ギヤ式・コード式・操作棒式 ・電動 - ・縦形・手動 ※2本操作コード式・クロススラット 80 ※アルミウム合金製 ・電動 -	(20. 2. 14)	7 環境配慮改修工事	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料・※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	9 1 石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 1]	11 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	
40 ロールスクリーン	操作方法・スプリング式・コード式・電動式 幅・高さ、取付箇所・図示 材種・ガラス織維・○合成・天然織維製 品質等 その他の材料、※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル織維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G]とする	(20. 2. 15)	1 材料	塗装改修工事 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料・※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	10 透水性アスファルト 舗装改修工事	適用範囲・歩道 既存舗装の撤去及び再利用 路床の材料	[9. 4. 2~4]	
41 カーテン	操作方法・スプリング式・コード式・電動式 幅・高さ、取付箇所・図示 材種・ガラス織維・○合成・天然織維製 品質等 その他の材料、※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル織維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G]とする	(20. 2. 16)	2 下地調整	塗装改修工事 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料・※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	11 透水性アスファルト 舗装改修工事	適用範囲・歩道 既存舗装の撤去及び再利用 路床の材料	[9. 5. 2~5, 9]	
42 カーテンレール 既存撤去	生地の仕様・消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル織維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、[G]とする 暗幕カーテンの両端、上部及び組合せの重なり・※300mm以上 材料による区分・※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製	(20. 2. 16)	3 素地ごしらえ	下地面の種類 木部 不透明塗料塗りの場合はRB種 鐵錫面 RA種(注)※RB種 垂鉛めっき面 RA種(注)※RB種 垂鉛めっき面(鋼製建具) RA種※RB種 木部 せっこうラッカ一面 RA種※RB種 コンクリート面(DP以外) RA種※RB種 AL C バネル面 RA種 押出成形メント板面 RA種(注) RA種 RA種 コンクリート面(DP) RA種 RA種 せっこうボード面及びその他ボード面 RA種※RB種 (注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。	2 石綿含有吹付け材の除去 (レベル 1)	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 3]	12 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	[9. 4. 2~4]
43 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	溝幅×深さ (mm)・90×150・120×80・120×150・150×80・図示 ・集成材(仕上げ) ・アルミニウム製・押出し型材(市販品) 種別(標準仕様表14. 2. 1)・BC-1種・BC-2種 ・色合い・標準色()・特注色() ・銅製(仕上げ:)		4 鋸止め塗料塗り	塗装の種類 木部 SOP 新規見え掛り 〔表7. 4. 31〕 EP-G 新規見え掛り 〔表7. 4. 31〕 DP 新規見え掛り 〔表7. 4. 41〕 新規 〔表7. 4. 2(1) (4) (a)〕 による 垂錫面 SOP 新規見え掛け 〔表7. 4. 51〕 EP-G 新規見え掛け 〔表7. 4. 51〕 DP 新規見え掛け 〔表7. 4. 6〕 新規	3 石綿含有有保温材等の除去 (レベル 2)	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 3]	13 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	[9. 4. 2~4]
44 天井点検口	材種・寸法 形式 外枠 内枠 ※アルミニウム製 450×450 一般形 ○額縁タイプ ○額縫タイプ 600×600 屋内用 屋内用 目地タイプ 目地タイプ		5 塗装 [G]	5 石綿含有有保温材等の除去 (レベル 3)	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 3]	14 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	[9. 4. 2~4]	
45 床点検口	材種・寸法 形式 備考 ・アルミニウム製・450×450 ○一般形 ○密閉形 ・ステンレス製 600×600 ○屋内用 屋内用 ・鋼製 -		6 PCB含有シーリング材処分	6 断熱材 〔表7. 5. 2~7. 12. 2〕	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 3]	15 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	[9. 4. 2~4]	
46 くつふきマット	材種・寸法 (mm) 備考 ・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製		7 外断熱改修工事 [G]	7 断熱材 〔表7. 5. 2~7. 12. 2〕	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 3]	16 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	[9. 4. 2~4]	
47 流し台ユニット	材種・寸法 (mm) 備考 ・流し台 W D H 1200 ○550 ○800 市販品 1500 600 ○850 トップ付き 1800 650 天板ステンレス製 ・コンロ台 600 550 620 市販品 600 670 パックガード有り 650 天板ステンレス製 ・つくり戸棚 ○500 ○550 ○600 市販品 900 700 ・水切り 1200 1200 市販品 900 600 ステンレス製 1段式		8 断熱・防露改修工事 [G]	8 断熱・防露改修工事 [G]	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 3]	17 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	[9. 4. 2~4]	
48 鋼製書架及び物品棚	品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ・種類・規 格 等 ・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・鋼製物品棚		9 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	9 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	測定時期、場所及び測定点 [9. 1. 3]	18 施工基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 芝及び被類の樹種並びに種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 既存保育層の撤去・行う・行わない 新植した芝及び被類の枯死償の期間 ※引き渡しの日から1年	[9. 4. 2~4]	

⑩ 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 ○SD345 ※D19以上	(5. 2. 1)	⑪ コンクリート工事	施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 評定等の評価内容による 試験方法 評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置	11 寒中コンクリート 12 暑中コンクリート 13 マスコンクリート 14 無筋コンクリート 15 コンクリートの単位水量測定	適用期間 (月 日～月 日) 構造体強度補正値(S)を算定温度を基に定める場合 図示による()、S=()	(6. 11. 1, 2)	⑫ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定	※測定する・測定しない 測定する場合は以下による 1 测定室 測定室は、監督員の指定する室(1室)とする。図示による 2 測定時期 ※工事着手前、完了後 3 検査項目、検査方法及び判定基準 1) 検査項目は、以下ア)～カ)の6品目とする。 ア) ホルムアルデヒド イ) トルエン ウ) キシレン エ) エチルベンゼン オ) スチレン カ) バラジクロロベンゼン
	2 溶接金網	形状等 種類 種類の記号 總目の形状、寸法、鉄線の絆 (mm) 使用部位 ・溶接金網	(5. 2. 2)		適用期間 (月 日～月 日) 構造体強度補正値(S) ※6N/mm ² 図示による()、S=()		(6. 12. 2)			
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 部位 繰手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ガス圧接 機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 重ね継手 基礎、耐震スラブ、土圧壁 重ね継手 ガス圧接 その他の鉄筋 重ね継手	(5. 3. 4)		適用箇所 セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント・中庸熟成ポルトランドセメント・低熟成ポルトランドセメント ・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種 混和材料の適用 ・あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による)・標準仕様書6.13.2(2)(8)による スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.13.1による		(6. 13. 1, 2)			
	3 鉄筋の定着	継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎梁主筋の継手位置・図5.2・図5.3・図5.4 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(4)) 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等 ・図示による() 鉄筋の定着長さ ・図示による()	(5. 3. 4)		不適合となった場合の措置					
	4 鉄筋の定着	機械式定着工法 運用場所 ・図示による() 種類 ・摩擦圧接接合 融合グラウト固定 ・鍛合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による	(5. 3. 4)		コンクリートの種類等 ・I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)		(6. 2. 1)			
	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4. 1) ・図示による()	(5. 3. 5)		普通コンクリート 設計基準強度 気乾単位容積質量 (t/m ³) 施工 ○Q24 2.3程度 15又は18 18		(6. 2. 1～6. 2. 4)			
	6 各部配筋	柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり(適用箇所()) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塗装等を受けるおそれのある部分等) ・あり(適用箇所()) ・最小かぶり厚さに加える厚さ (mm)	(5. 3. 7)		構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.3.2による 補正値S=3(月 日～月 日、月 日～月 日) S=6(月 日～月 日、月 日～月 日)		(6. 3. 2)			
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(1)(a)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(1)(b)による	(5. 4. 10)		種類 ※普通ボルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18(N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()		(6. 14. 1)			
	8 機械式継手	適用箇所 ・図示による() H12連合第1463号に適合する性能 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 評定等の評価内容による 試験方法 評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置	(5. 3. 5)		実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の限界値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 测定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 测定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込みずに待ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に待ち帰ったことを確認する。 4) 単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、Tメータ又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。		(6. 14. 2)			
	9 溶接継手	適用箇所 ・図示による() H12連合第1463号に適合する性能 溶接継手の工法 ・図示による() 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による()	(5. 5. 3, 5)		② セメント 種類 ※普通ボルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()		(6. 3. 2)			
	10 軽量コンクリート	打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による()	(6. 6. 4)		③ 骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混合材料 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による()		(6. 3. 1)			
	11 湿潤養生	目地の寸法 ・標準仕様書9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、軸体外側の打増し部で処理する ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 ・図示による() 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日	(6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3) (6. 8. 1)		⑤ 打増し厚さ 打増し厚さ ・打増し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打増し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm 20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による()		(6. 8. 1)			
	12 型枠	打増し厚さ (打放し仕上げ部) 打増し仕上げ ・図示による() せき板の材料及び厚さ ○合板(×2mm) [] コンクリート打設時の辛夷性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による() ・M.C.I工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による() 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材種・規格等 ・図示による() 存置期間及び取外し ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による()) 適用箇所 ・図示による() 種類 ・1種 2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書表6.10.1による スランプ ※21cm	(6. 8. 2)		⑥ 調査及び分析 採取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者とする。 5 報告書 報告書は、監督員に2部提出するものとする。		(6. 10. 1, 2)			

工事区分表												※ 工事区分凡例 A : 建築 / E : 電気 / M : 機械																
項目			A	E	M	備考			項目			A	E	M	備考			項目			A	E	M	備考				
躯体関係												仕上げ関係												電気配線配管				
1. R C 造 (梁・壁・床) の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け					1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				1. 雨水	屋外雨水排水設備 (U字溝)												機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地線共)	○		2次側
	補強を要する型枠材及び取付け						補強を要しないボードの切り込み	○○					樹及び樹蓋												機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○		1次側
	補強を要しない型枠材及び取付け						開口部の墨出し	○○					雨水浸透設備												自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線	○		
	貫通孔・開口部の墨出し	○○○○																						機器と付属操作スイッチの渡り配管配線	○		図面参照のこと	
	貫通孔・開口部の補強	○																										
	スリーブ・型枠の穴埋め	○○○○																										
2. S・SRC 造貫通鋼管スリーブ・補強	S・SRC 造貫通鋼管スリーブ・補強					2. 既製間仕切り	切り込み及び補強					2. 雜排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備															
	使用されたスリーブの穴埋め	○○○○					位置ボックス						樹及び樹蓋															
	予備スリーブの穴埋め	○○○○																										
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの					3. 吊ボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	○○				3. 外壁通り	外壁ガラリ				4. 植栽	植栽及び客土	○									
	室内の基礎 (建築設計図に記入のないもの)												ウェザーカバー・ベンドキャップ	○														
	室外・屋上の基礎						換気扇	○								植栽												
	屋上の基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの (配管架台類)												流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台	○														
	機器取付け用アンカー・架台												フード (標準詳細図のもの)	○														
	室内受水タンク用の基礎												流し台の排水トラップ															
	地下オイルタンク軸体・土工事												ユニットバス・シャワーユニット															
	屋外機の据付架台	○											既製浴槽 (蓋を含む)															
													浴室及び便所の床排水金物															
													洗面カウンター	○			洗面器はM											
4. 異降機関連	昇降路・機械室の軸体					7. 便所通り	鏡 (規格寸法のみ)		○			5. その他	ミニキッチン	○			工事期間中の電気料金 (基本+使用料金)	○○○										
	機械室の床開口						ユニット形衛生器具		○				手洗いカウンター	○			工事期間中の水道料金 (基本+使用料金)	○○○										
	機械室の床配管ピット・蓋						身障用手すり		○				食器棚撤去	○			外部枠組足場											
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上												コンセント	○			内部足場	○										
	巻上機周囲のチェックアーリート敷												床パネルの切り込み加工	○														
	昇降路内ピット防水・集水桿・点検用タラップ												点検口 (天井・床下)	○														
	各階出入口穴あけ・同補強												消防器B O X設置工事															
	出入口扉・三方枠												排煙口等の天井仕上材の取付け															
	三方枠取付け・栓通り埋戻し・同補強												自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック・フローリング															
	昇降機がR C 造の時、軌条・中間ビーム・プラケット他昇降路内の鉄製部材一式												自動扉・電動シャッターへの電源供給															
	機械室天井フック取付け												自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管工事															
	ホール押印・インジケータ・銅素などの壁開口												2重ピット及びトレチのマンホール蓋	○														
	機械室換気設備												機器搬入用フック・ビーム															
	昇降路がS造の時中層ビーム・ラブケット												チェンブロック															
	E V 機械室からインターホンまでの配管工事												化粧マンホール上蓋の表面仕上げ	○														
	E V 機械室からインターホンまでの配管工事																											
5. その他	トラフ・ピット類 (蓋を含む)					10. その他				</																		

外部仕上表

部 位 名		工 事 項 目								
		仕 上						備 考		
屋 根	平 場	改 修 前	アスファルト防水の上豆砂利コンクリートt=60タッピング仕上げ+塩ビシート防水、FRP防水の改修経緯あり							
		改 修 後	既存のまま							
	立 上 り	改 修 前	アスファルト防水の上 塩ビシート防水、FRP防水の改修経緯あり							
		改 修 後	既存のまま							
外 壁	タイル貼り(深目地)仕上げ	改 修 前	タイル貼り仕上げ(深目地)							
		改 修 後	既存のまま							
	階段、軒裏・内側壁	改 修 前	モルタル金ゴテ下地吹付タイル							
		改 修 後	既存のまま							
2 階	平 場	改 修 前	押えコンクリート・タイル仕上げ							
		改 修 後	既存のまま							
	立 上 り	改 修 前	押えコンクリート・タイル仕上げ							
		改 修 後	既存のまま							
バルコニー		改 修 前	アルミサッシ・アルミガラリ							
		改 修 後	(清掃・調整)							
外部建具・ガラリ		改 修 前	フレキシブルボードt=4.0目透シ貼(VP)							
		改 修 後	既存のまま							
軒 裏		改 修 前								
		改 修 後								

内部仕上表

階 数	室 名	工 事 項 目								備 考
		床		巾 木		壁		天 井		
1 階	風除室	改 修 前	磁器質タイル	改 修 前	同 左	改 修 前	磁器質タイル	改 修 前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去)	屋根撤去と張替で徹底
		改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	
	ホール	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去)	改 修 前	ソフト巾木(一部磁器質タイル)	改 修 前	モルタル金ゴテ吹付タイル(一部磁器質タイル)	改 修 前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去)	壁掛け時計、掲示板撤去 看板、室名札設置 吹抜手摺壁レリーフ撤去
		改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	
	事務室	改 修 前	OAフロア・タイルカーペット(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ゴテVP塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去)	受付カウンター・ケレン清掃の上CL 小窓カウンター撤去・掲示黒板撤去 下がり壁撤去・ブラインド撤去
	水道料金等徴収業務事務室	改 修 後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上EP塗装	改 修 後	軽量鉄骨天井下地 +石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	
	脱衣・シャワー室	改 修 前	モザイクタイル貼・ビニル系タイル(撤去)	改 修 前	ソフト巾木(一部モザイクタイル)	改 修 前	モルタル金ゴテVP塗装・半磁器質タイル(撤去)	改 修 前	軽天、フレキシブルボードt=4.0mmVP塗装 アスペクト含有建材(レベル3)	棚撤去
	倉庫1	改 修 後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上EP塗装	改 修 後	軽量鉄骨天井下地 +石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	
	更衣室	改 修 前	ビニル系タイル(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ゴテVP塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去)アスペクト含有建材(レベル3)	(下地は既存利用)
	書庫	改 修 後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上EP塗装	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	
	事務室	改 修 前	OAフロア・タイルカーペット(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ゴテVP塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去)アスペクト含有建材(レベル3)	(下地は既存利用)
	電気操作盤室	改 修 後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上EP塗装	改 修 後	軽量鉄骨天井下地 +石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認

設計

担当

製図

縮尺

設計年月日

工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事
図面名称 仕上表(1)

A-09
No.

階数	室名	工事項目										備考
		床		巾木		壁				天井		
1階	控室	改修前	カーペット敷き(撤去)	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	ビニルクロス貼り(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	家具撤去
	控室	改修後	長尺塩ビシート貼(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	
	給湯室1	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	ソフト巾木H=60	改修前	半磁器質タイル貼	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	吊戸棚撤去
		改修後	長尺塩ビシート貼(抗菌仕様)(新設)	改修後	既存のまま	改修後	モルタル金ゴテ下地+EP塗装	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	
	男女便所	改修前	モザイクタイル貼(一部撤去)	改修前	モザイクタイル(撤去)	改修前	半磁器質タイル貼	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	手洗いライニング撤去
	多目的便所	改修後	長尺塩ビシート貼(抗菌仕様)(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	モルタル金ゴテ下地化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0mm	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	
	歯科指導室・健康相談室	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	モルタル金ゴテVP塗装	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	手洗いカウンター撤去 事務収納・掲示板撤去
	下水道課事務室	改修後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	改修前	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	スライディングウォール・プライント撤去
	診察室	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	モルタル金ゴテVP塗装	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	手洗いライニング撤去 カーテンレール撤去
	水道施設課事務室	改修後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	改修前	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	ゴミ箱(2個)・滅菌機撤去
	予防接種室	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	ビニルクロス貼り(撤去)	改修前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	テレビ棚・掲示板撤去 家具・壁付健康器具
	企業経営課事務室 資材倉庫	改修後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	改修前	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	ブラインド撤去
	消毒室	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	モルタル金ゴテVP塗装	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	建具更新 機械設備更新・換気扇新設
	給湯室2	改修後	OAフロア・タイルカーペット(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装 一部化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0mm	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	改修前	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	
室内階段	改修前	長尺塩ビシート貼	改修前	ソフト巾木H=60	改修前	モルタル金ゴテ吹付タイル	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	既存のまま	既存のまま	
	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修前	既存のまま	既存のまま	
2階	廊下	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去)	改修前	ソフト巾木H=60	改修前	モルタル金ゴテ吹付タイル	改修前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去)	改修后	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	キャビネット撤去(3器) ブラインド撤去
		改修後	長尺塩ビシート貼(新設)	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修前	既存のまま	ソファー撤去(2台)
	湯沸室	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	半磁器質タイル貼	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	吊戸棚撤去
	倉庫4	改修後	長尺塩ビシート貼	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	モルタル金ゴテ下地EP塗装	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	改修前	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	収納棚撤去
	研修室・和室12帖	改修前	木下地畳敷・カーペット敷	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	ビニルクロス貼、ジュラクサテン吹付	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	長机撤去(6台)・カーテン撤去 寝具撤去(掛け敷き2組)・下駄箱撤去
	男女更衣室	改修後	長尺塩ビシート貼(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	改修前	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	座布団撤去(1枚)・建具撤去
	広縁	改修前	木下地縁甲板張り	改修前		改修前	ビニルクロス貼、ジュラクサテン吹付	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	押入内蔵物撤去・処分
	衣類乾燥室	改修後	長尺塩ビシート貼(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	改修前	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	テーブル撤去・処分
	倉庫3	改修前	長尺塩ビシート貼	改修前	ソフト巾木H=60	改修前	モルタル金ゴテVP塗装	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装	改修後	既存のまま	開戸室名札更新
		改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修前	既存のまま	
	栄養指導実習室	改修前	長尺塩ビシート貼(撤去) アスペスト含有建材(レベル3)	改修前	ソフト巾木H=60(撤去)	改修前	モルタル金ゴテVP塗装	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm	改修後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	調理実習台撤去(3台)
	会議室4	改修後	長尺塩ビシート貼(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	下地調整の上EP塗装	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	改修前	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	黒板・掲示板・食器棚・滅菌機撤去
	会議室	改修前	長尺塩ビシート貼	改修前	ソフト巾木H=60	改修前	ビニルクロス貼り(一部撤去)	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm	改修後	既存のまま	
	会議室3	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	ビニルクロス貼り(一部新設)	改修後	既存のまま	改修前	既存のまま	
	集団指導室	改修前	長尺塩ビシート貼	改修前	ソフト巾木H=60	改修前	ビニルクロス貼り(撤去)	改修前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm	改修後	既存のまま(一部塗装改修)	
	会議室1・2	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま	改修後	既存のまま(一部塗装改修)	改修前	既存のまま(一部塗装改修)	黒板・掲示板
	男女便所	改修前	モザイクタイル貼(一部撤去)	改修前	半磁器質タイル貼	改修前	半磁器質タイル貼	改修前	軽天、フレキシブルボートt=4.0mmVP塗装 アスペスト含有建材(レベル3)	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	手洗いライニング撤去
		改修後	長尺塩ビシート貼(抗菌仕様)(新設)	改修後	ソフト巾木H=60(新設)	改修後	モルタル金ゴテ下地化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0mm	改修後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	改修前	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	

MEMO

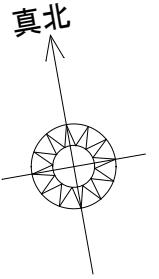


埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

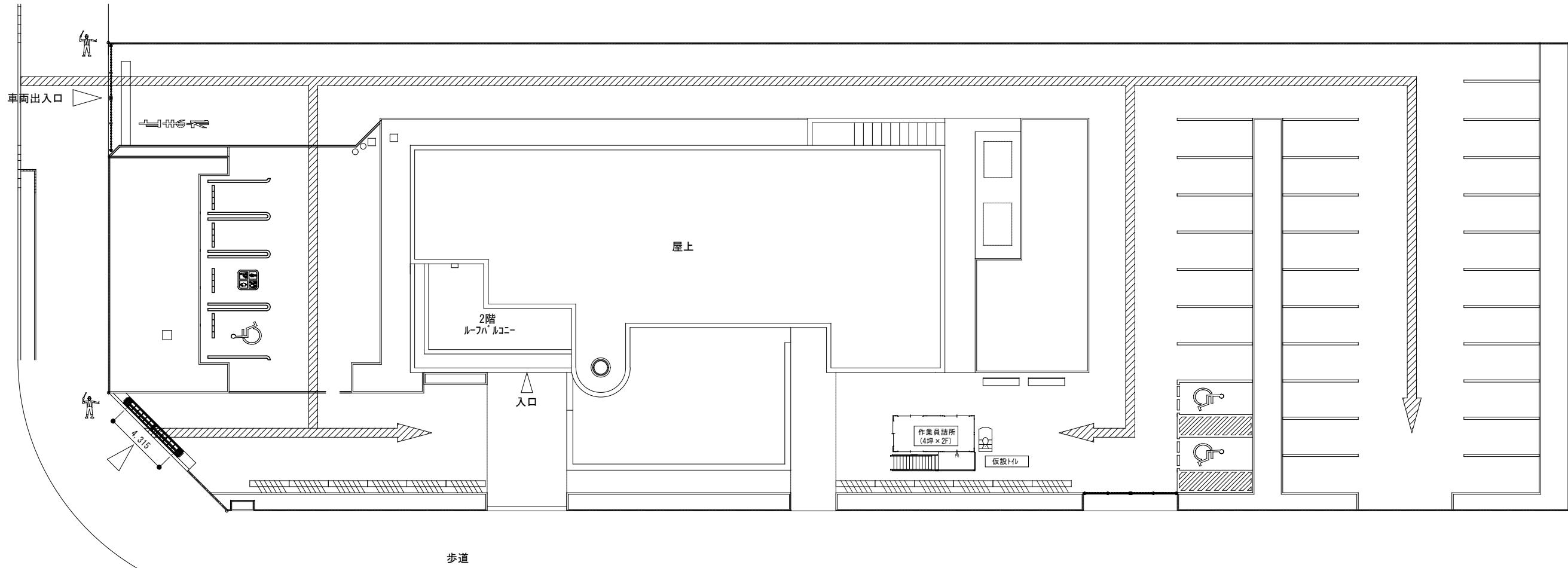
承認 設計 担当 製図 締尺
設計年月日

工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事
図面名称 仕上表(2)

A-10
No.

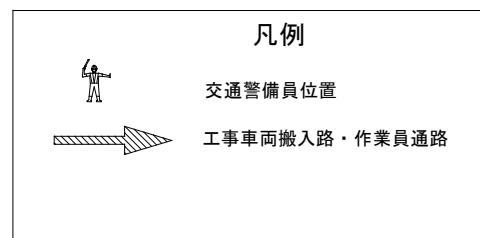


道 路



道 路

配置図(仮設計画図)



No	種 別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
		10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
1	仮設工事					●		●																		
2	解体・撤去工事							●																		
3	内装改修工事								●																	
4	内装仕上工事								●																	
5	電気設備工事								●																	
6	機械設備工事								●																	
7	外構工事								●																	
8	検査是正								●																	

※本工事4週8休現場閉所とする

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

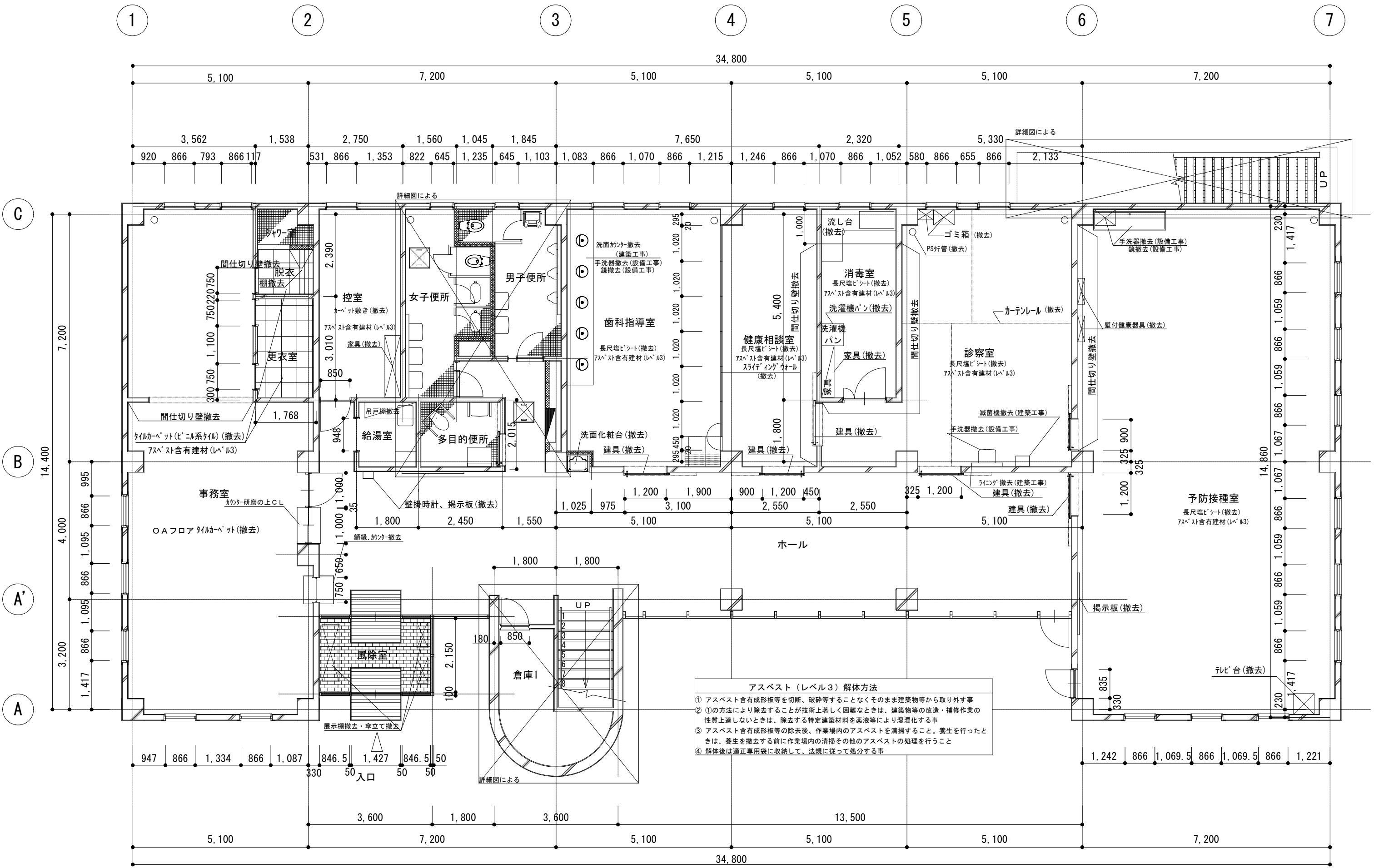
承認 設計 担当 製図
縮尺 A1 : 1/150
A3 : 1/300
設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 配置図・仮設計画図・概略工程表

A-11

No.



1階平面図

MEMO

埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

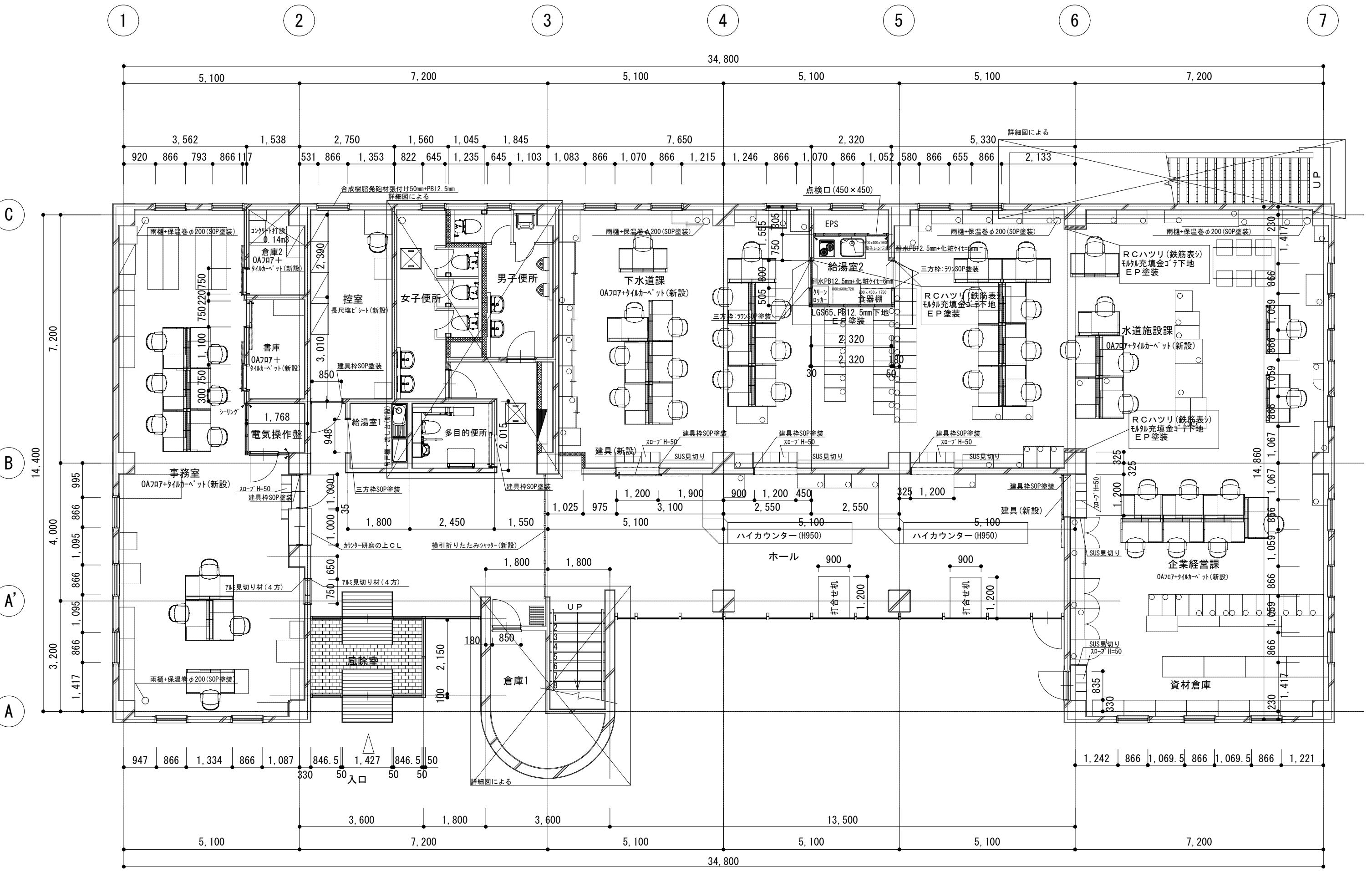
承認 設計 担当 製図
A1:1/50
A3:1/100
設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 1階平面図(改修前)

A-12

No.



1 階平面図

MEMO

埼玉県和光市本町9番17号



株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺	A1 : 1
					A3 : 1
設計年月日					

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 1階平面図(改修後)

A-13

1

2

3

4

5

6

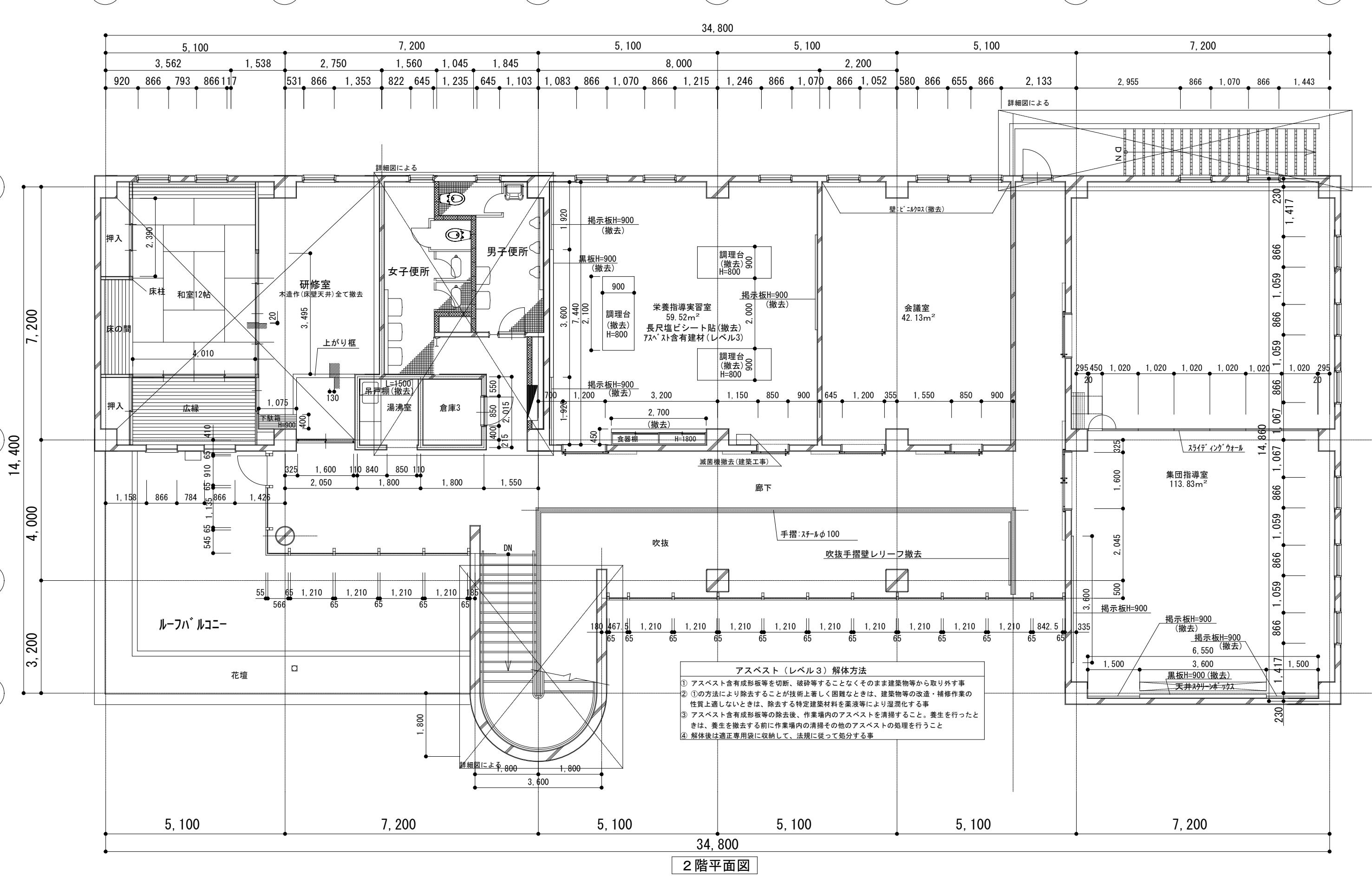
7

C

B

A'

A



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

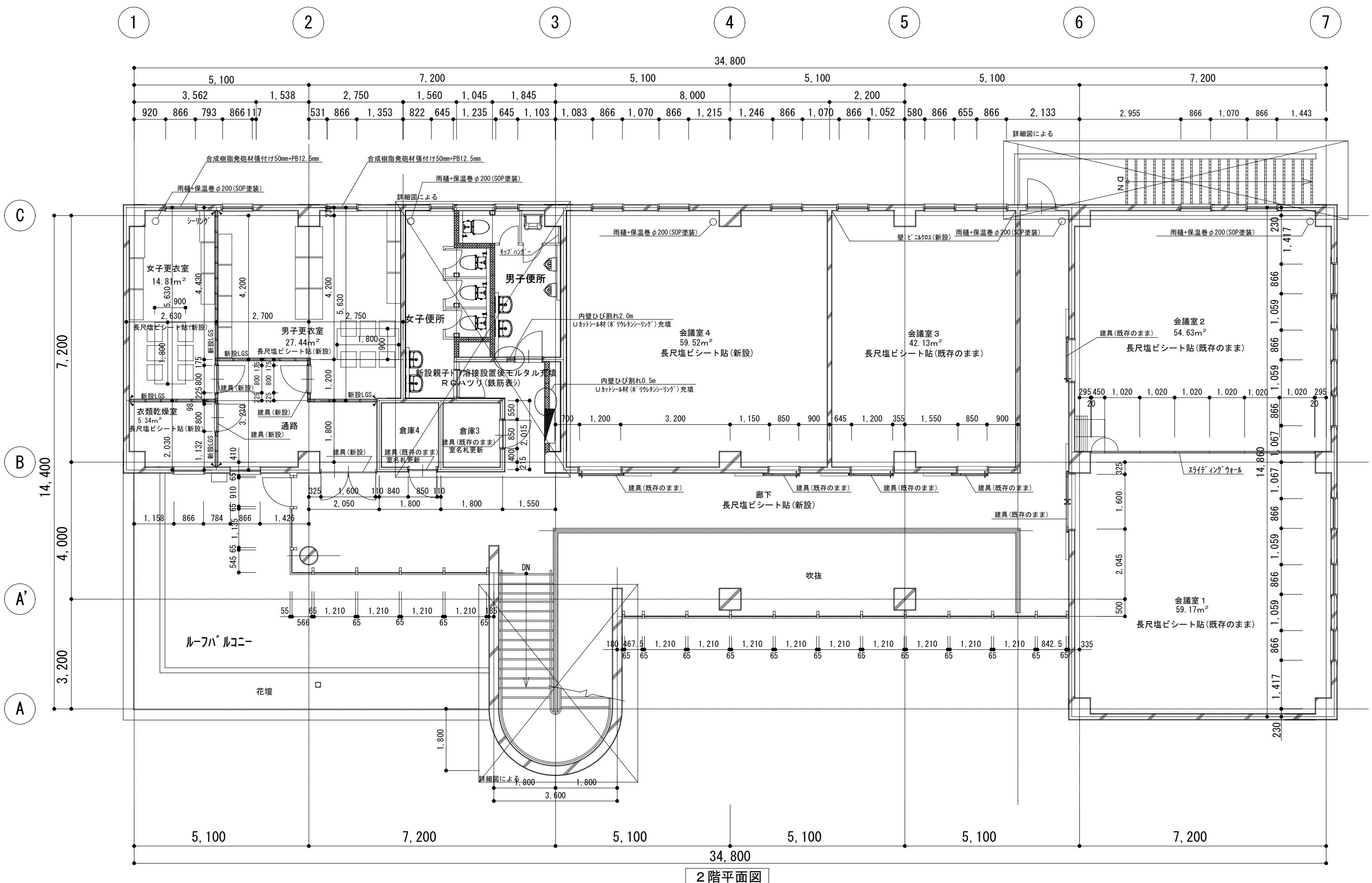
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 2階平面図(改修前)

A-14

No.



M E M O



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

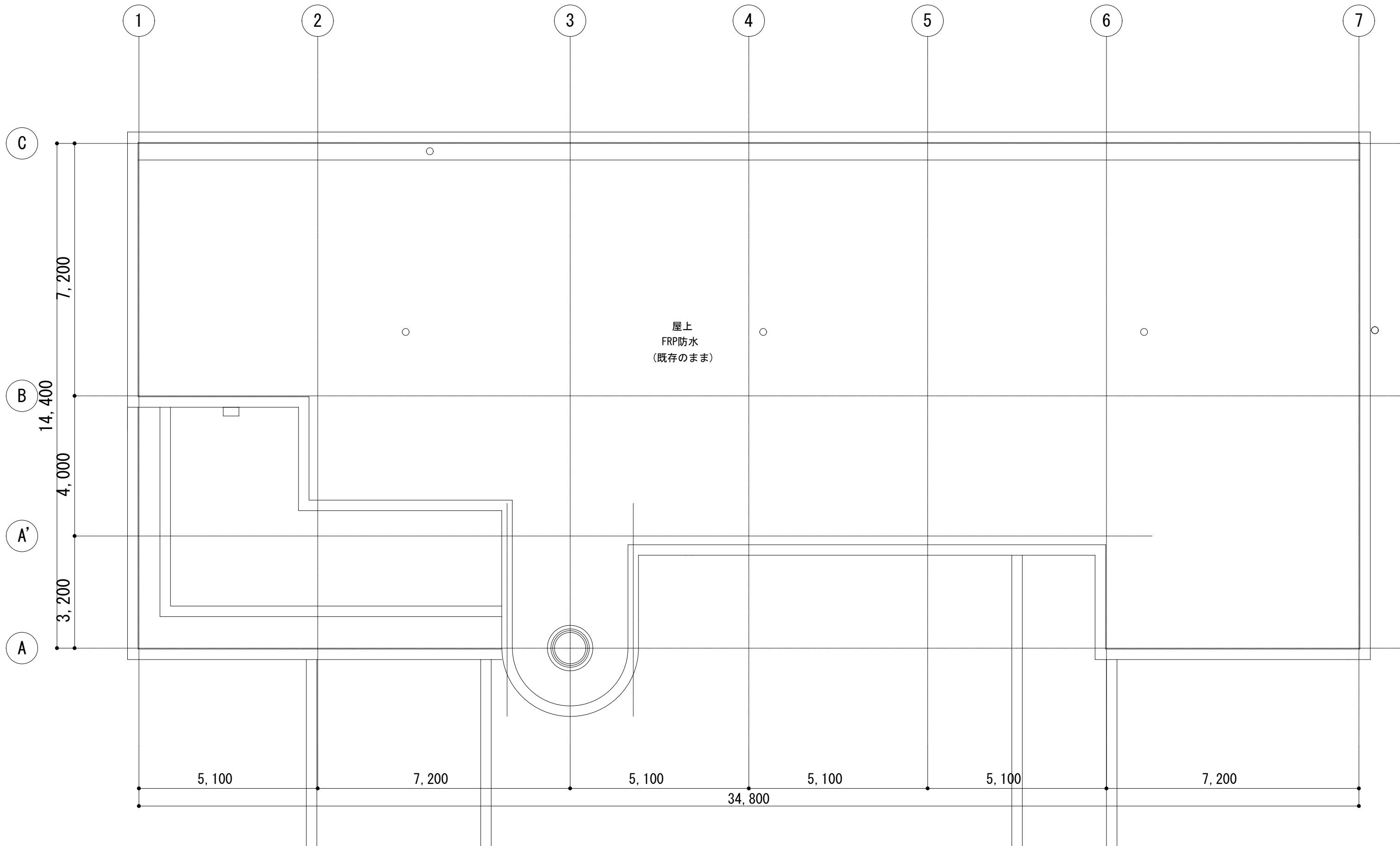
承認 設計

2階平面図

二十九
東路所用建物（即保健室、仓库）改修工事

図面名称 2階平面図(改修後)

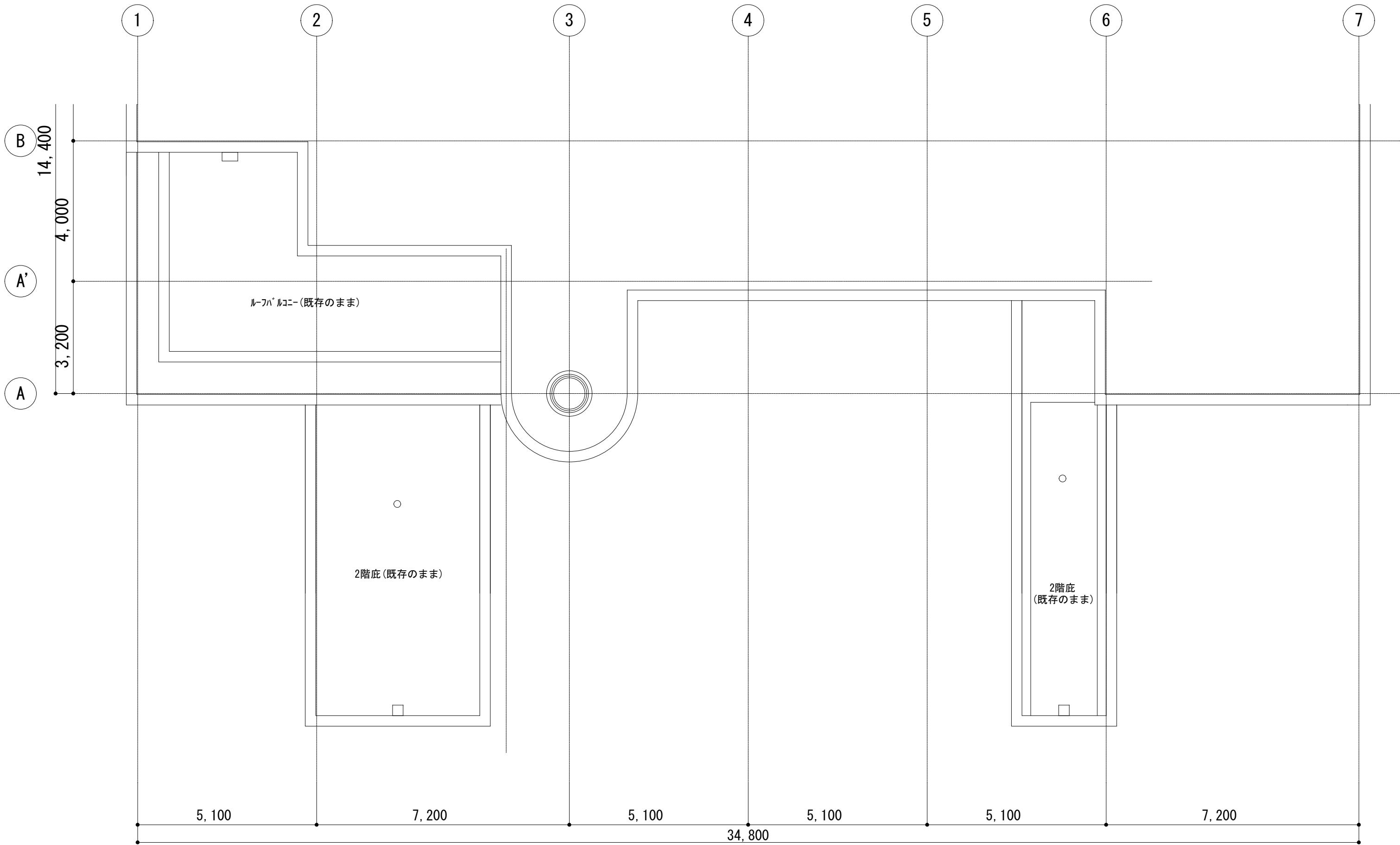
A-15



屋上平面図 S=1 : 100

MEMO				





2階屋上平面図 S=1:100

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

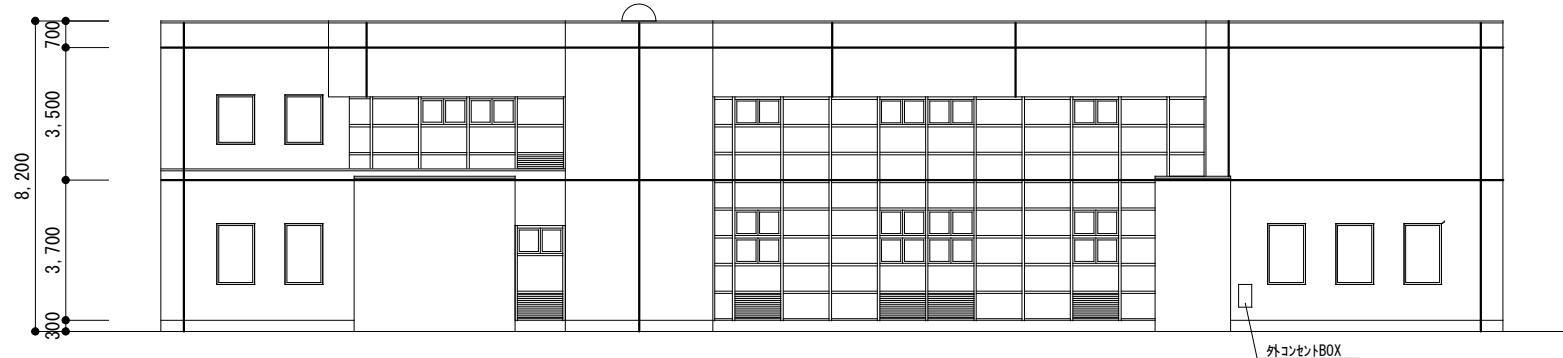
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

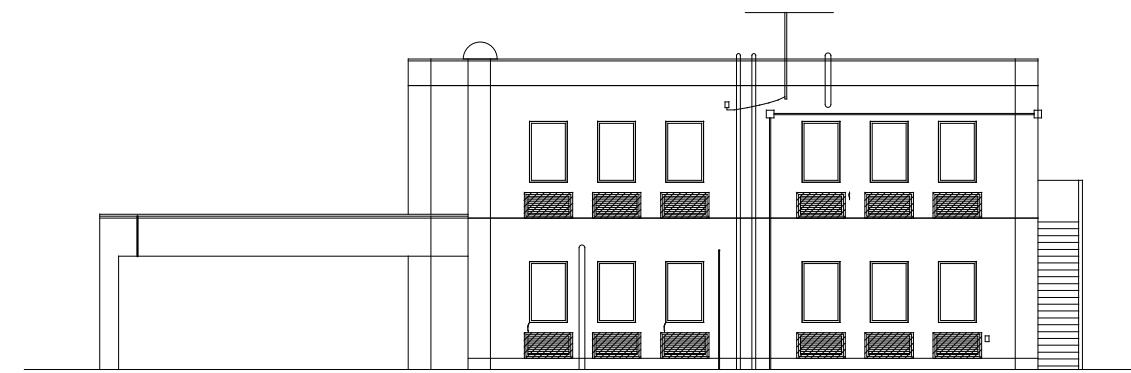
図面名称 屋上平面図（2）

A-17

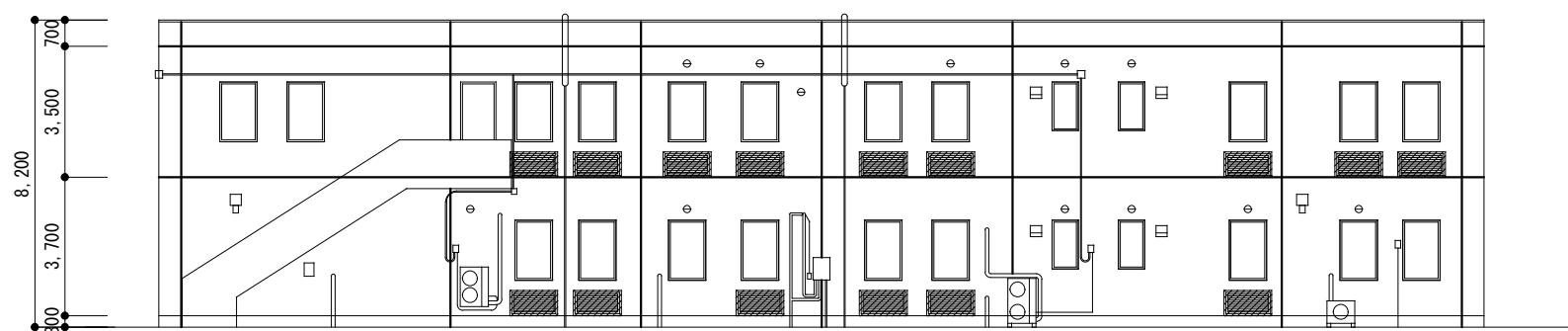
No.



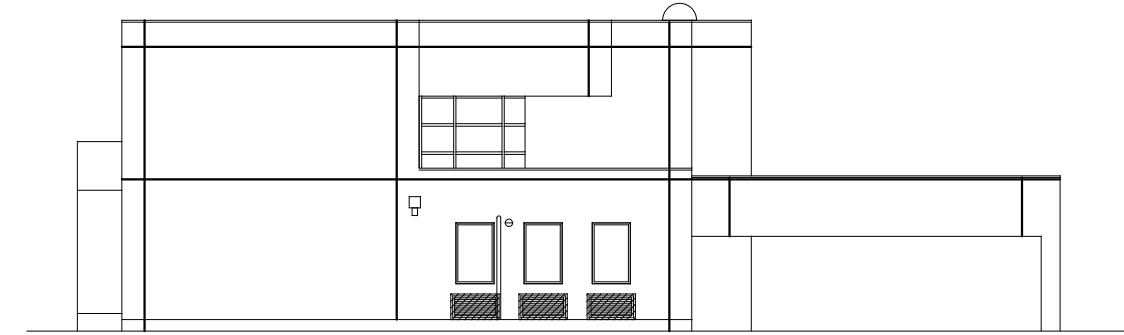
南側 立面図 S=1/200



東側 立面図 S=1/200



北側 立面図 S=1/200



西側 立面図 S=1/200

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

承認 設計 担当 製図
A1:S=1/100
A3:S=1/200
設計年月日

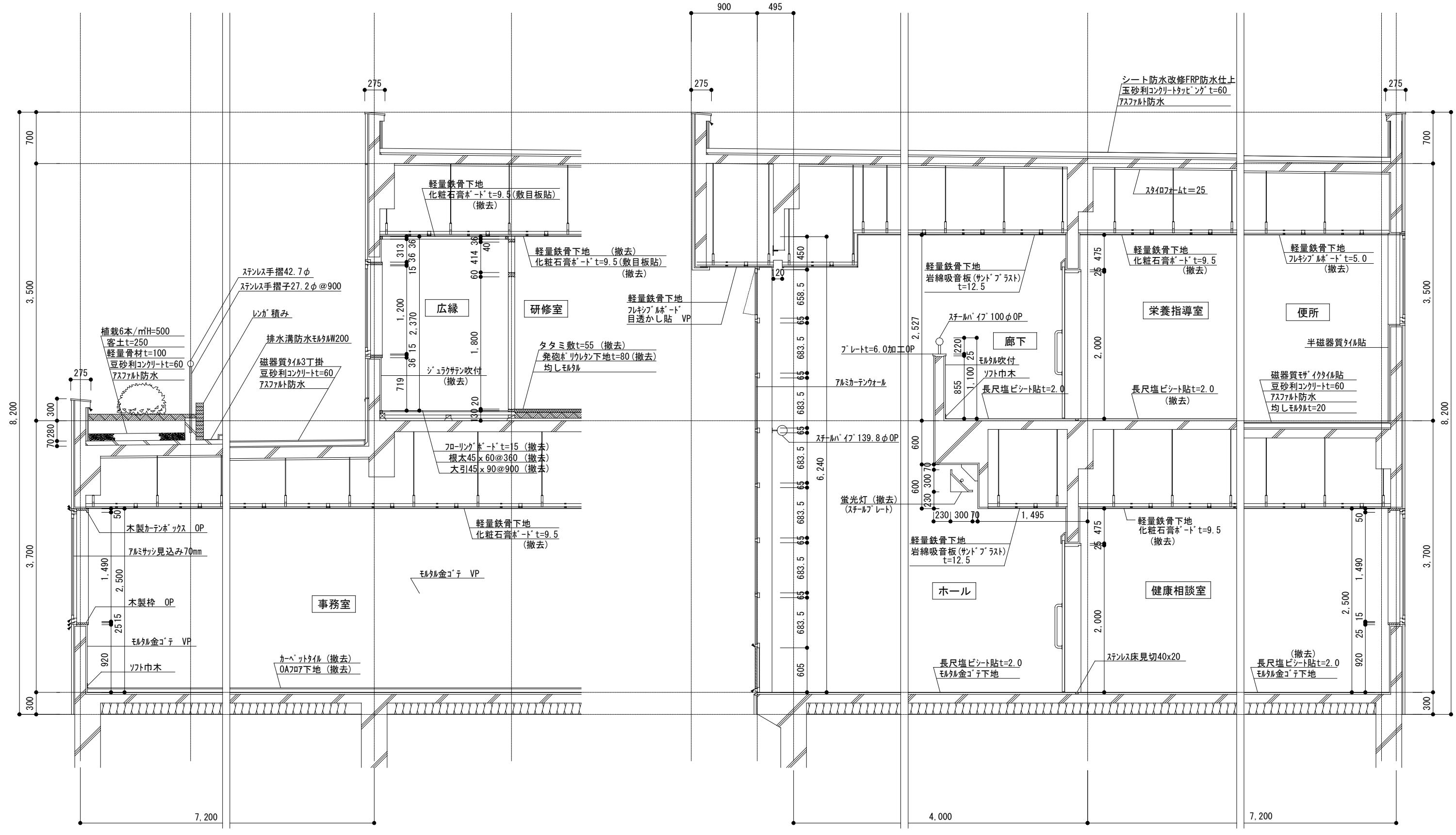
縮尺
A1:S=1/100
A3:S=1/200
設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 立面図

A-18

No.

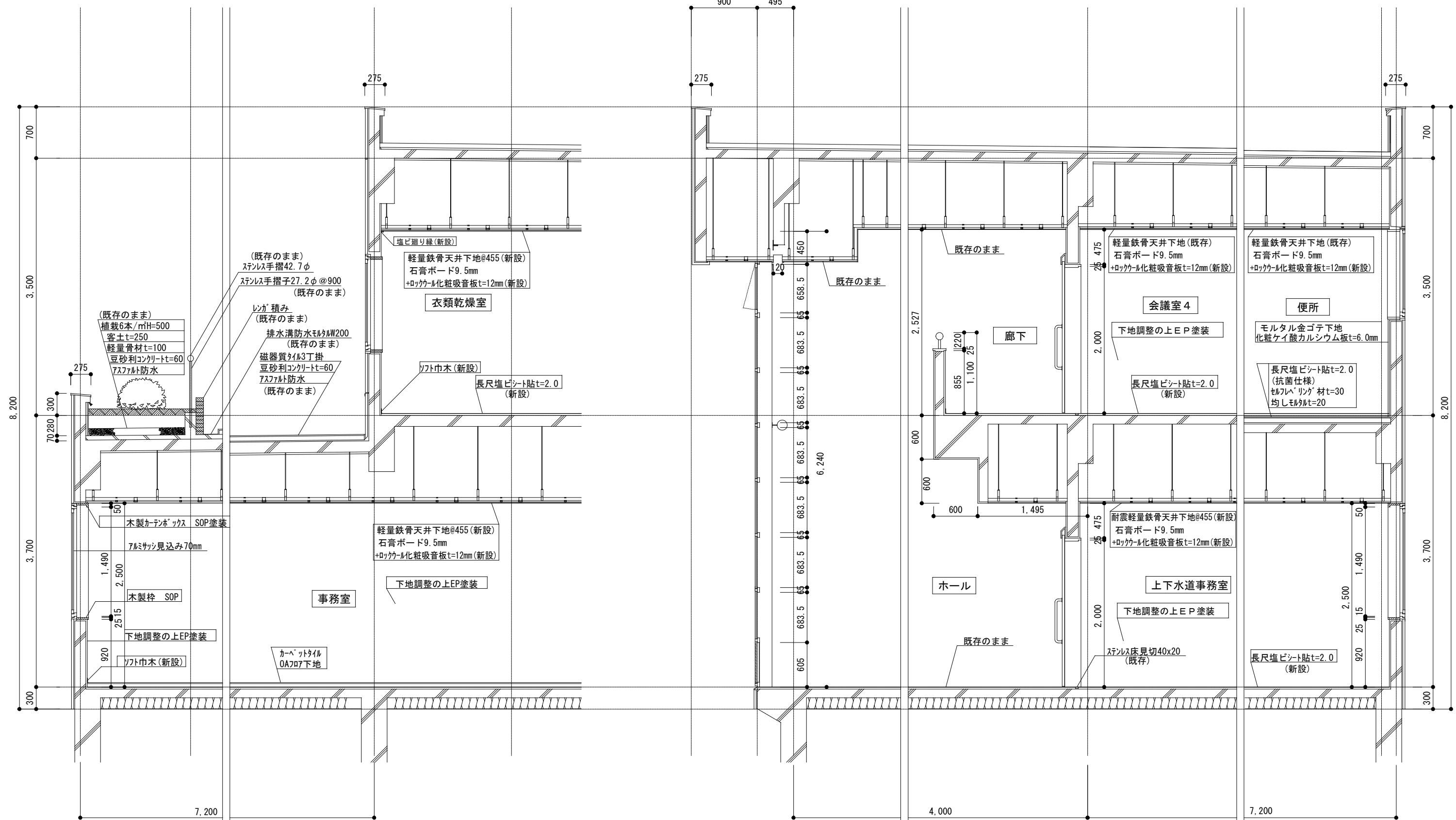


MEMO

埼玉県和光市本町9番17

株式会社 塚田設計

+	承認	設計	担当	製図	縮尺 A1:S=1/25 A3:S=1/50 設計年月日	工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事	No.	A-19
						図面名称 矩計図(改修前)		



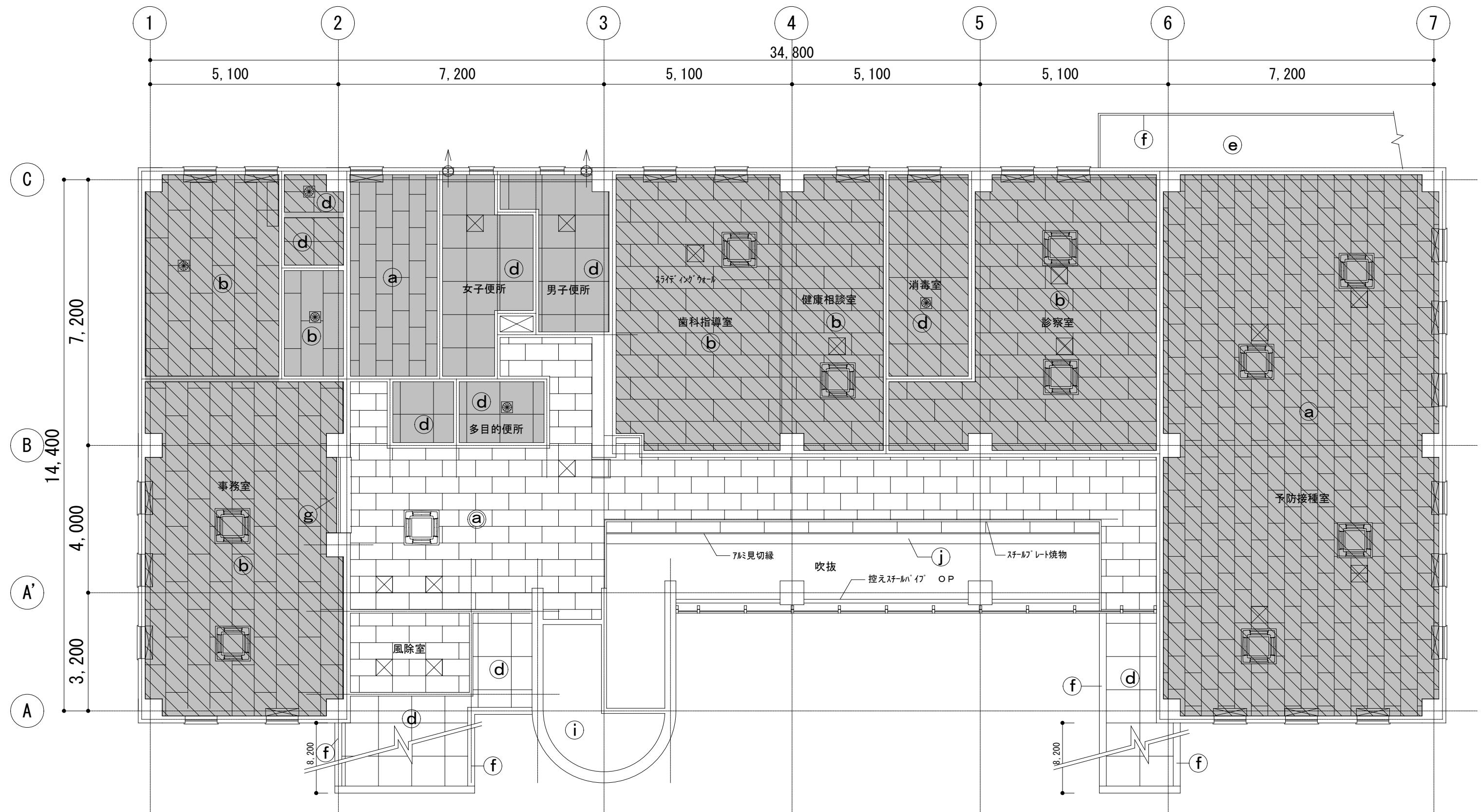
MEMO

埼玉県和光市本町9番17号



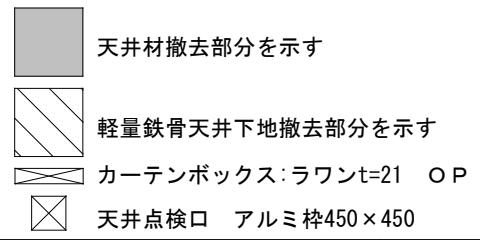
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺 A1:S=1/25 A3:S=1/50	工事名称	事務所用建物（旧保健センター）改修工事	No.	A-20
					設計年月日	図面名称	矩計図(改修後)	



1階天井伏図 S=1:100

(a) 岩綿吸音板 t=12.5	アスペクト含有建材(レベル3)	(g) モルタル金ゴテ VP	
(b) 化粧石膏ボードt=9.5	アスペクト含有建材(レベル3)	(h) ラワンビニヤ貼 t=4.0	
(c) 化粧石膏ボードt=9.5(敷目板貼)		(i) コンクリート打放シ	
(d) フレキシブルボードt=4.0目透シ貼(VP)	アスペクト含有建材(レベル3)	(j) モルタル金ゴテ吹付タイル	
(e) コンクリート打放シ 吹付タイル		(a) PB t=12.5+岩綿吸音板 t=12.5(サンドプラス)	
(f) 磁器質タイル貼			



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

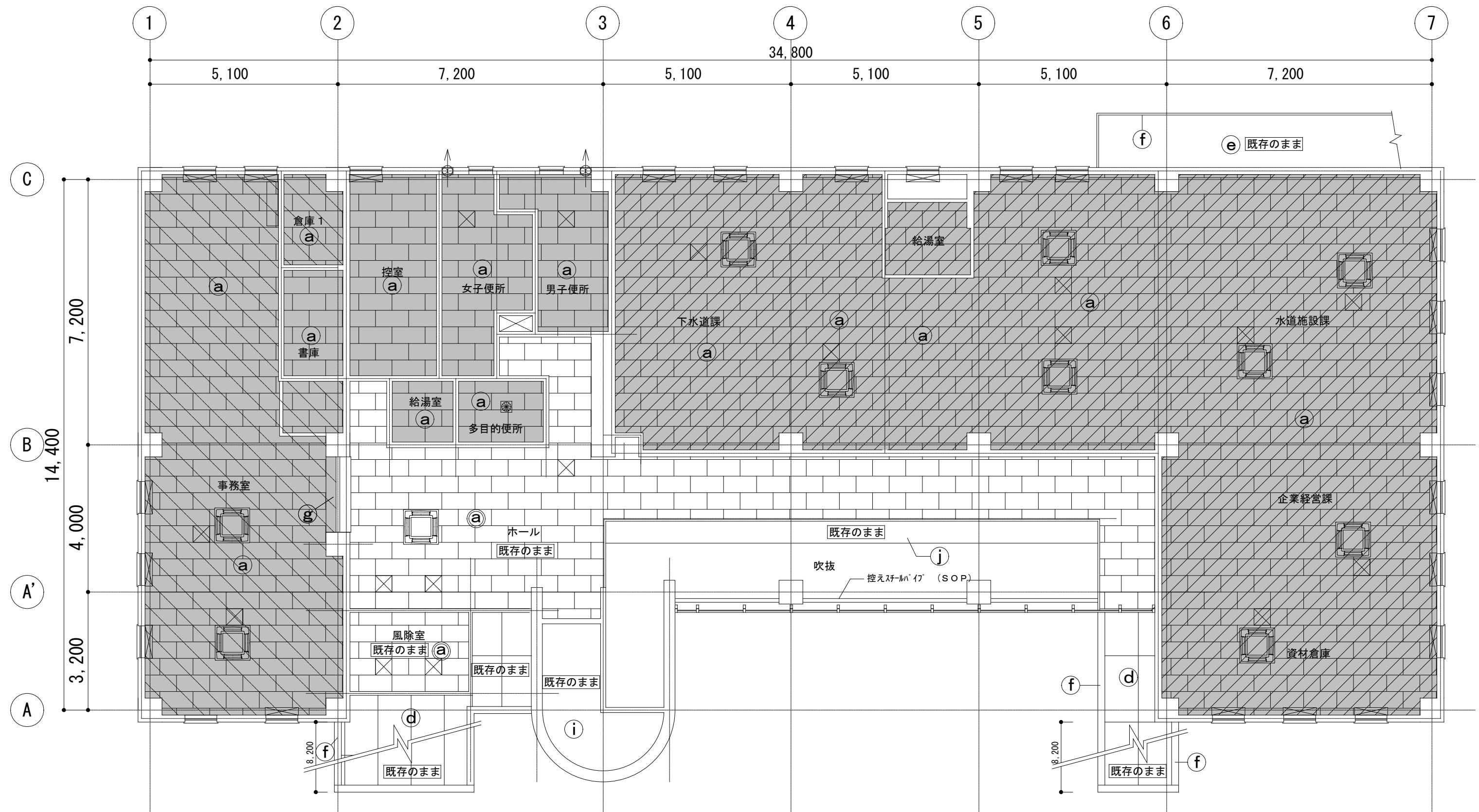
承認 設計 担当 製図 緯尺
A1:S=1/50
A3:S=1/100
設計年月日

A1:S=1/50
A3:S=1/100
設計年月日

工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事
図面名称 1階天井伏図(改修前)

A-21

No.



1階天井伏図 S=1:100

(a) 石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm (新設)	(g) モルタル金ゴテ SOP
(b) 化粧石膏ボードt=9.5	(h) ラワンビニヤ貼 t=4.0
(c) 化粧石膏ボードt=9.5 (敷目板貼)	(i) コンクリート打放シ
(d) ケイ酸カルシウム板t=4mm	既存のまま
(e) コンクリート打放シ 吹付タイル	既存のまま
(f) 磁器質タイル貼	既存のまま

天井材改修部分を示す
軽天下地改修範囲を示す
軽天下地改修範囲を示す(耐震天井)

カーテンボックス: ラウン t=21 SOP
天井点検口 アルミ枠450×450
(天井改修部分のみ新設)

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

承認

設計

担当

製図

縮尺

A1:S=1/50
A3:S=1/100

工事名称

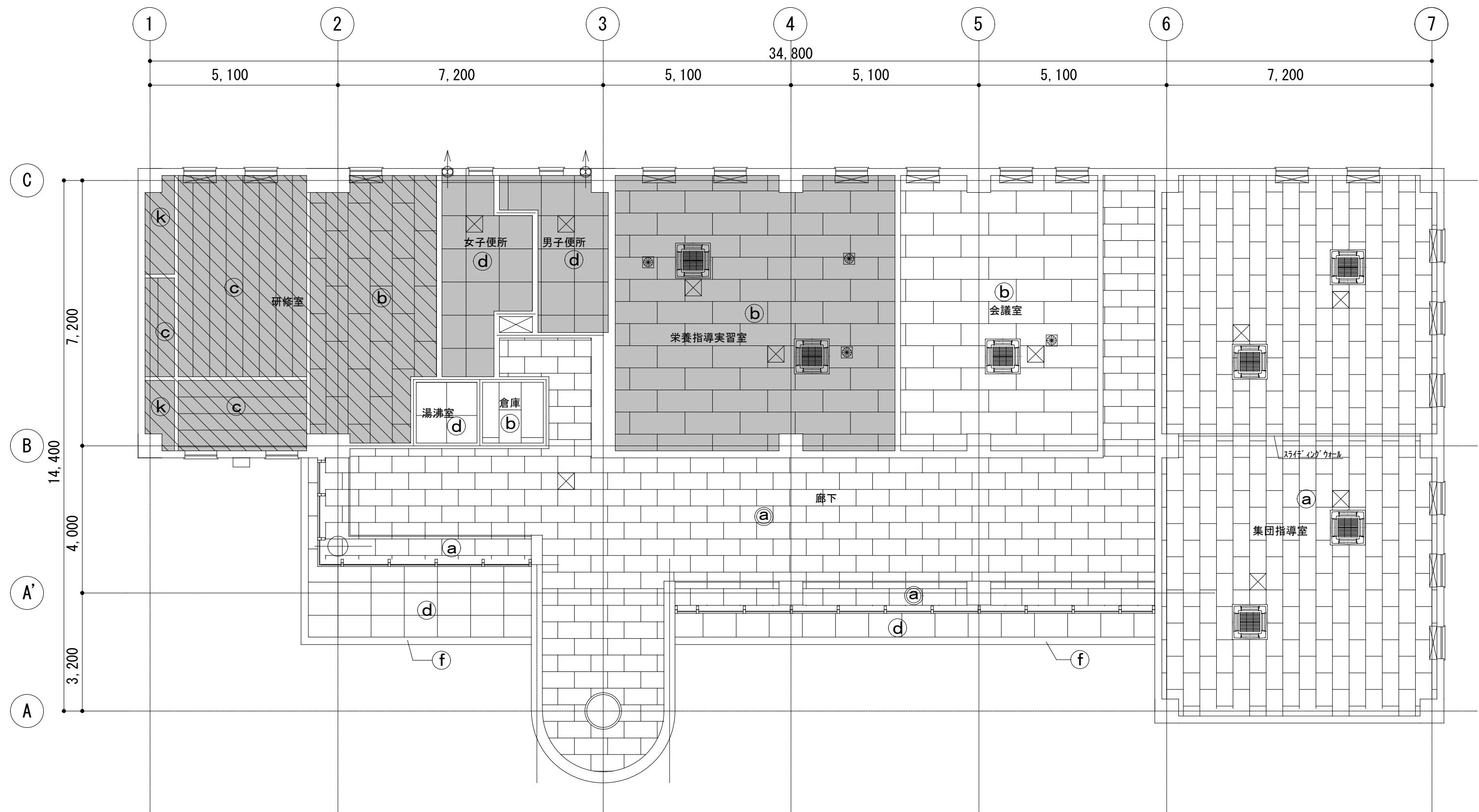
事務所用建物（旧保健センター）改修工事

設計年月日

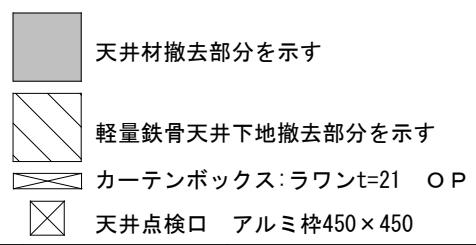
図面名称 1階天井伏図(改修後)

A-22

No.



(a) 岩綿吸音板 t=12.0	(撤去)	アスペクト含有建材(レベル3)	(g) モルタル金ゴテ VP		
(b) 化粧石膏ボード t=9.0	(撤去)	アスペクト含有建材(レベル3)	(h) ラワンビニヤ貼 t=4.0	(撤去)	
(c) 化粧石膏ボード t=9.0(敷目板貼)	(撤去)	アスペクト含有建材(レベル3)	(i) コンクリート打放シ		
(d) フレキシブルボード t=4.0目透シ貼(VP)	(撤去)	アスペクト含有建材(レベル3)	(j) モルタル金ゴテ吹付タイル		
(e) コンクリート打放シ 吹付タイル			(k) 岩綿吸音板 t=12.0(サンドブラスト)	(撤去)	アスペクト含有建材(レベル3)
(f) 磁器質タイル貼					



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田 設計

承認

設計

担当

製図

縮尺

A1:S=1/50
A3:S=1/100

工事名称

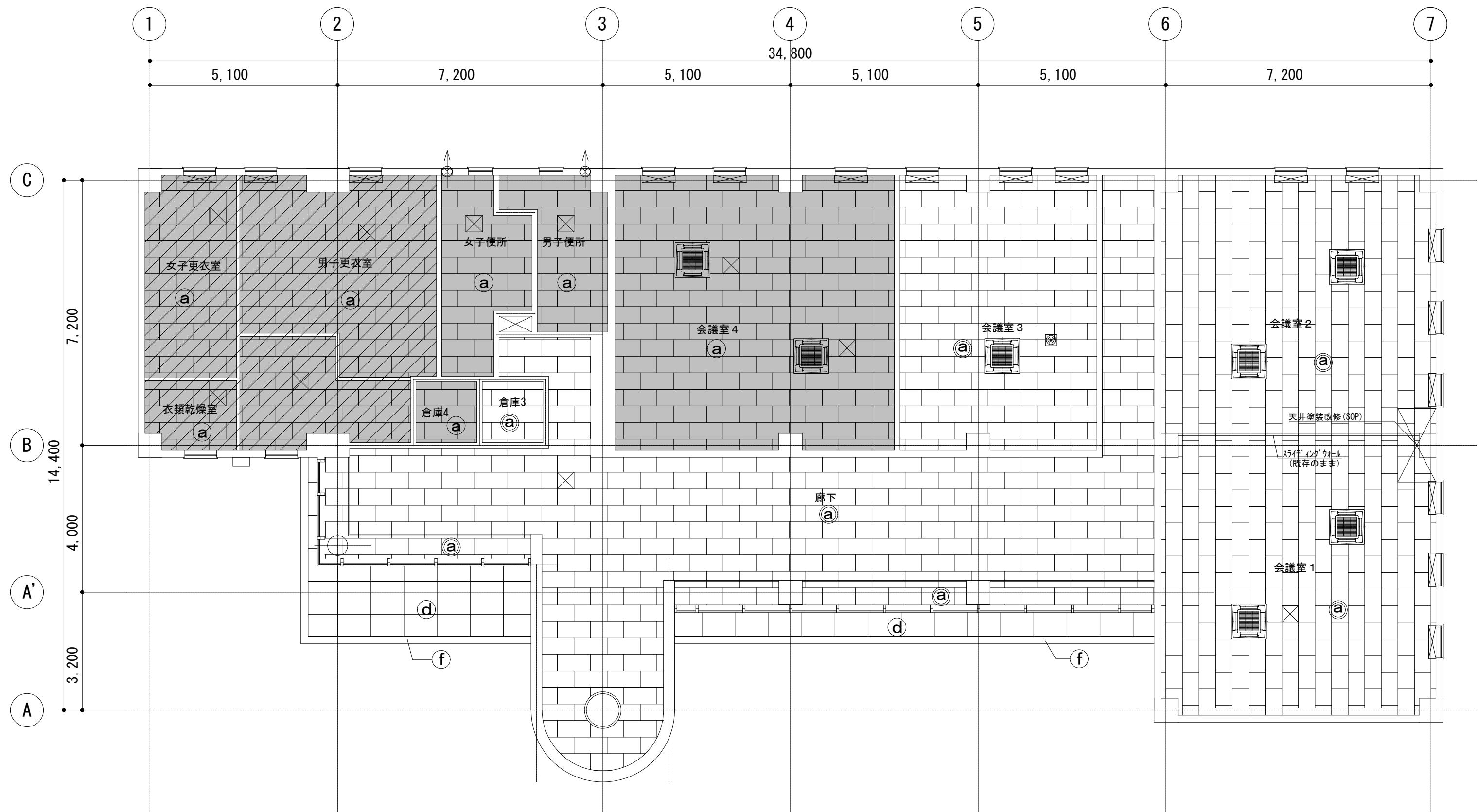
事務所用建物(旧保健センター)改修工事

設計年月日

図面名称 2階天井伏図(改修前)

A-23

No.



2階天井伏図 S=1 : 100

(a) 石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm (新設)		(g) モルタル金ゴテ SOP		
(a) 岩綿吸音板 t=12.5	既存のまま	(h) ラワンビニヤ貼 t=4.0		
(c) 化粧石膏ボードt=9.5 (敷目板貼)		(i) コンクリート打放シ	既存のまま	
(d) ケイ酸カルシウム板t=4mm		(j) モルタル金ゴテ吹付タイル	SOP塗装	
(e) コンクリート打放シ 吹付タイル	既存のまま	(a)		
(f) 磁器質タイル貼	既存のまま			

天井材改修部分を示す	カーテンボックス: ラワンt=21 SOP
軽天下地改修範囲を示す	天井点検口 アルミ枠450×450 (天井改修部分のみ新設)

カーテンボックス: ラワンt=21 SOP
天井点検口 アルミ枠450×450
(天井改修部分のみ新設)

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

承認

設計

担当

製図

縮尺

A1:S=1/50
A3:S=1/100

工事名称

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

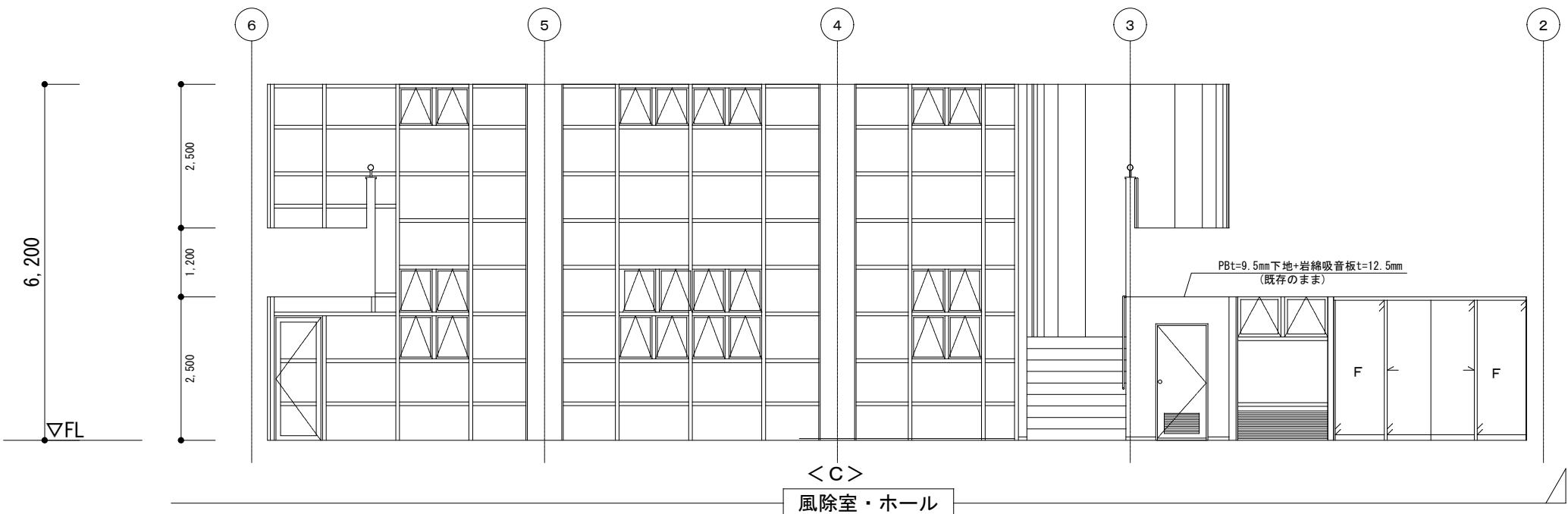
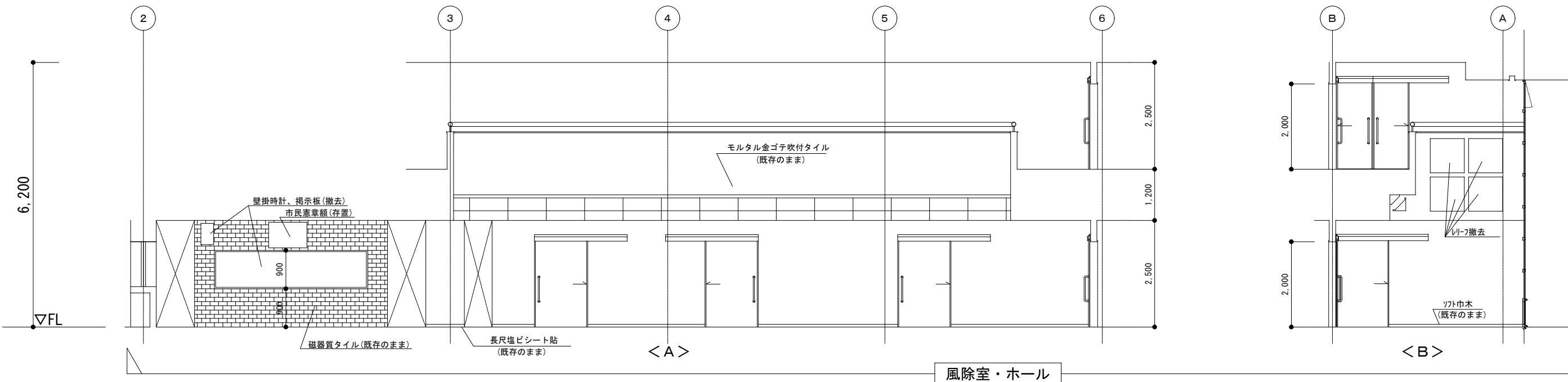
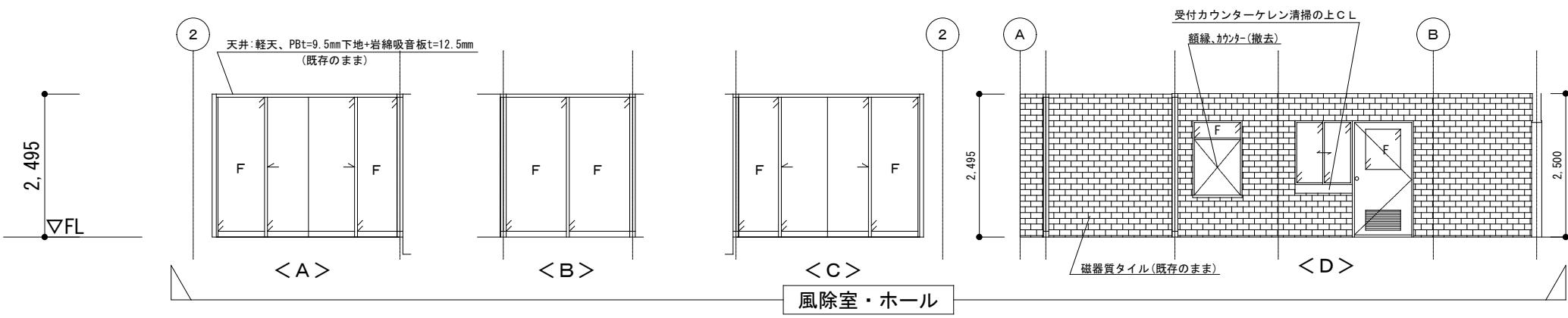
設計年月日

図面名称

2階天井伏図(改修後)

A-24

No.



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

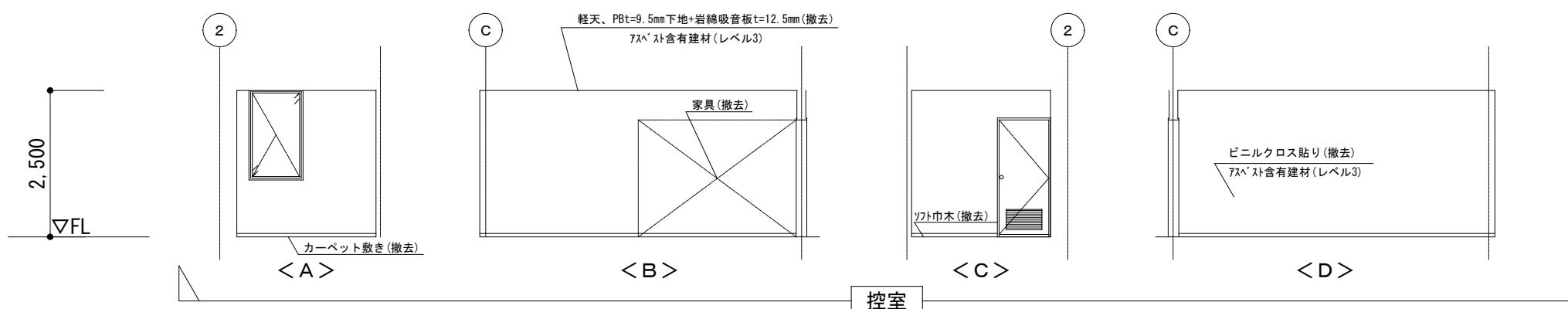
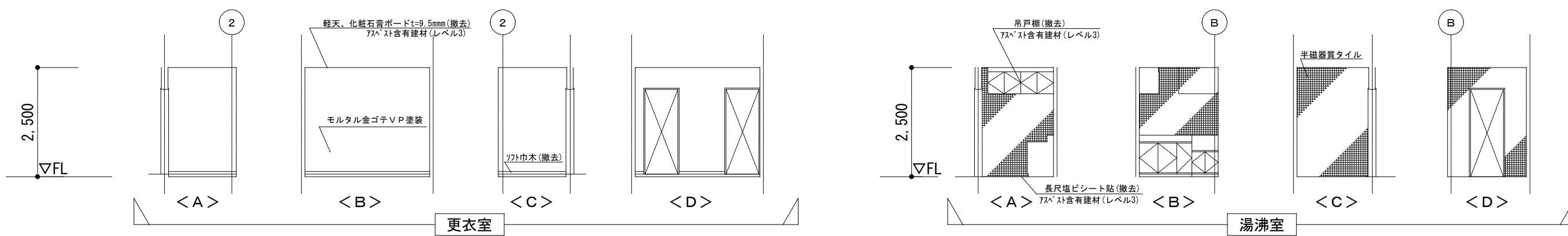
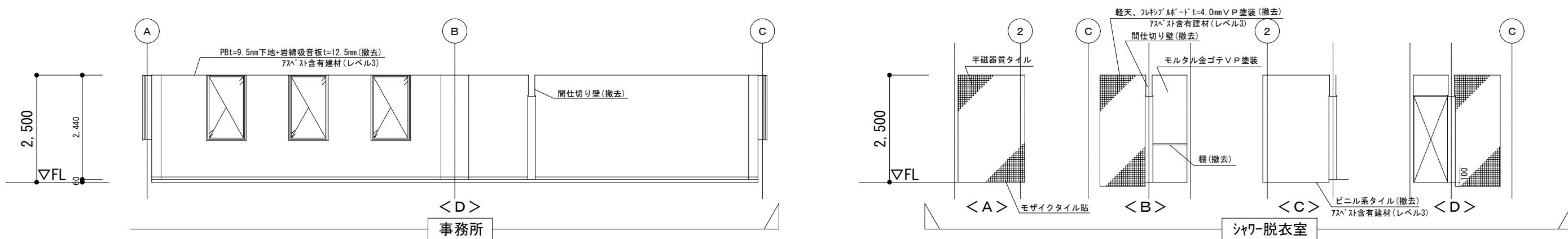
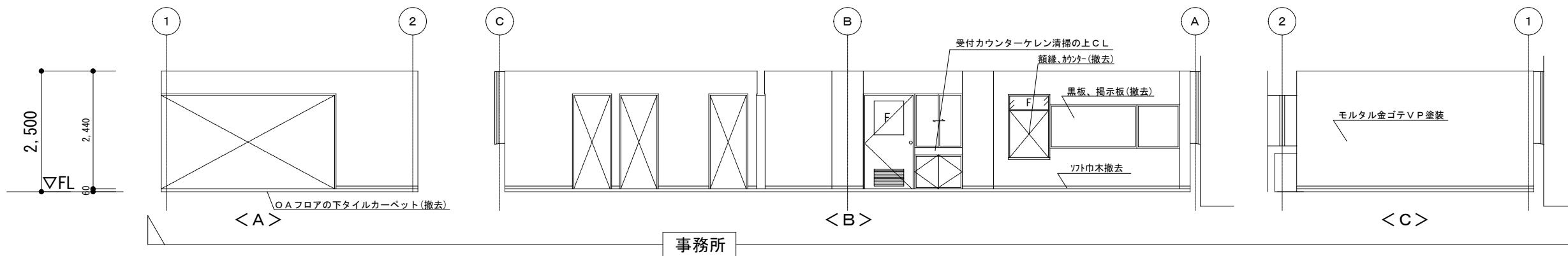
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

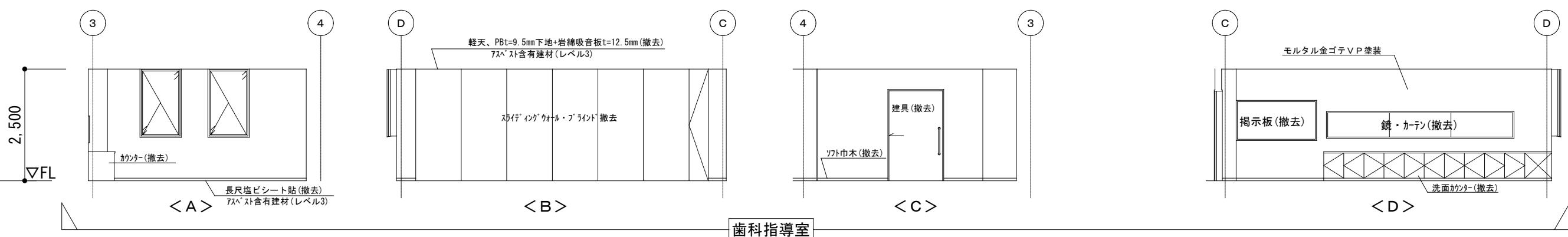
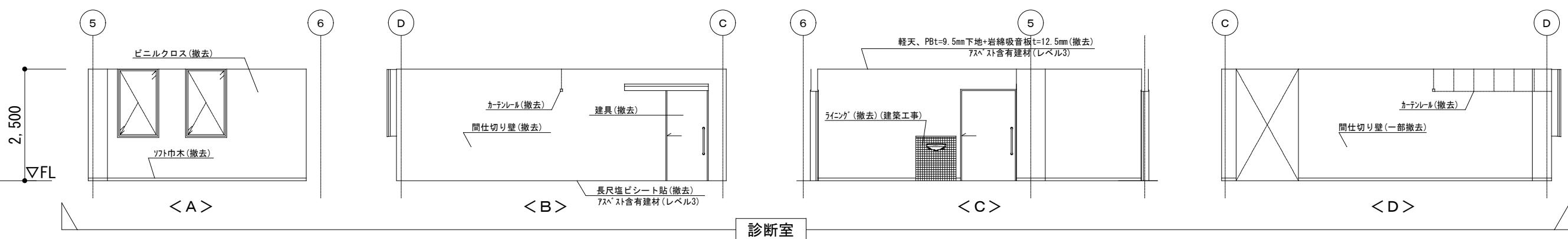
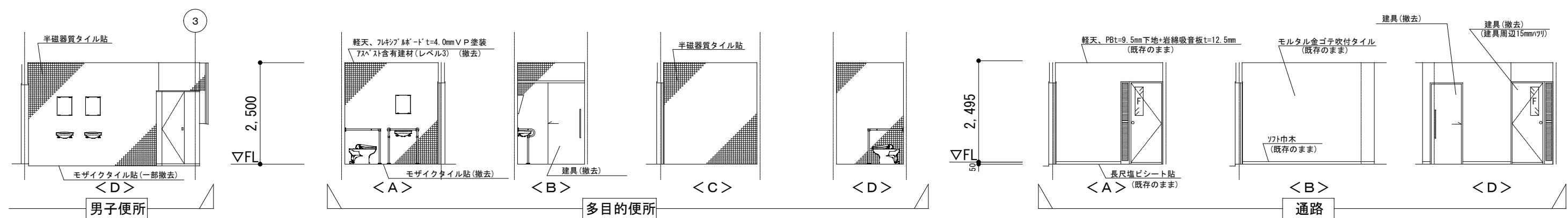
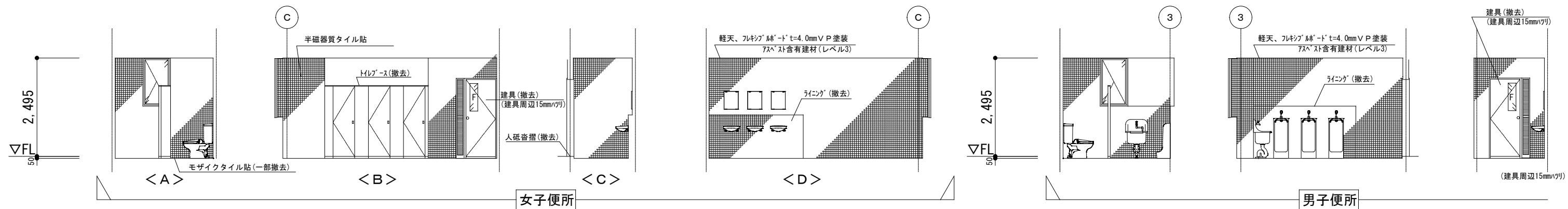
工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 展開図(1)(改修前)

A-25

No.





MEMO

埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

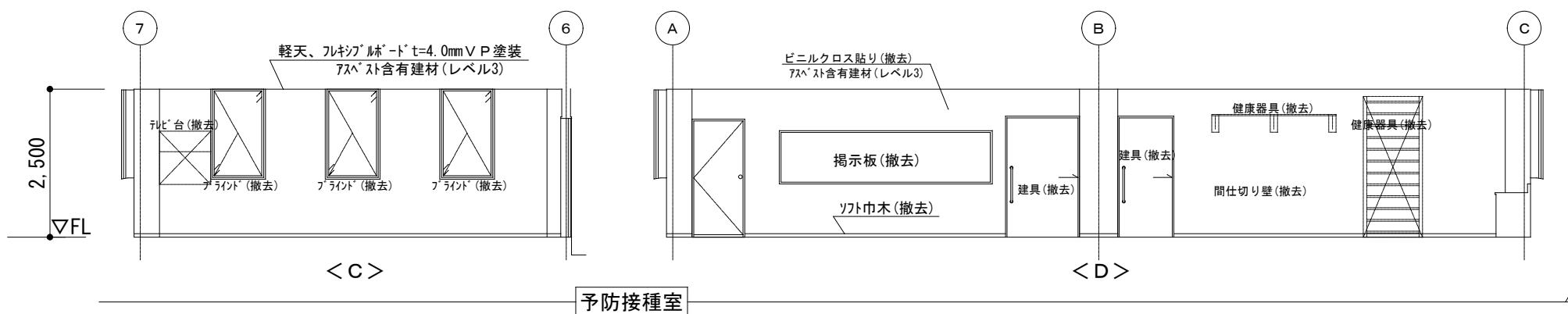
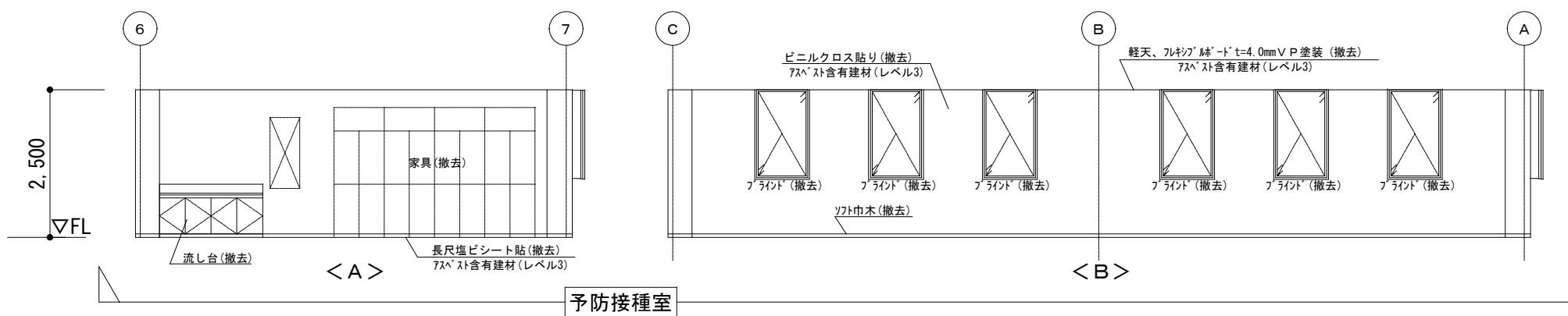
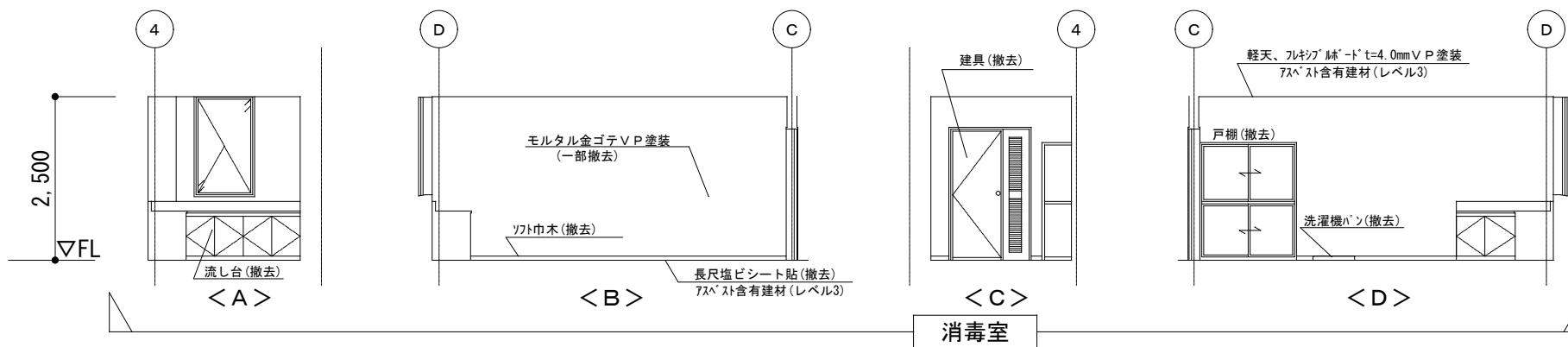
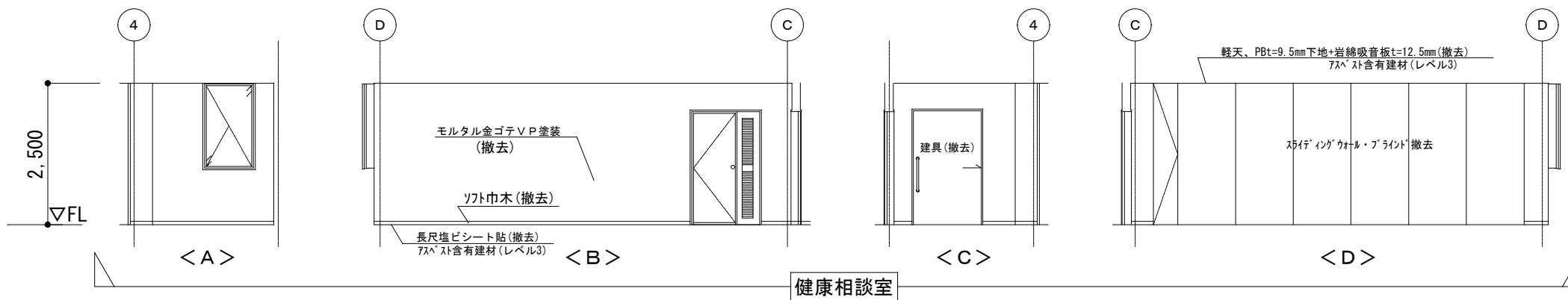
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 展開図(3)(改修前)

A-27

No.



MEMO

埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

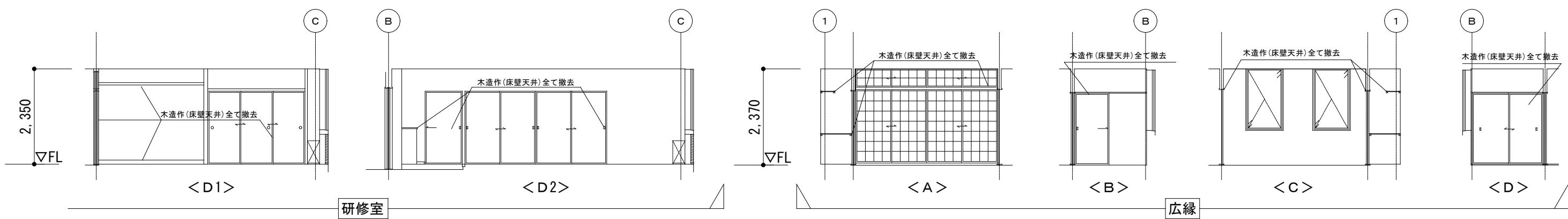
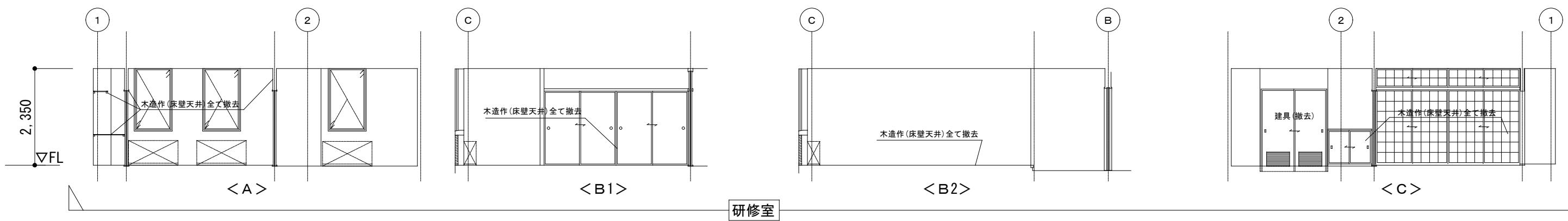
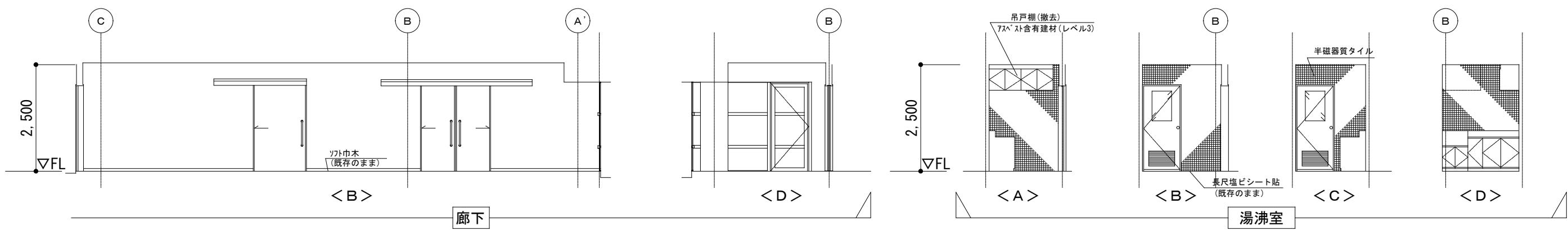
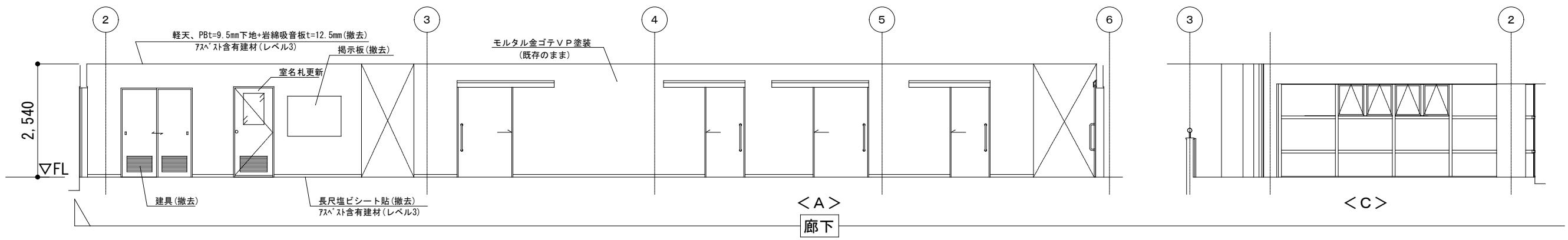
承認 設計 担当 製図
A1:S=1/50
A3:S=1/100
設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 展開図(4)(改修前)

A-28

No.



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

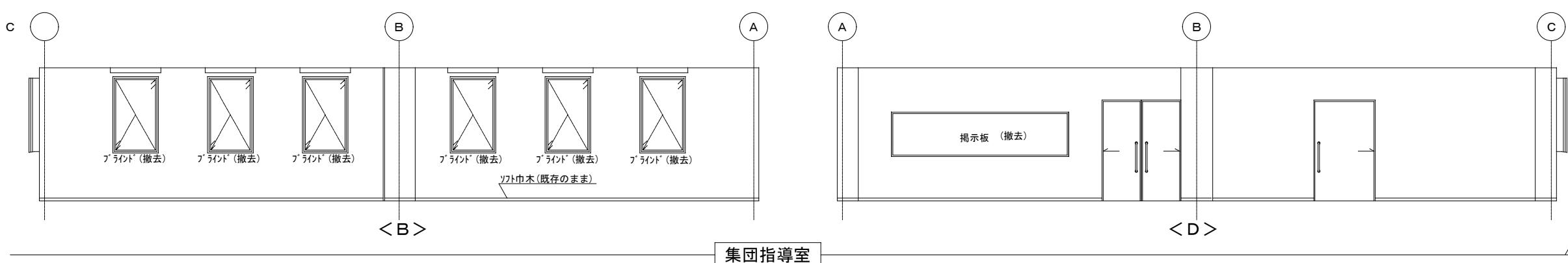
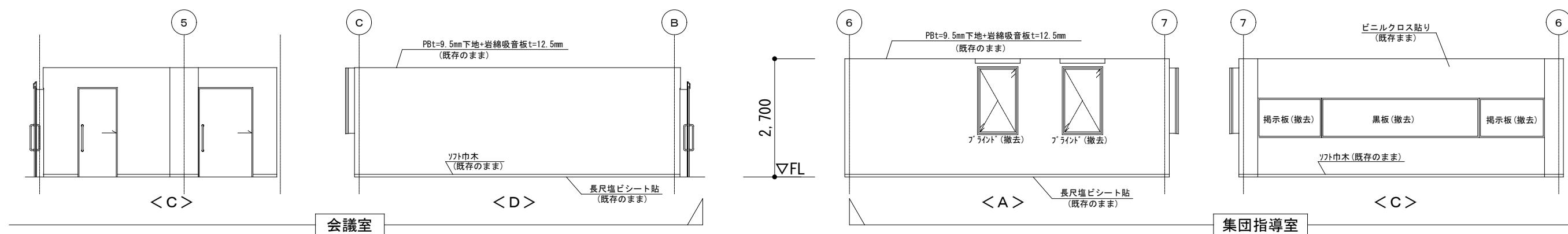
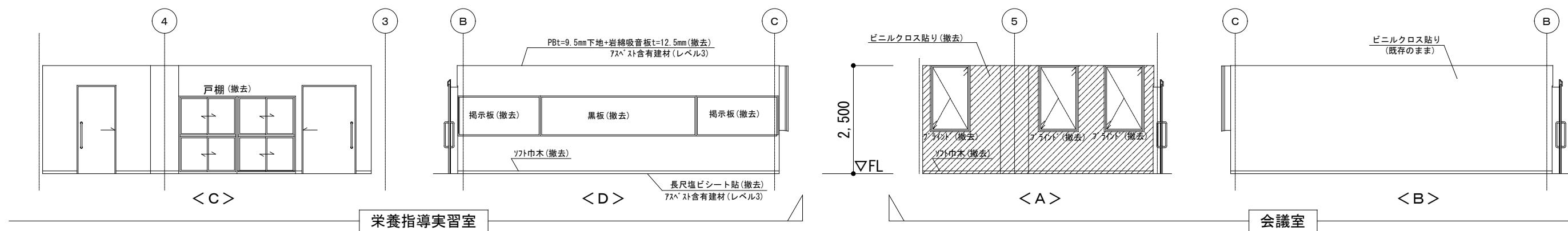
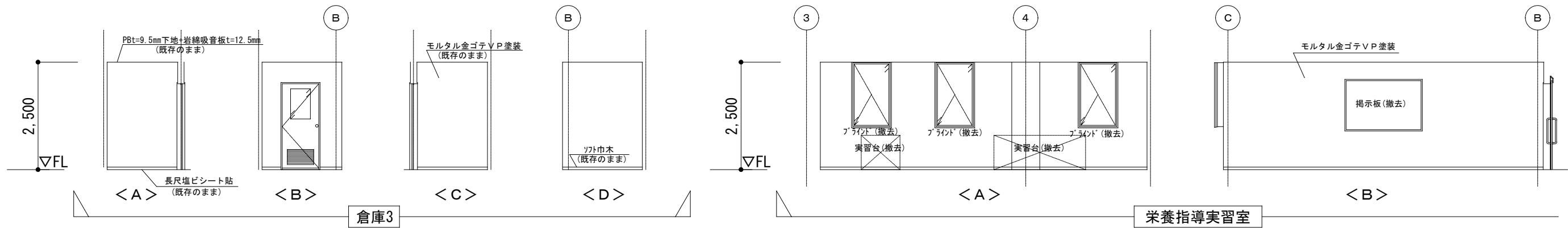
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 展開図(5)(改修前)

A-29

No.



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

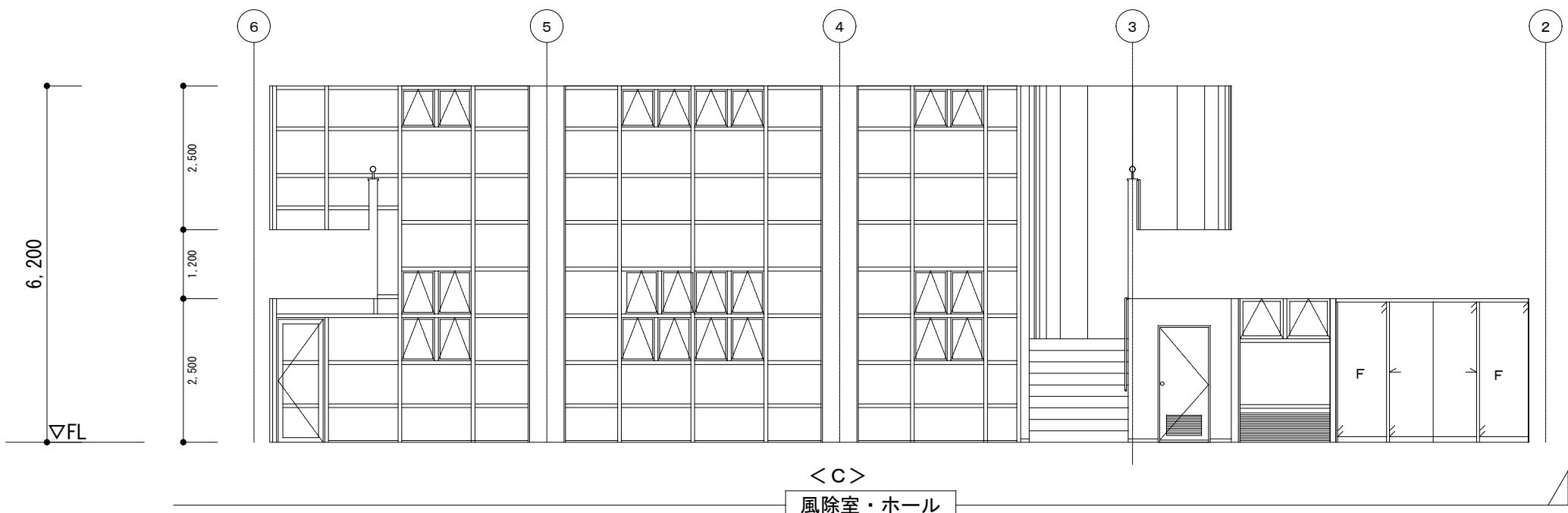
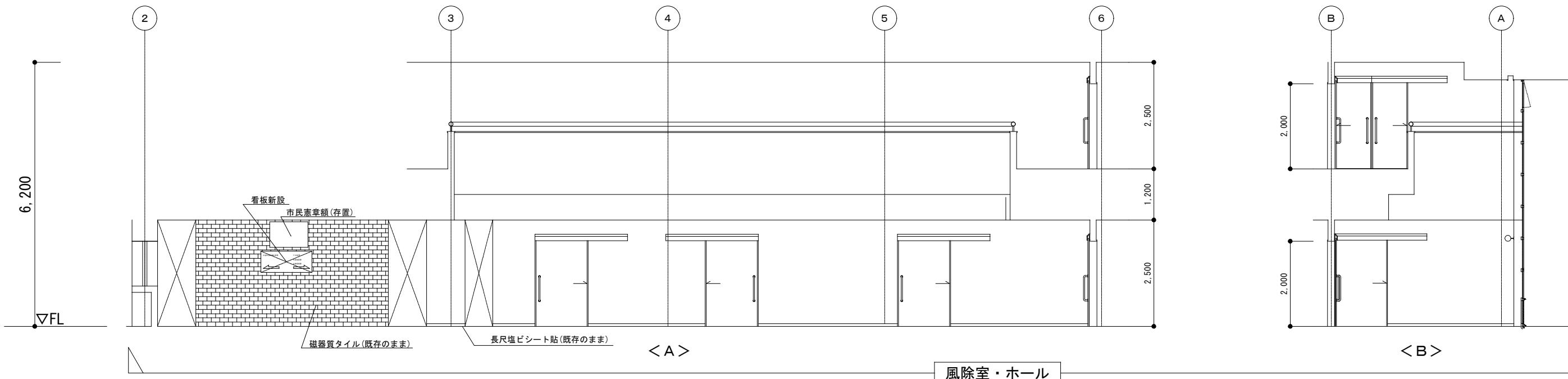
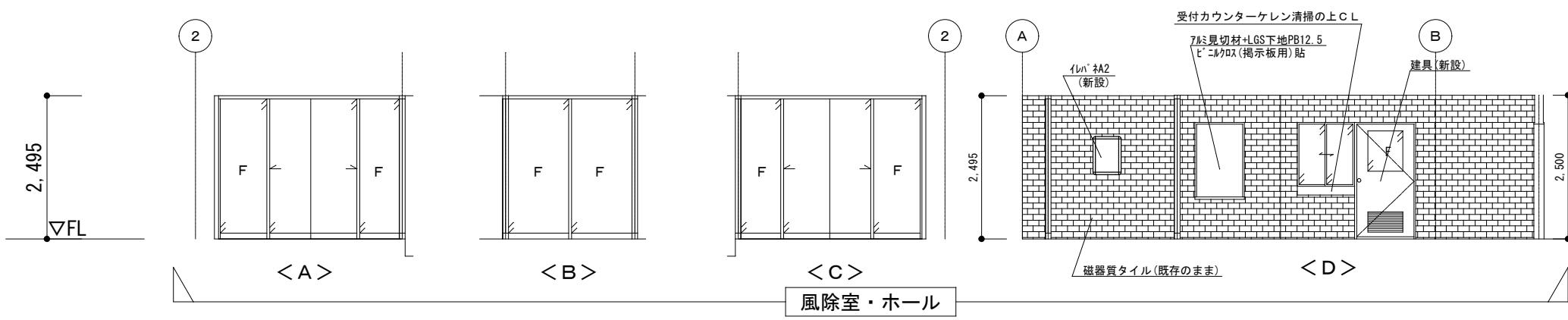
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 展開図(6)(改修前)

A-30

No.



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

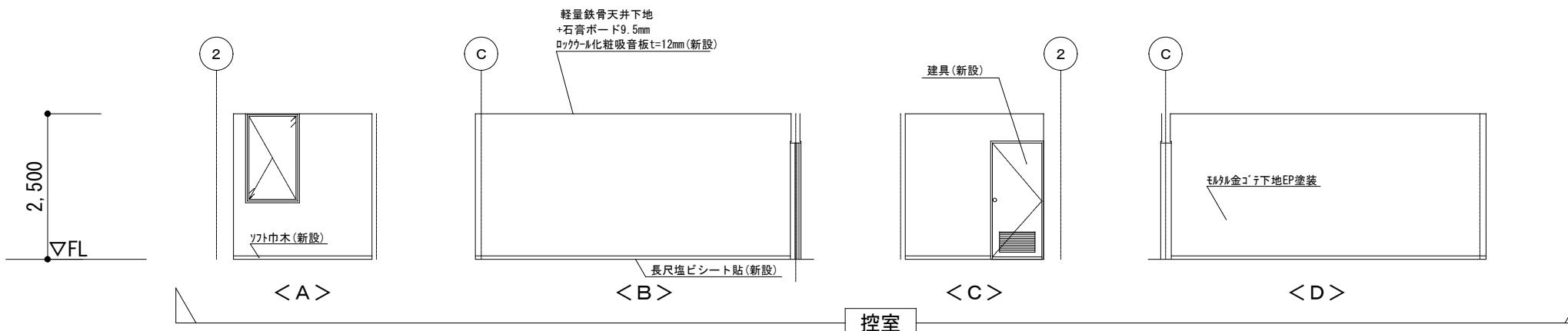
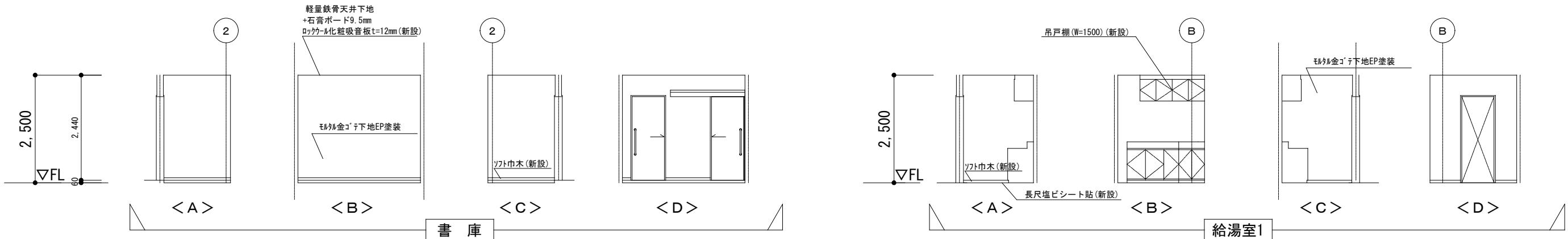
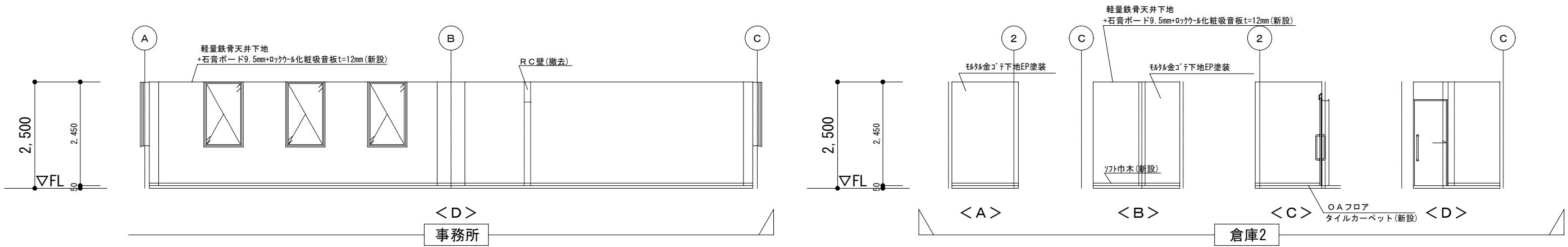
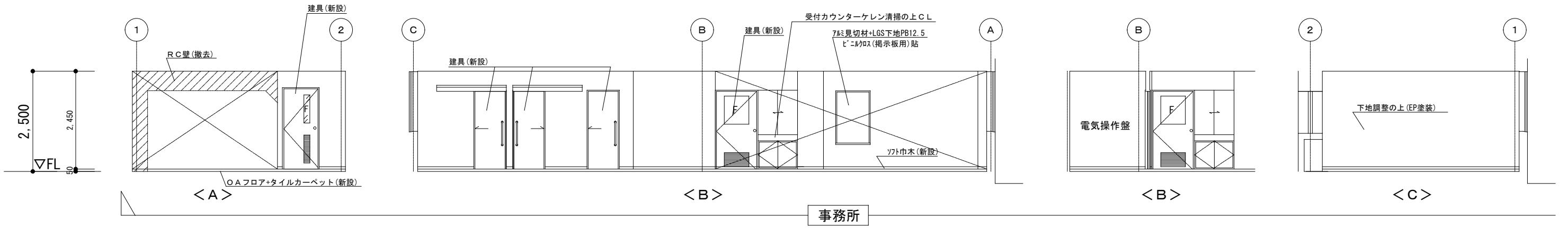
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事

図面名称 展開図(1)(改修後)

A-31

No.



MEMO



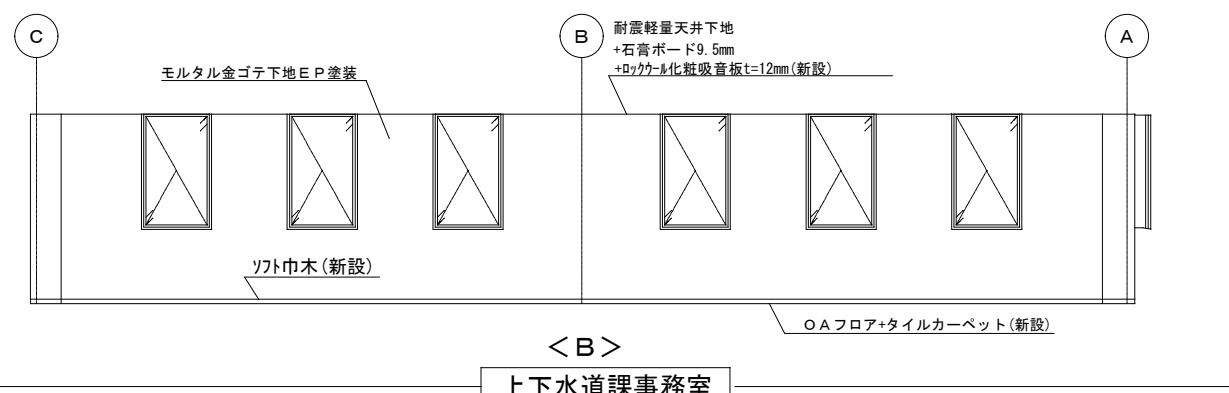
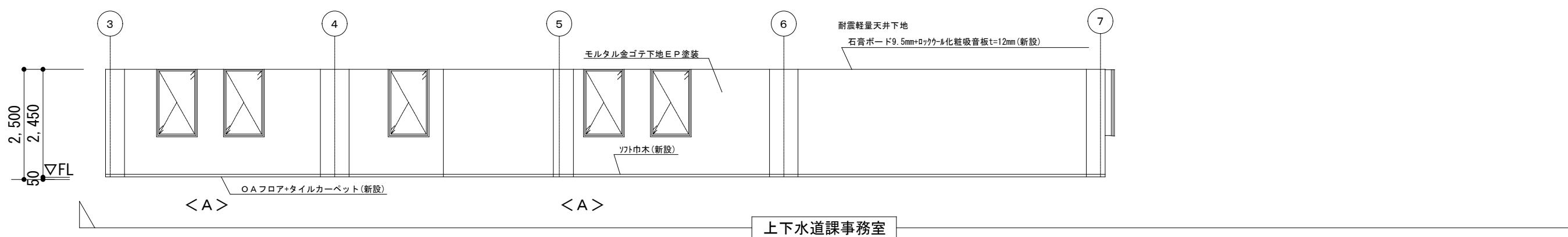
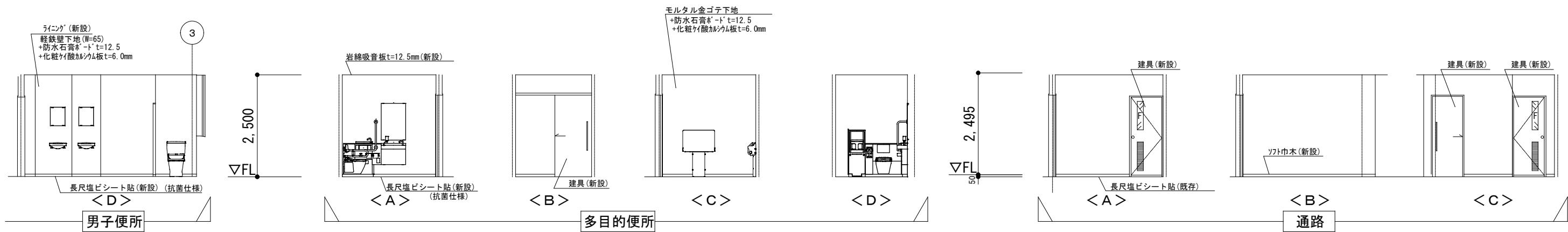
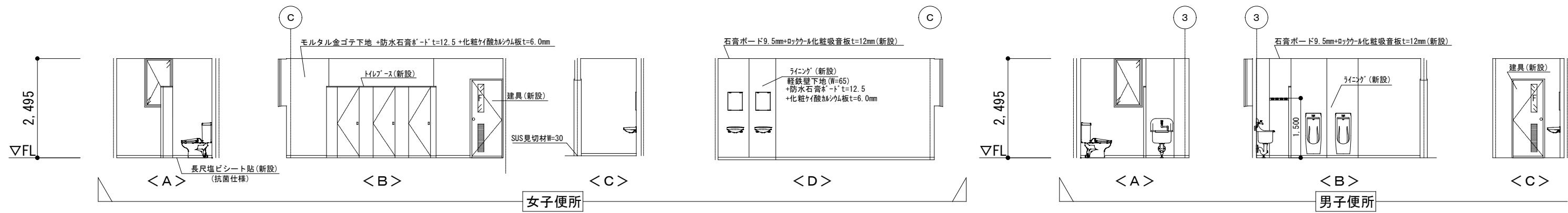
埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

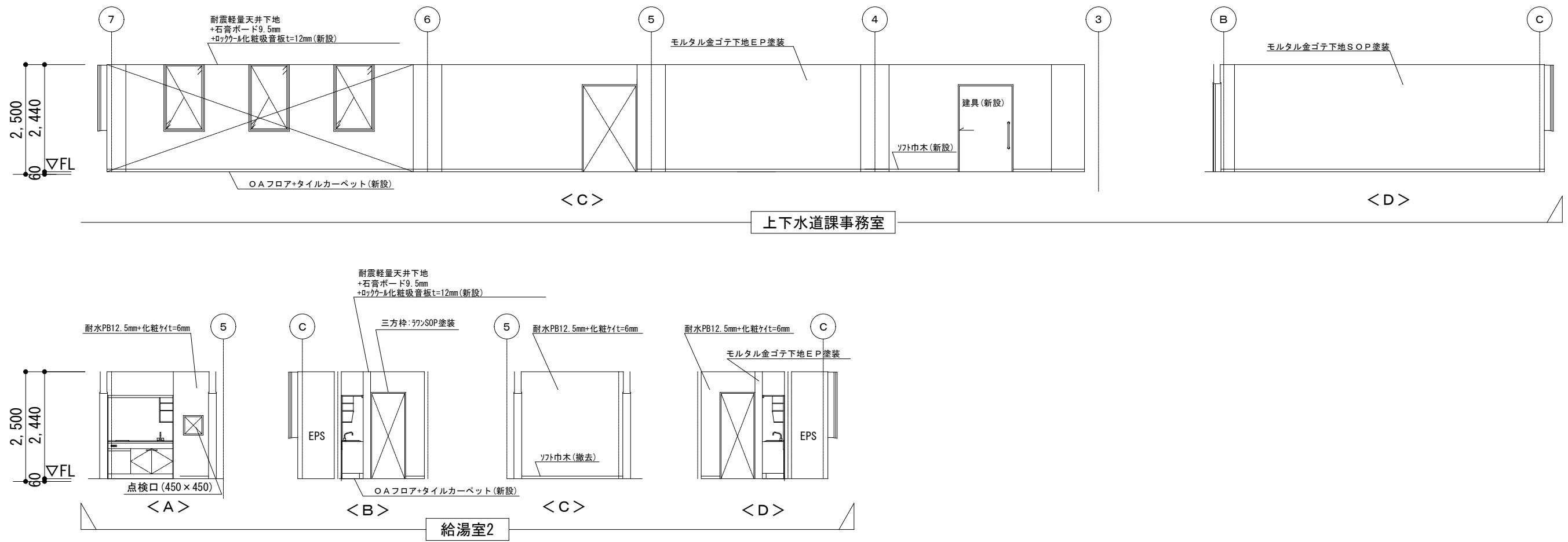
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事
図面名称 展開図(2)(改修後)

A-32

No.





MEMO

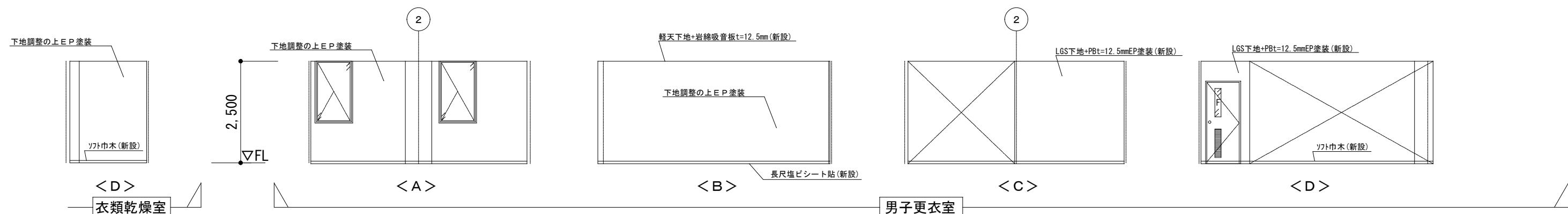
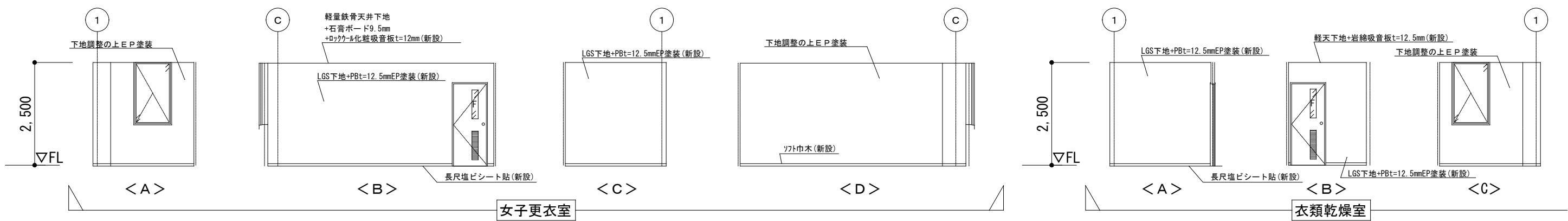
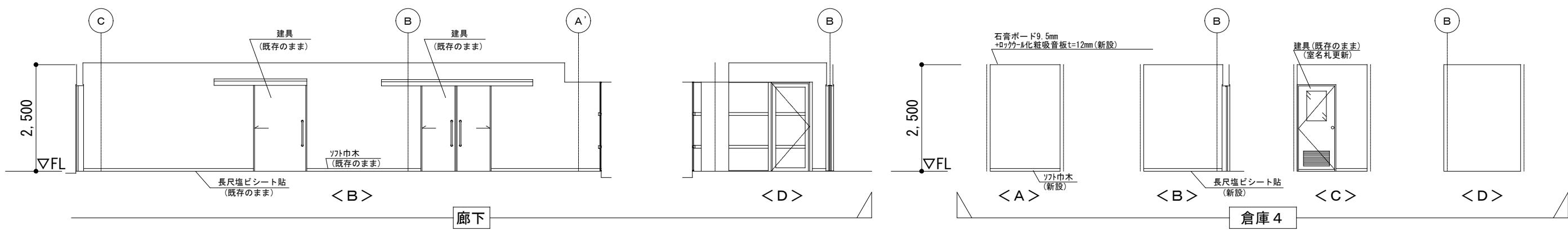
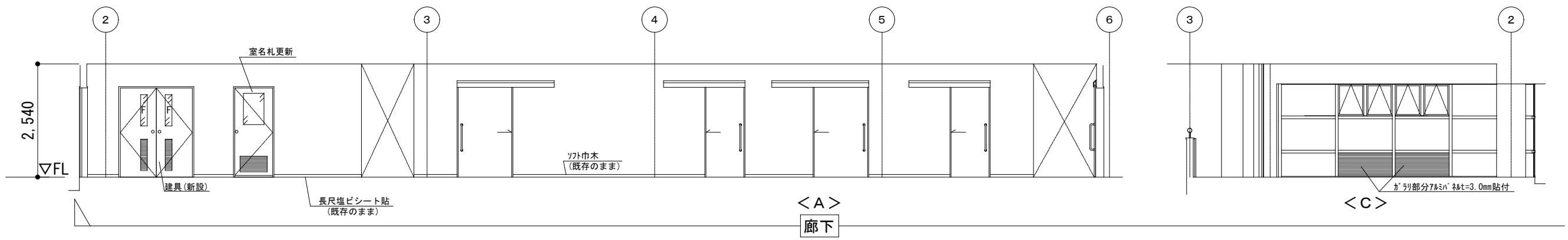


埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事
図面名称 展開図(4)(改修後)

No. A-34



MEMO



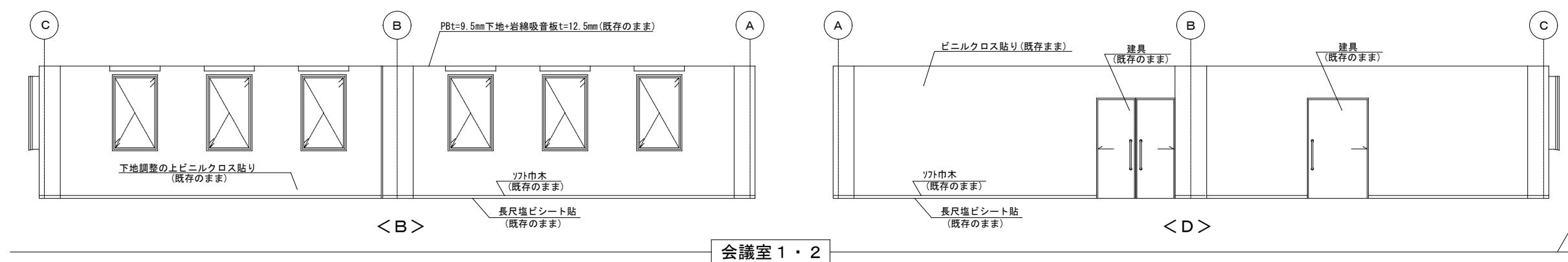
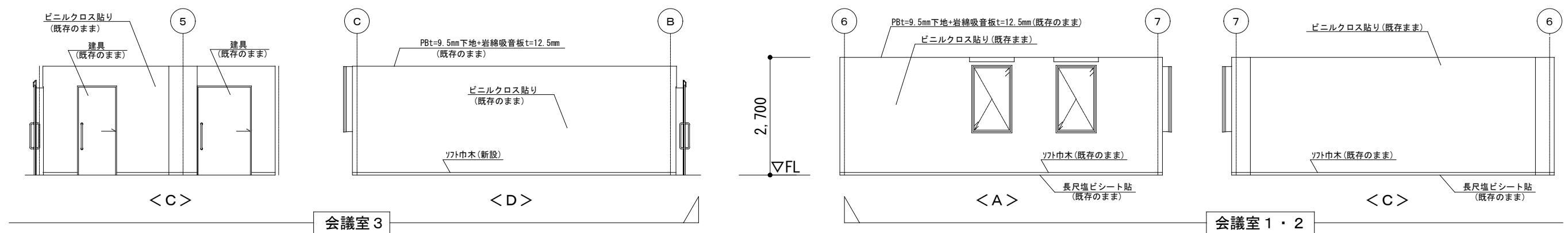
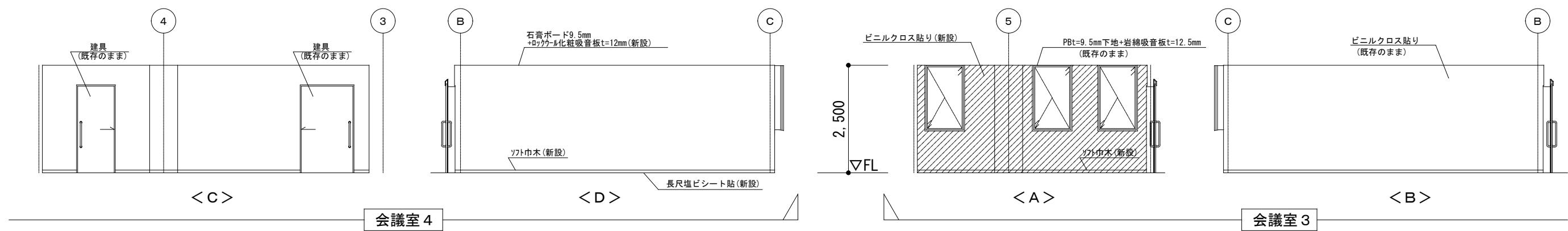
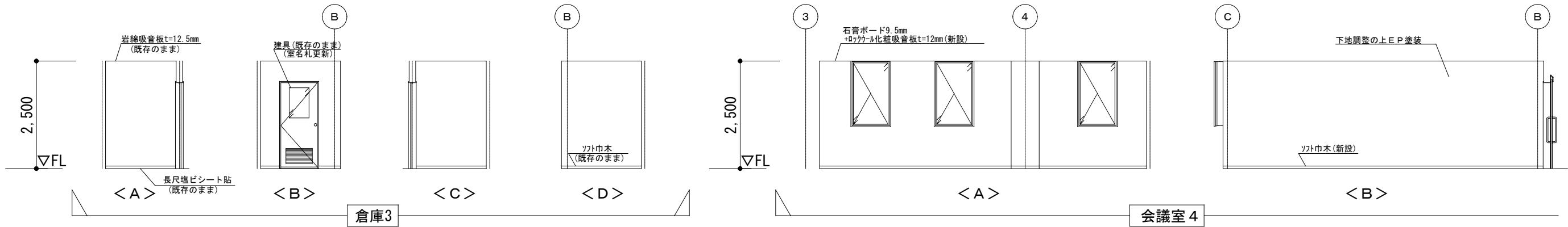
埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事
図面名称 展開図(5)(改修後)

A-35

No.



MEMO

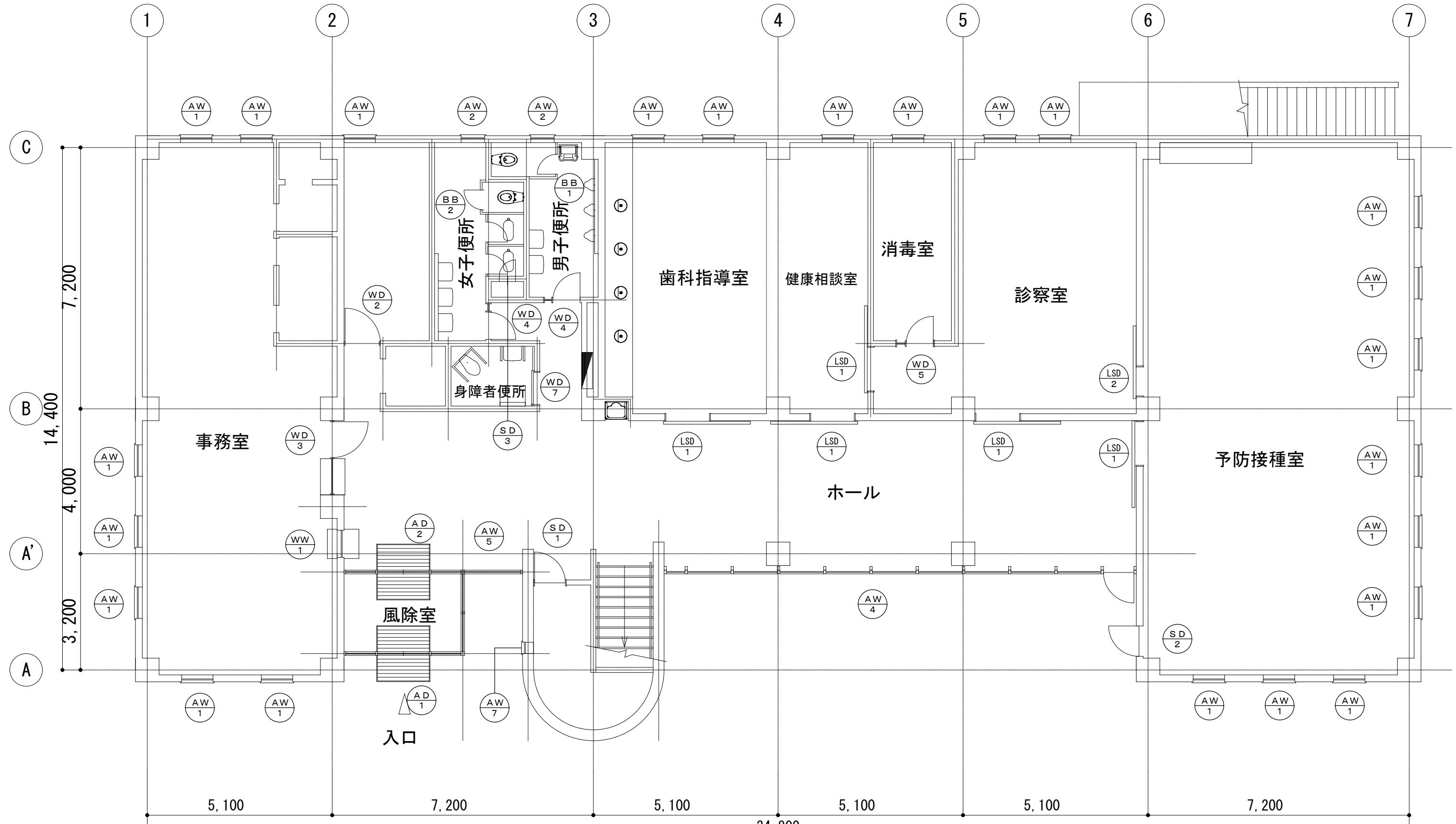


埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事
図面名称 展開図(6)(改修後)

A-36
No.



MEMO

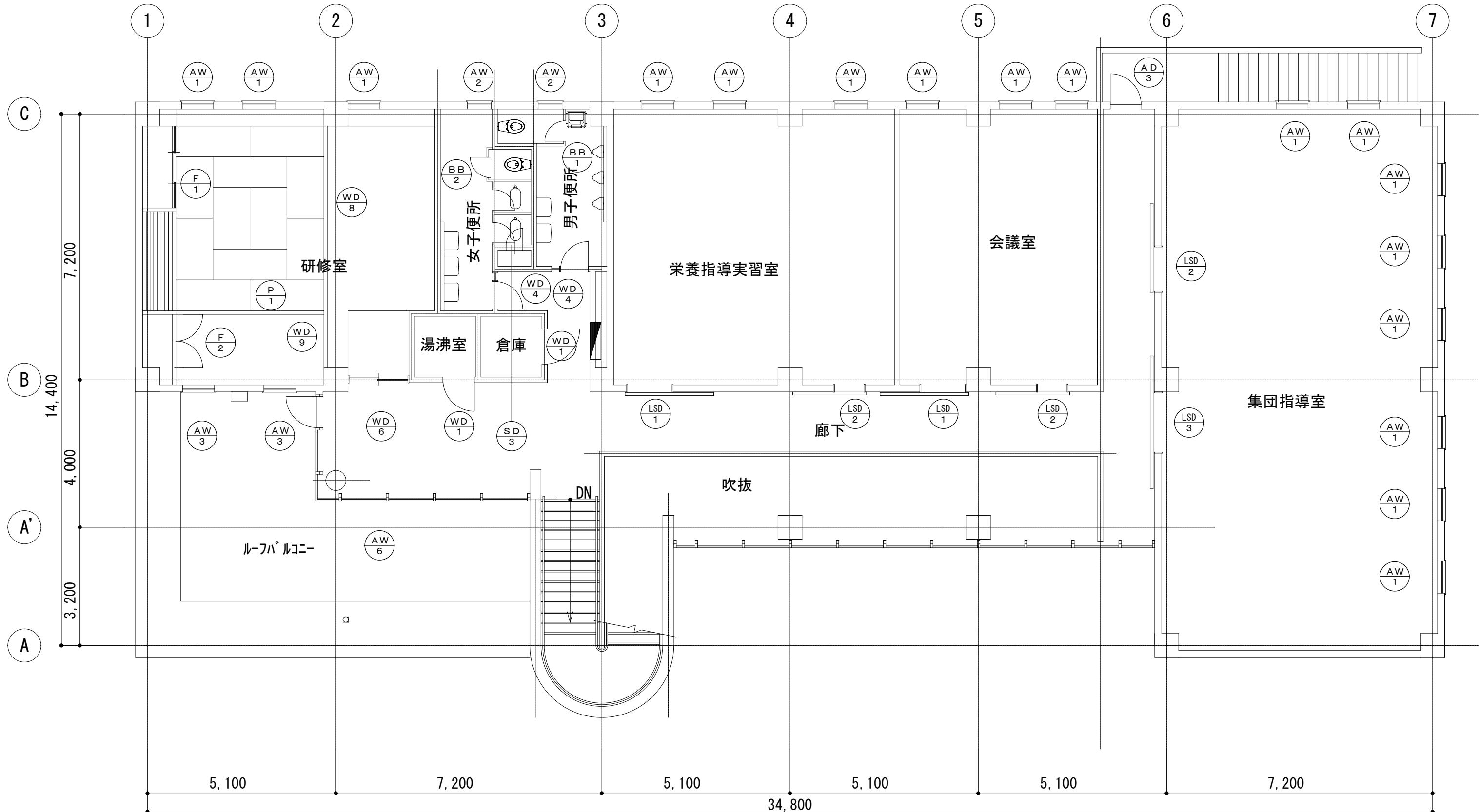


埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	A1:S=1/50
				A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事
図面名称 建具表キープラン(1階)(改修前)

A-37
No.



建具表キープラン(2階)(改修前)

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
設計年月日				

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 建具表キープラン(2階)(改修前)

A-38

No.

姿図															
記号	(SD) ②	1ヶ所	(SD) ③	2ヶ所	(SD) ④	7ヶ所	(SD) ⑤	3ヶ所	(SD) ⑥	1ヶ所		(W) ①	2ヶ所	(W) ②	1ヶ所
姿図															
見込	40		40		40		40		40				40		40
種別	片開き戸		片開き戸		片引き戸		片引き戸		片引き戸				片開き戸		片開き戸
仕上	片開きスチールドア		片開きスチールドア		軽量鋼製ハンガーパー引戸		軽量鋼製ハンガーパー引戸		軽量鋼製ハンガーパー引戸				片開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア
硝子															
附属金物	シリカ-錠、握手 ドアストッパー付		握手		棒状ハンドル(引手)		棒状ハンドル(引手)		棒状ハンドル(引手)				シリカ-錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		シリカ-錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き
改修内容					既存撤去(建具キーブランによる)		既存撤去(建具キーブランによる)						既存撤去		既存撤去
記号	(W) ③	1ヶ所	(W) ④	4ヶ所	(W) ⑤	1ヶ所	(W) ⑥	1ヶ所	(W) ⑦	1ヶ所	(W) ⑧	1ヶ所	(W) ⑨	1ヶ所	
姿図															
見込	40		40		40		40		40				40		40
種別	片開き戸		片開き戸		片開き戸		引違戸		片引き戸		4枚建引違戸棟		片引き戸棟		
仕上	片開きフラッシュドア		ガラリ袖付片開きフラッシュドア		ガラリ袖付片開きフラッシュドア		引違両面フラッシュドア		片引きハンガーフラッシュドア		片面襖、片面フラッシュドア		片面襖、片面フラッシュドア		
硝子															
附属金物	シリカ-錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		握手		握手		引手		棒状ハンドル(引手)		引手		引手		
改修内容	既存一部撤去		既存撤去		既存撤去		既存撤去		既存撤去		既存撤去		既存撤去		
記号	(W) ⑩	1ヶ所	(F) ①	1ヶ所	(F) ②	1ヶ所	(P) ①	1ヶ所			(BB) ①	2ヶ所	(BB) ②	2ヶ所	
姿図															
見込	40		40		40		40					60		60	
種別	F1 X窓		3枚建引違襖		2枚両開き襖		4枚建引違障子					便所ブース		便所ブース	
仕上	透明ガラス		襖		襖		障子					フラッシュドア		フラッシュドア	
硝子															
附属金物			引手		引手										
改修内容	既存撤去		既存撤去		既存撤去		既存撤去					既存撤去		既存撤去	

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

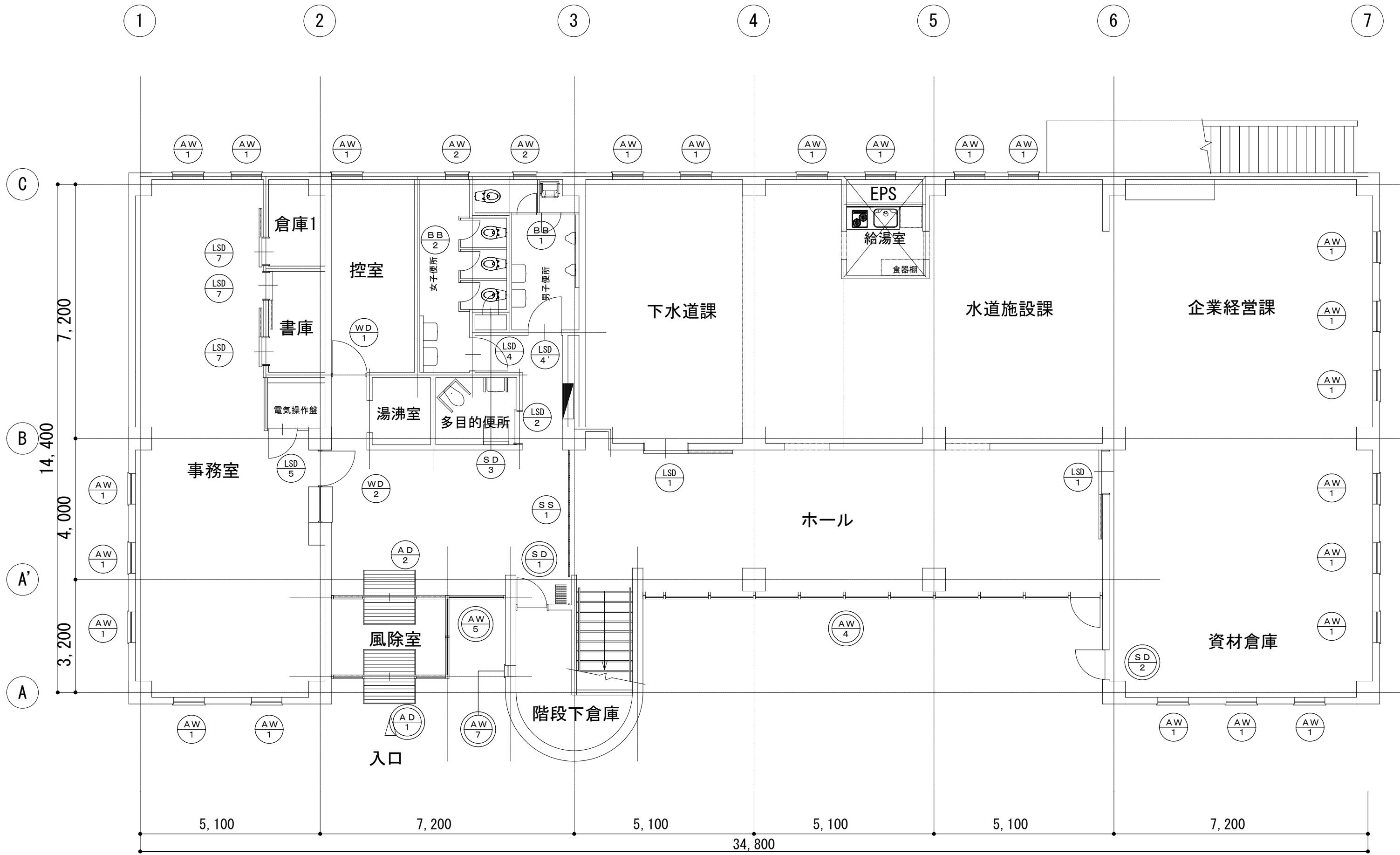
承認 設計 担当 製図
A1:S=1/50
A3:S=1/100
設計年月日

工事名称

図面名称 建具表(2)(改修前)

A-40

No.



建具表キープラン(1階)(改修後)

** ..既存のままの建具を示す
* ..既存のままの建具を示す

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100

設計年月日

工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事

図面名称 建具表キープラン(1階)(改修後)

A-41

No.

1

2

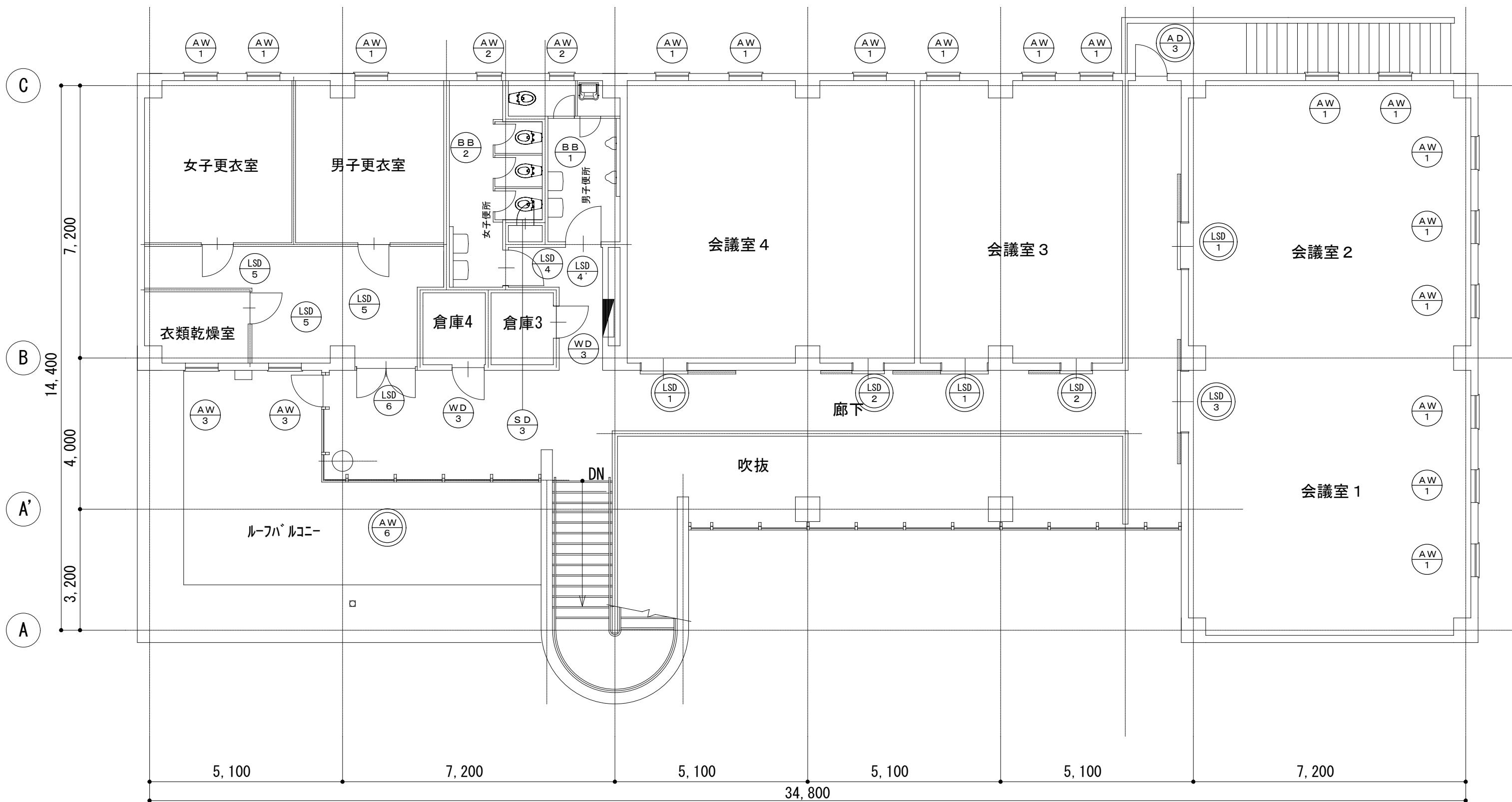
3

4

5

6

7



建具表キープラン(2階)(改修後)

** ... 既存のままの建具を示す
* ..

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/50 A3:S=1/100
				設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 建具表キープラン(2階)(改修後)

A-42

No.

姿図																	
記号	(SD) ₃	1ヶ所	(SD) ₁	1ヶ所	(SD) ₂	1ヶ所	(SD) ₃	2ヶ所	(SD) ₁								
姿図		2階廊下		階段下倉庫		資材倉庫		便所点検口		(新設2ヶ所)							
見込	40		40		40		40		40								
種別	FIXランマ付き片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸								
仕上	アルミドア		片開きスチールドア		片開きスチールドア		軽量鋼製ハンガー片引戸		軽量鋼製ハンガー片引戸								
硝子																	
附属金物	シリンドー錠、握手 ドアストッパー付		シリンドー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付		シリンドー錠、握手 ドアストッパー付		握手	棒状ハンドル(引手) シリンドー錠	棒状ハンドル(引手) シリンドー錠								
改修内容	清掃／点検・調整		清掃／点検・調整		ドアクローザー交換 下地調整、SOP塗装		下地調整、SOP塗装	清掃／点検・調整 既存撤去(建具キーブランによる) 新設(アウトセット・ハンガードア)	清掃／点検・調整	新設(アウトセット・ハンガードア)							
記号	(SD) ₅	4ヶ所	(SD) ₆	1ヶ所	(SD) ₇	3ヶ所			(SD) ₁	1ヶ所	(SD) ₂	1ヶ所	(SD) ₃	2ヶ所			
姿図		更衣室・事務室		更衣室		事務室				控室		引違窓既存開き戸新設 ガラス戸(新設)		ホール		カウンタ-集成材研磨の上CL	倉庫3・4
見込	40		40		40				40		40		40				
種別	片開き戸		両開き戸		片引き戸				片開き戸		片開き戸		片開き戸				
仕上	軽量鋼製ハンガー片開き戸		両開きフラッシュドア		軽量鋼製ハンガー片引戸				片開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア				
硝子																	
附属金物	シリンドー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		シリンドー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		棒状ハンドル(引手) シリンドー錠				シリンドー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		シリンドー錠、握手、ガラス戸ロールスクリーン(新設) ドアストッパー付、ガラリ付き		シリンドー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き				
改修内容	新設		新設		新設(アウトセット・ハンガードア)				新設		新設		新設	室名札更新			
記号	(BP) ₁	2ヶ所	(BP) ₁	2ヶ所													
姿図																	
見込	44		44														
種別	便所ブース		便所ブース														
仕上	フラッシュドア		フラッシュドア														
硝子																	
附属金物																	
改修内容	新設		新設														

MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

承認

設計

担当

製図

縮尺

A1:S=1/50

A3:S=1/100

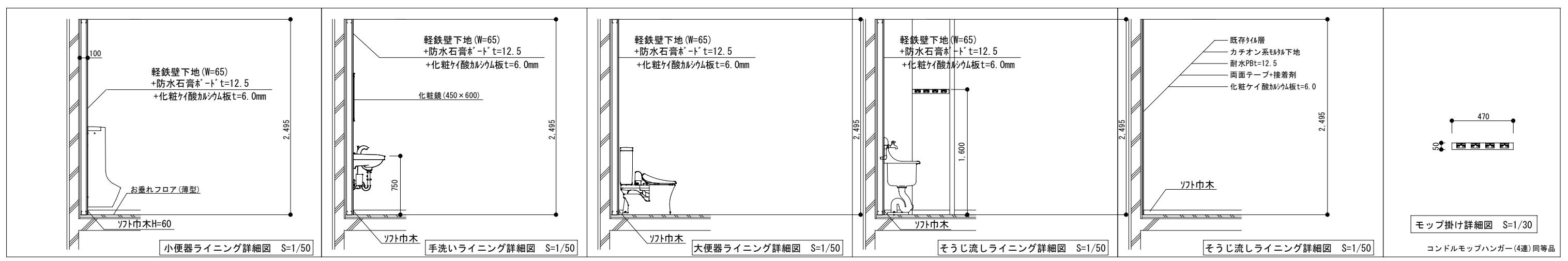
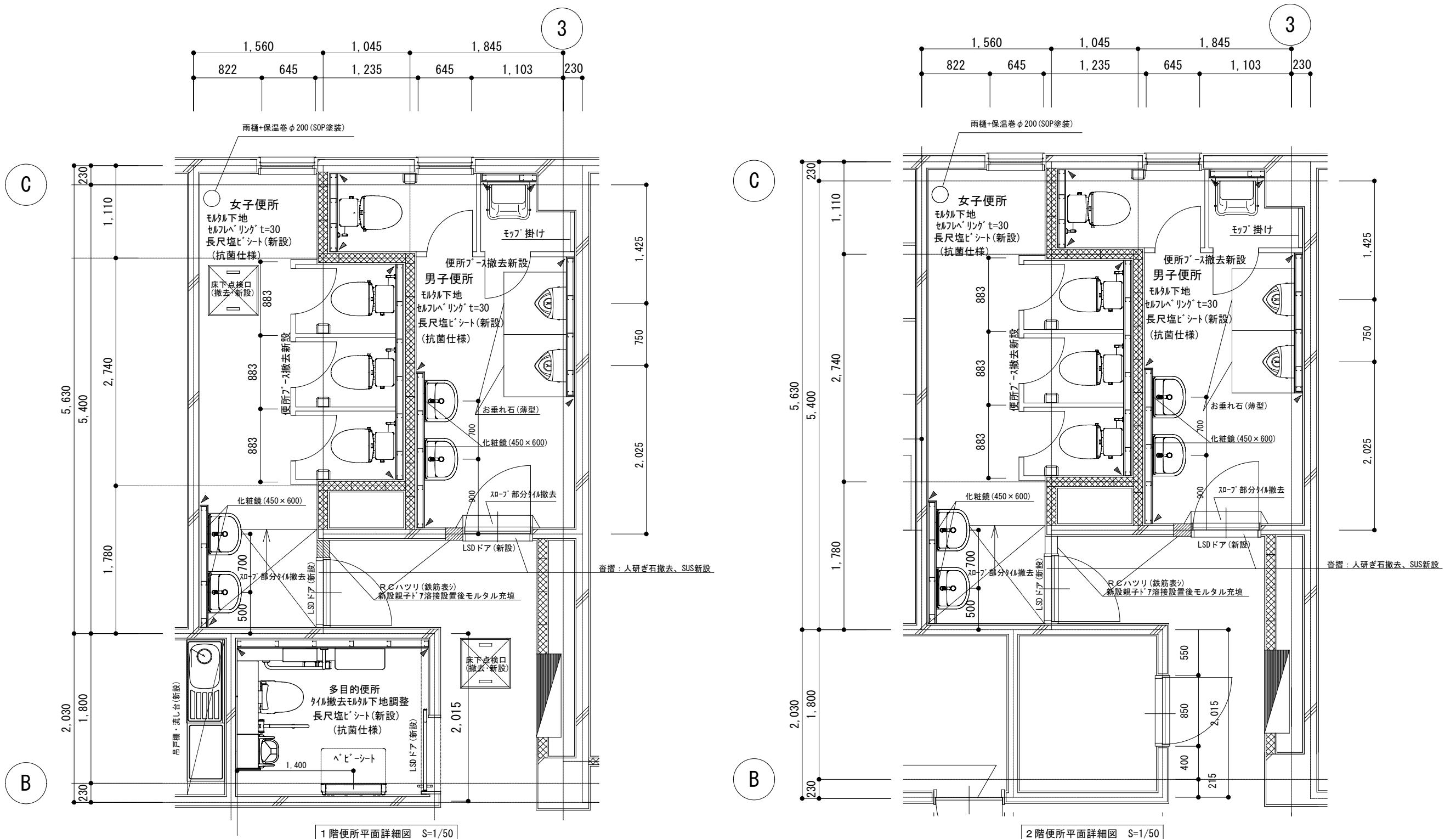
設計年月日

工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事

図面名称 建具表(2)(改修後)

A-44

No.



MEMO

埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 塚田設計

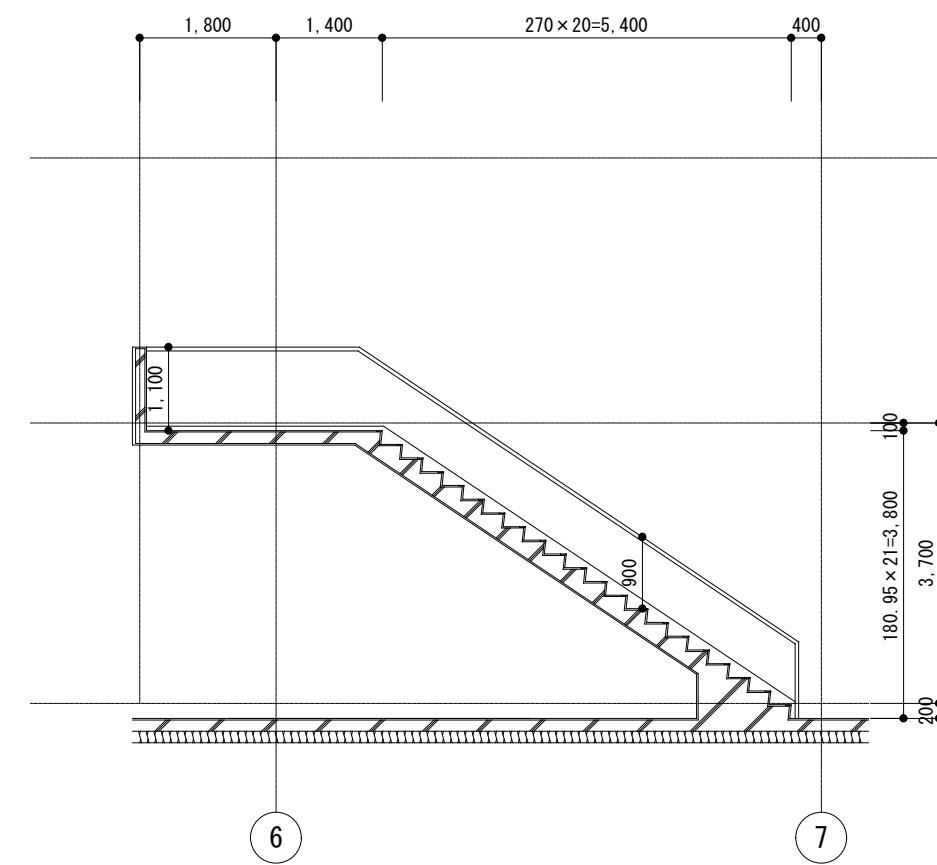
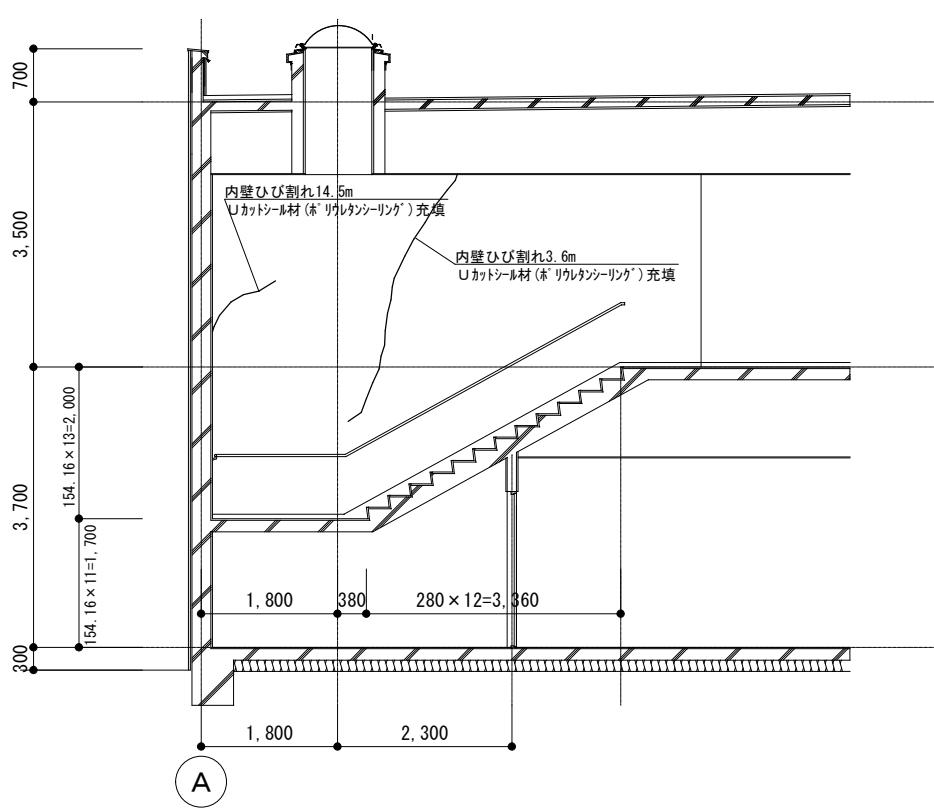
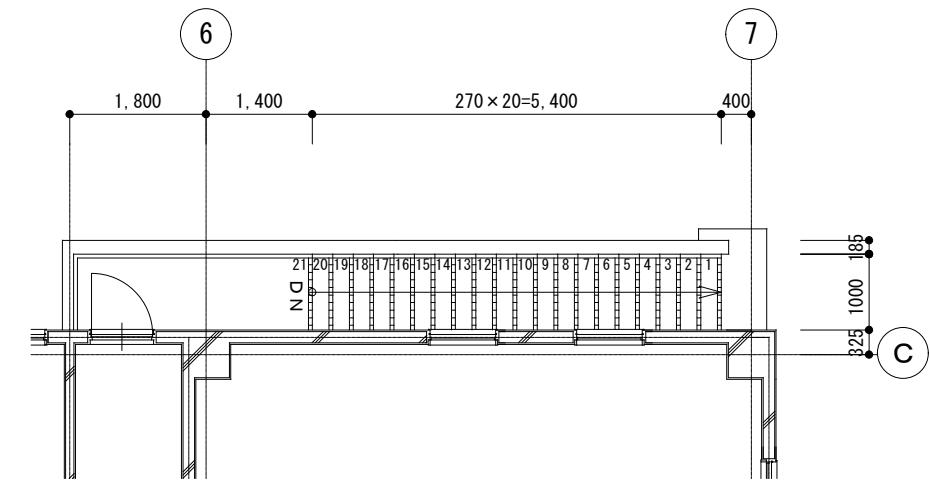
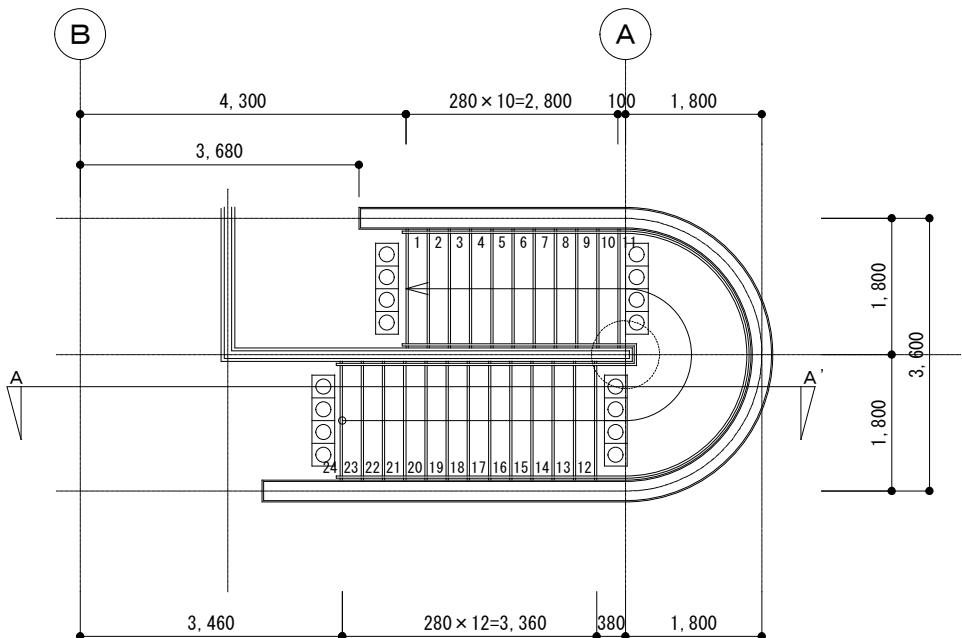
承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1 : S=1/25 A3 : S=1/50
				設計年月日

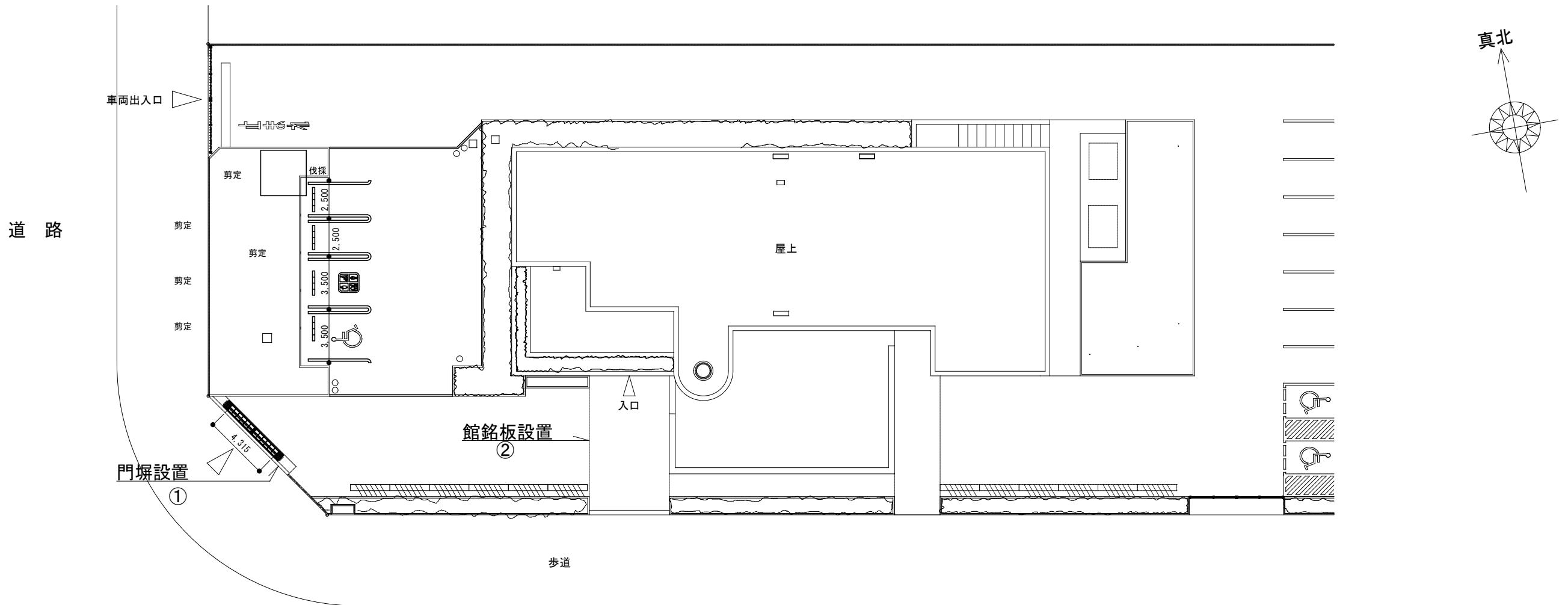
工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 便所詳細図（改修後）

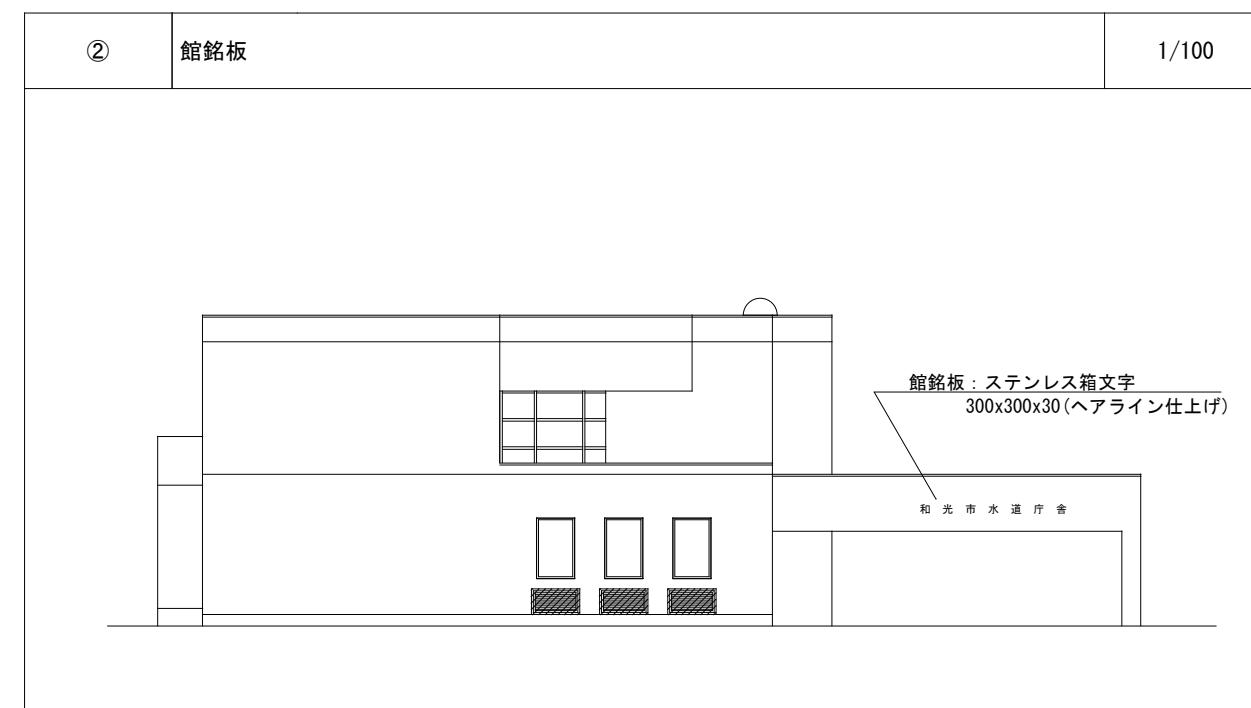
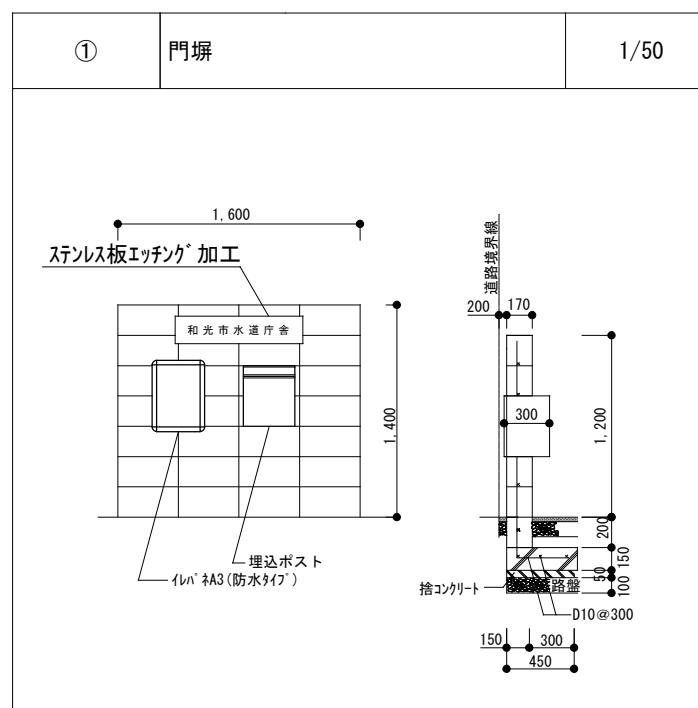
A-45

No.





配置図 S=1/300



MEMO



埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺

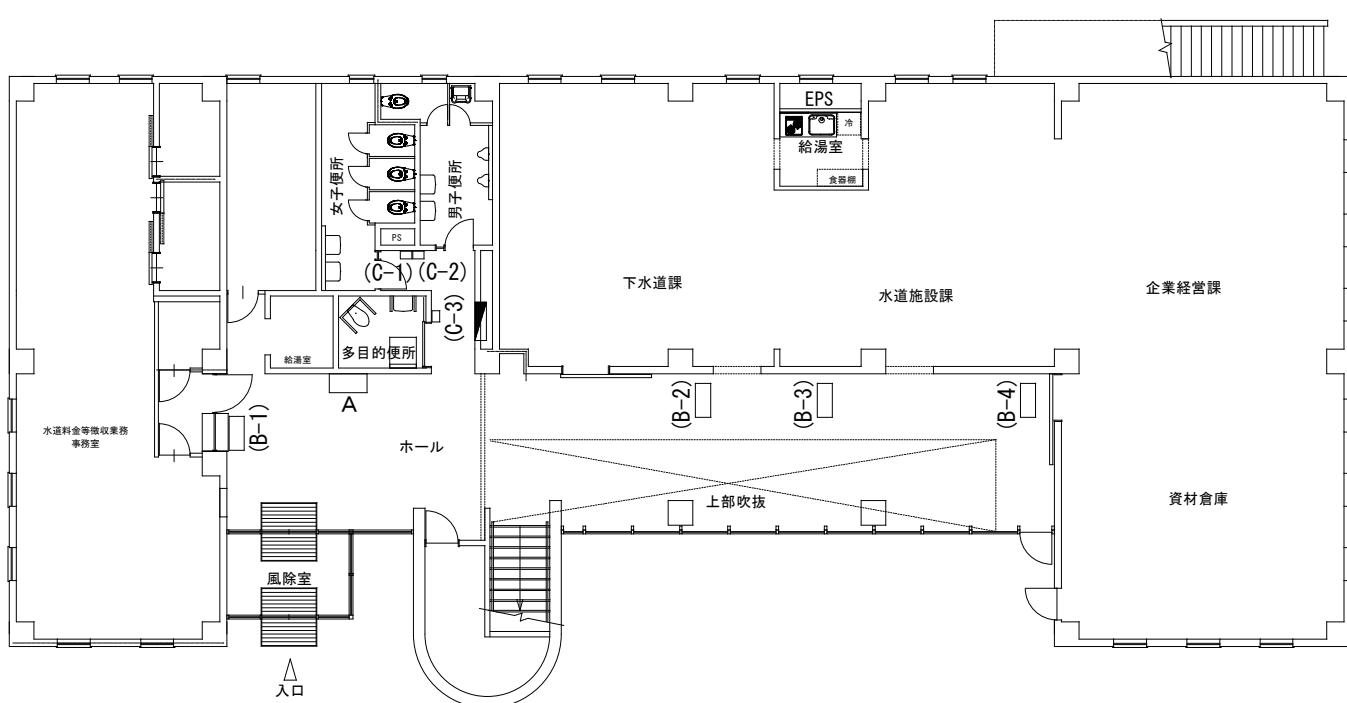
設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

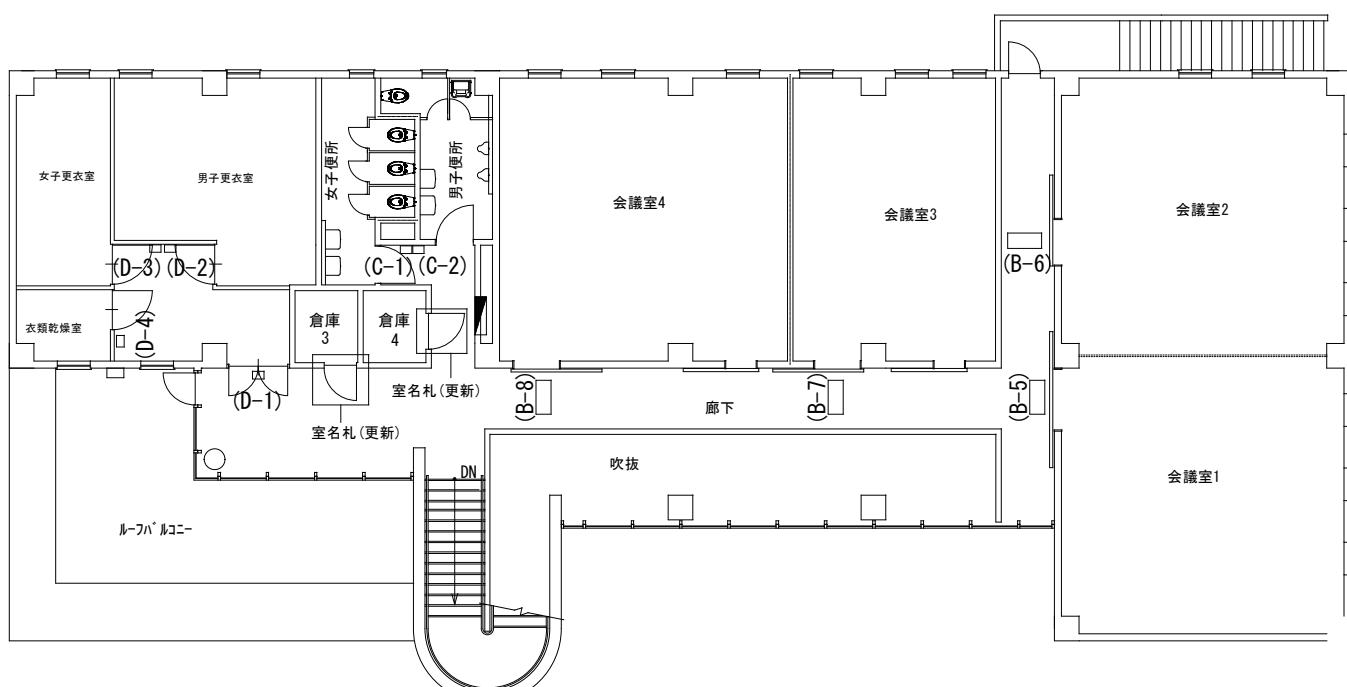
図面名称 サイン計画図(1)

A-47

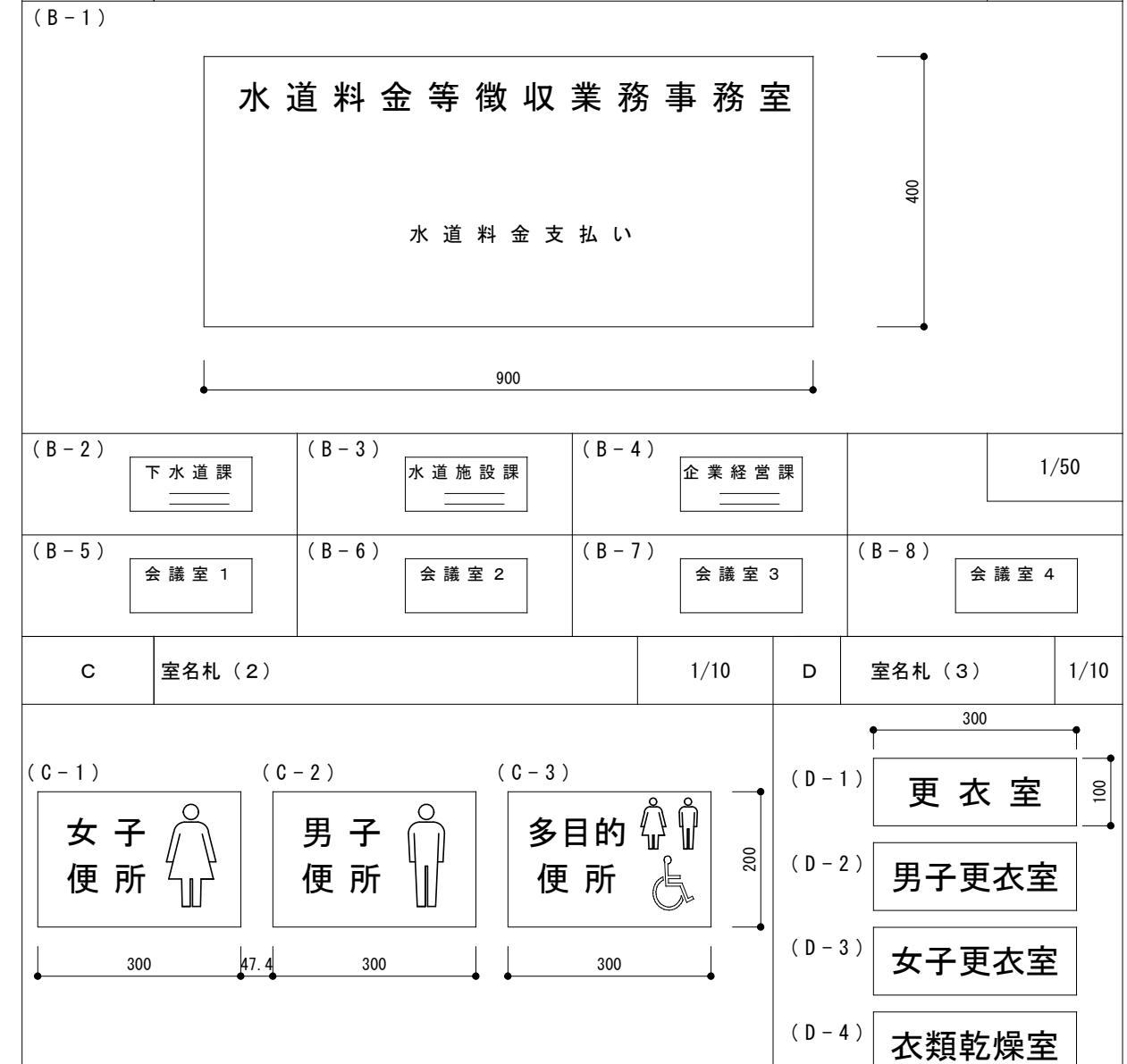
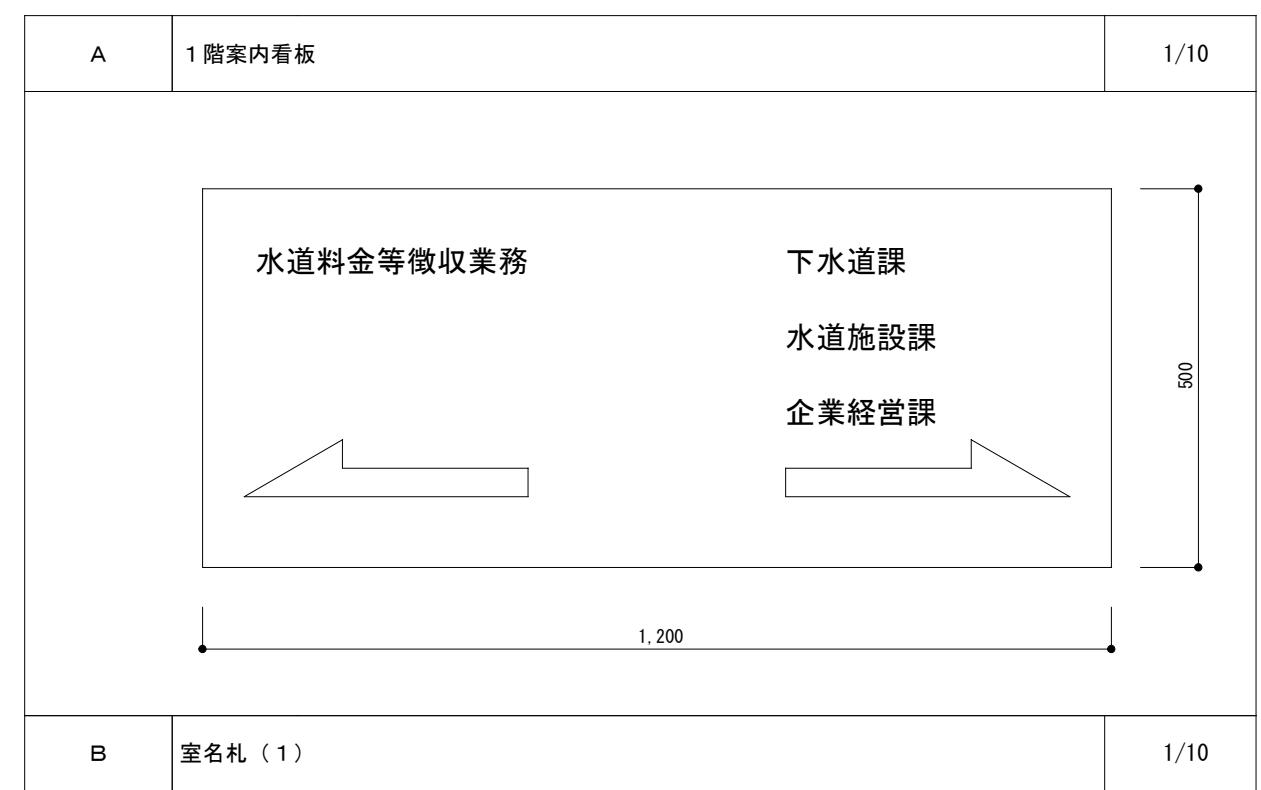
No.

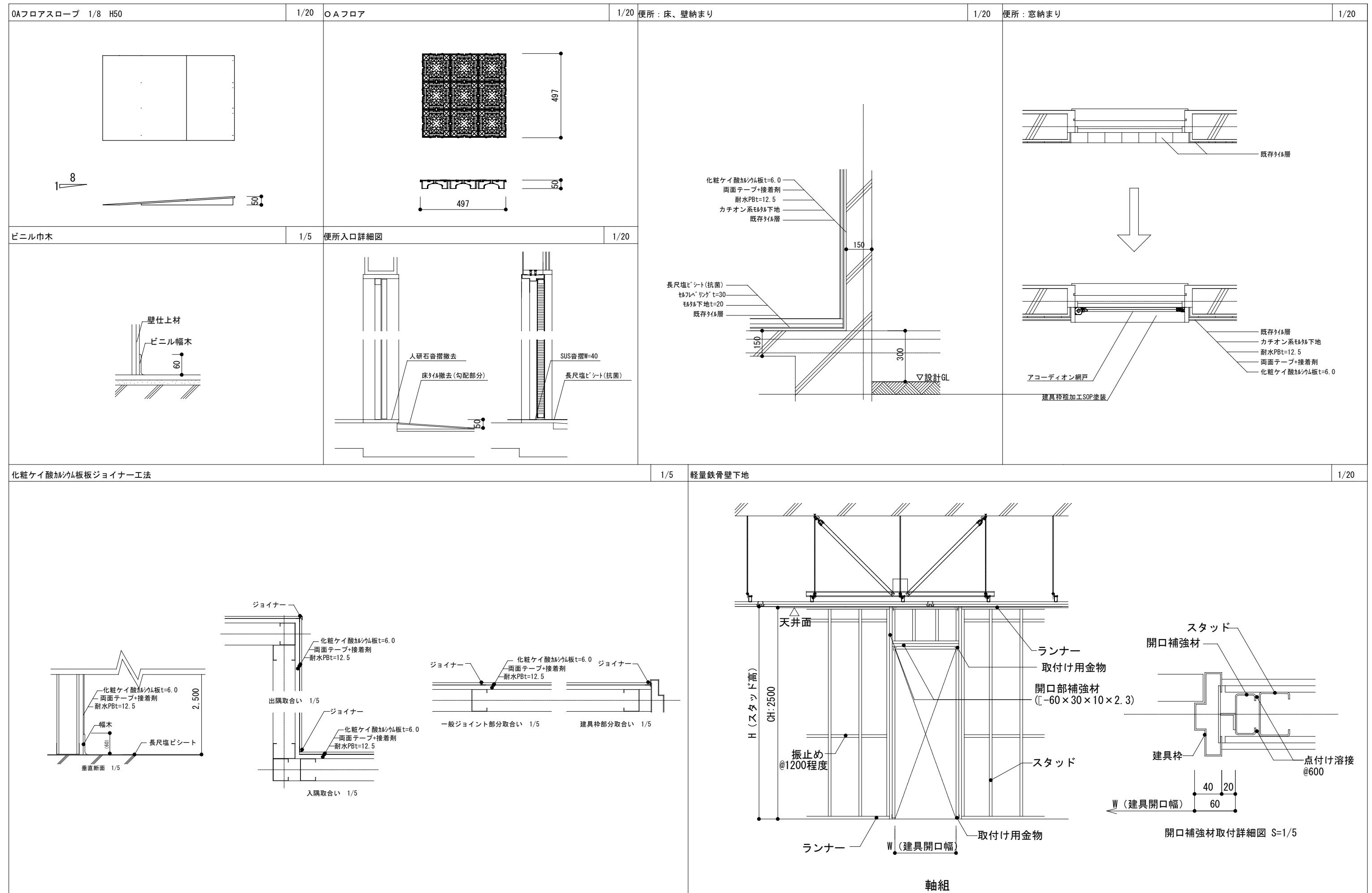


1階サイン計画キープラン図



2階サイン計画キープラン図





MEMO



埼玉県和光市本町9番17号

株式会社 暁田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
設計年月日				

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 部分詳細図(1)

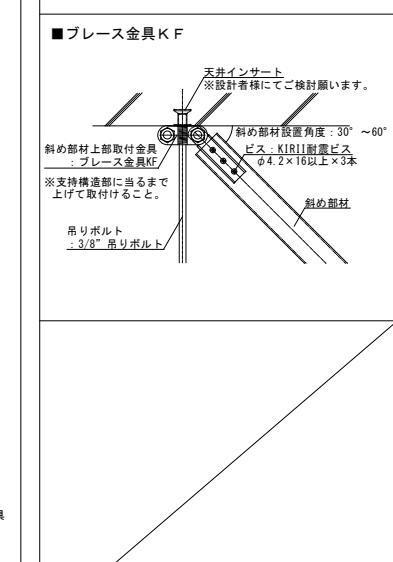
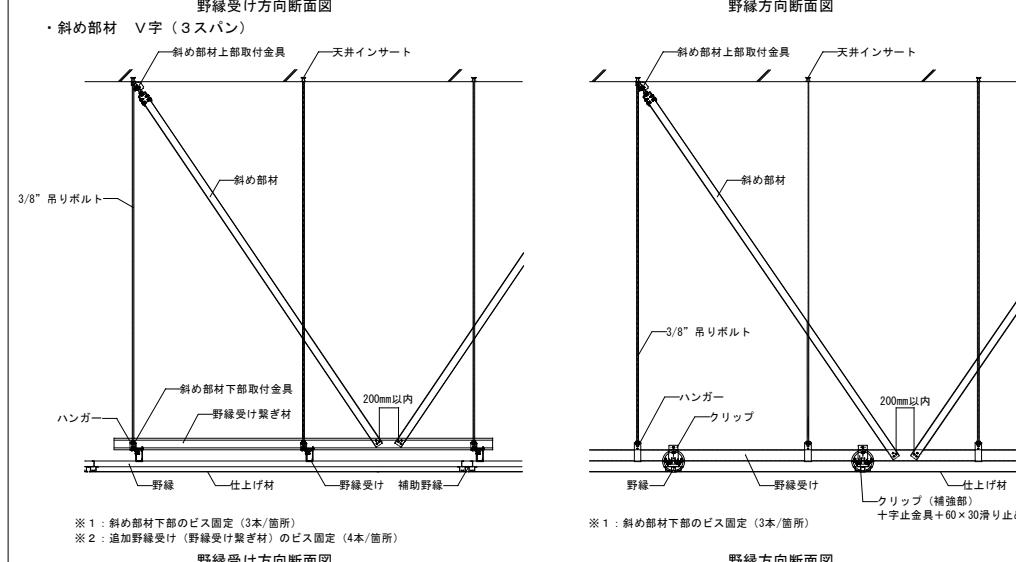
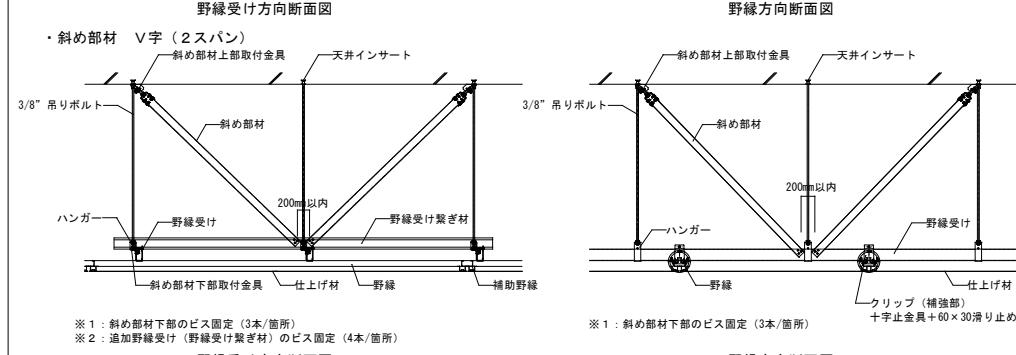
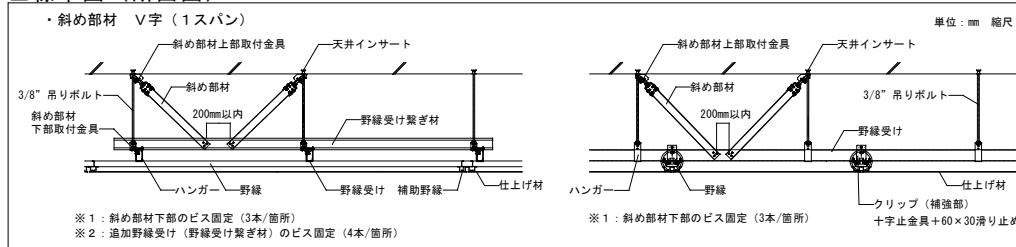
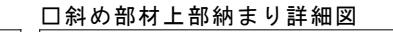
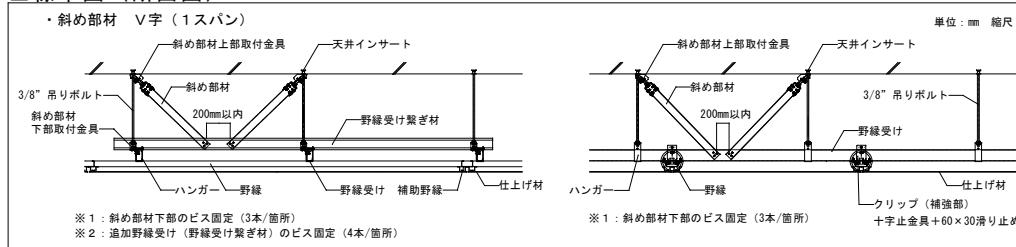
A-49

No.

□部材一覧

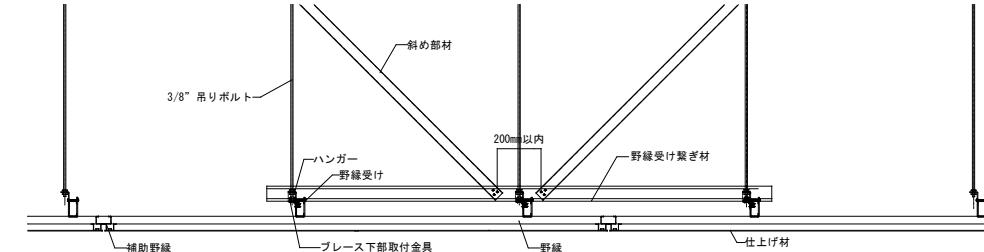
	○吊り材 ・3/8"吊りボルト ・3/8"ナット		○野縁受け ・C-60×30×10×1.6		○野縁 ○補助野縁 ・C-60×30×10×1.6		○追加野縁受け (野縁受け継ぎ材) ・C-60×30×10×1.6
	○吊り材（ハンガー） ・RPハンガー（C60用） (受注生産品)		○野縁受けジョイント ○野縁ジョイント ・LGジョイント60×30用		○付属金物（クリップ） ・十字止金具60×30用		○付属金物（クリップ）補強 ・60×30滑り止め金具 (受注生産品)
	○野縁直交金具（中間部用） ・CTジョイント（60×30）		○野縁直交金具（端部用） ・コーナージョイント		○斜め部材（ブレース） 下部取付金具 ・ブレース金具RP（C60用） (受注生産品)		○ビス ・KIRII耐震ビス PAN4.2×16 ・KIRII耐震ビス PAN4.8×25 ・KIRII耐震ビス HEX4.8×25 ※JIS B 1124 認定品 又はJIS B 1124 準拠品
○斜め部材上部取付金具						○斜め部材（ブレース）	
	・BKGスライド ※対応角度：30°～60°		・ブレース金具KF ※対応角度：30°～60°		○万能キャッチャーボルト70		-チャンネルー -折曲加工ー ・WB-19(19×19×10×1.2)・C-38×15×1.6 ・CC-19(38×12×1.2)・C-40×17×1.6 ・CC-25(38×12×1.6)・C-40×20×1.2 ・C-40×20×1.6 ・C-40×20×2.3
	・BKGフリー ※対応角度：30°～60°				○キャッチャーボルト ・キャッチャーボルト(4070)		-リップ付チャンネルー ・AS-25×19×5×1.0 ・AS-40×20×10×1.6 ・AS-60×30×10×1.6 -折曲加工ー ・AS-50×23×9×1.6 ・AS-50×23×10×1.6 ・AS-50×28×10×1.6

□標準図（断面図）



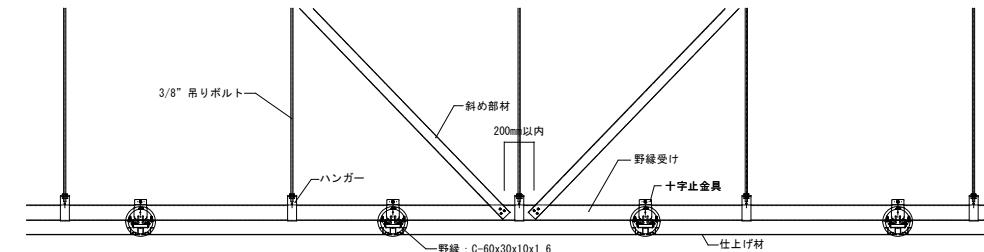
□斜め部材下部の納まり詳細

- ### ・野縁受け方向断面図



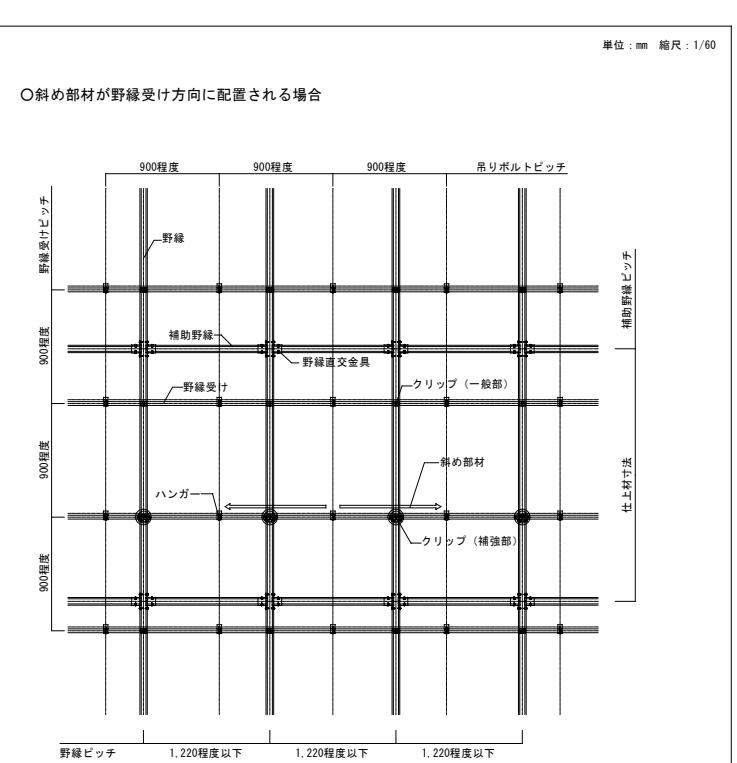
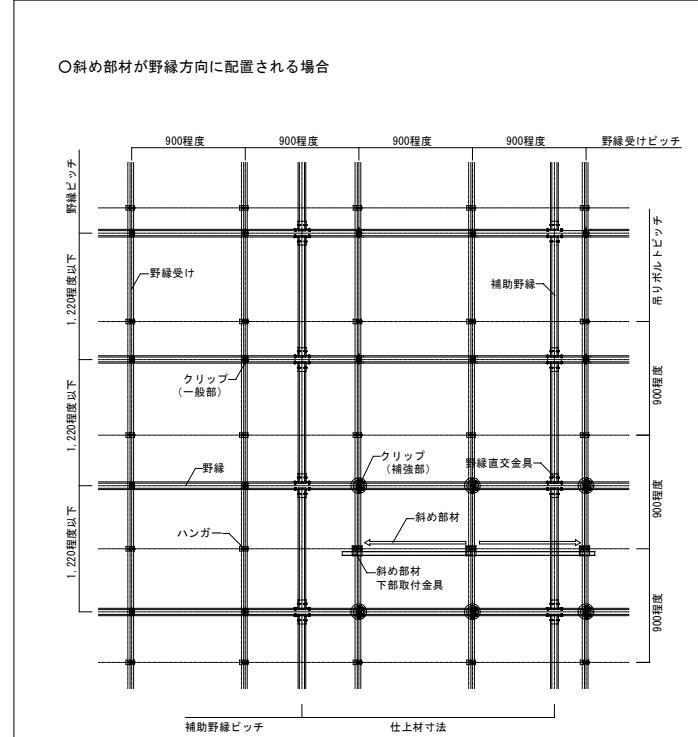
※1：斜め部材下部のビス固定（3本/箇所）
※2：野縁受け繋ぎ材のビス固定（3本/箇所）

・野縁方向断面図



○ クリップ補強部
※1：斜め部材下部のビス固定（3本/箇所）

□各部材の平面配置図



※野縁方向・野縁受け方向の斜め部材が近接する場合
クリップ補強部が重なる箇所については、省略が可能です。

<input type="checkbox"/>	斜め部材下部取付金具：プレース金具RP（C60用）
<input checked="" type="checkbox"/>	クリップ（補強部）：十字止金具60×30用+60×30滑り止め金具 （WPC用）

MEMO

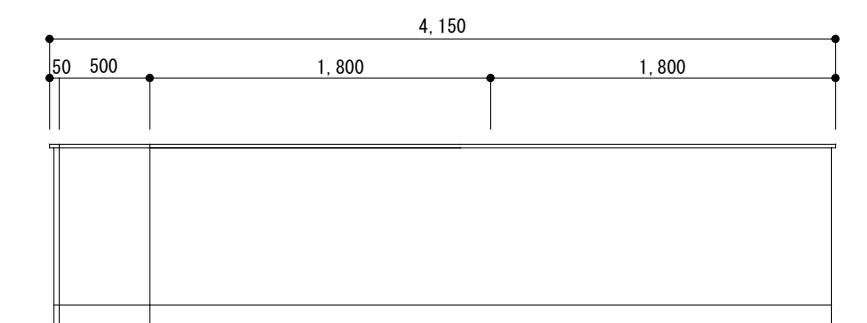
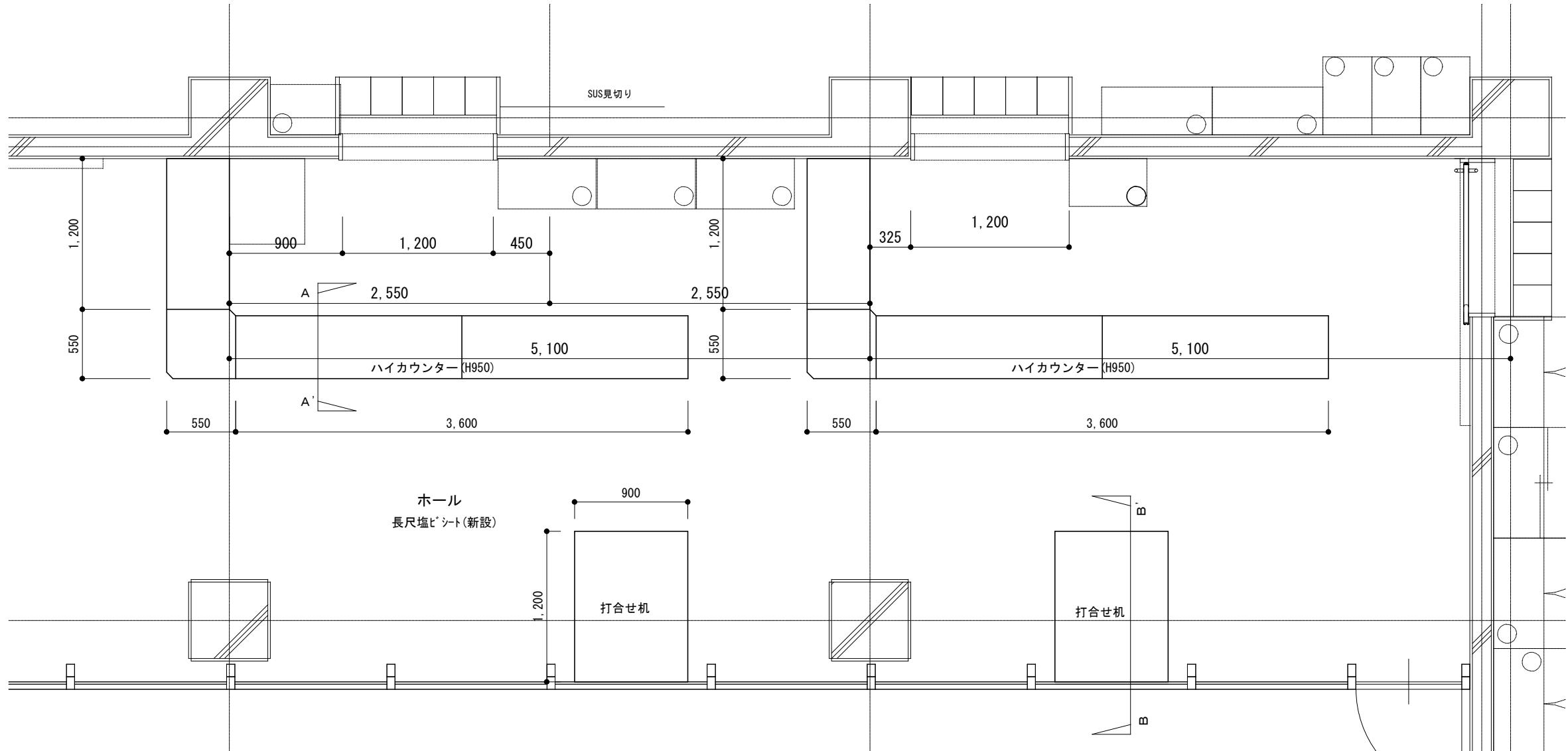


埼玉県和光市本町9番17号

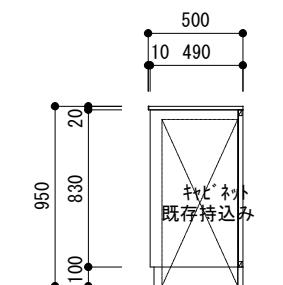
株式会社 塚田設計

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

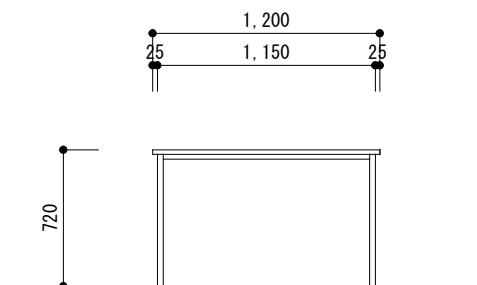
図面名称 部分詳細図(2)



立面図



A-A' 断面図



B-B' 断面図

MEMO				
------	--	--	--	--



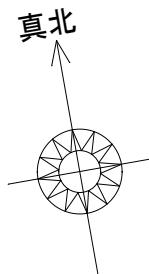
埼玉県和光市本町9番17号
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				A1:S=1/20 A3:S=1/40
				設計年月日

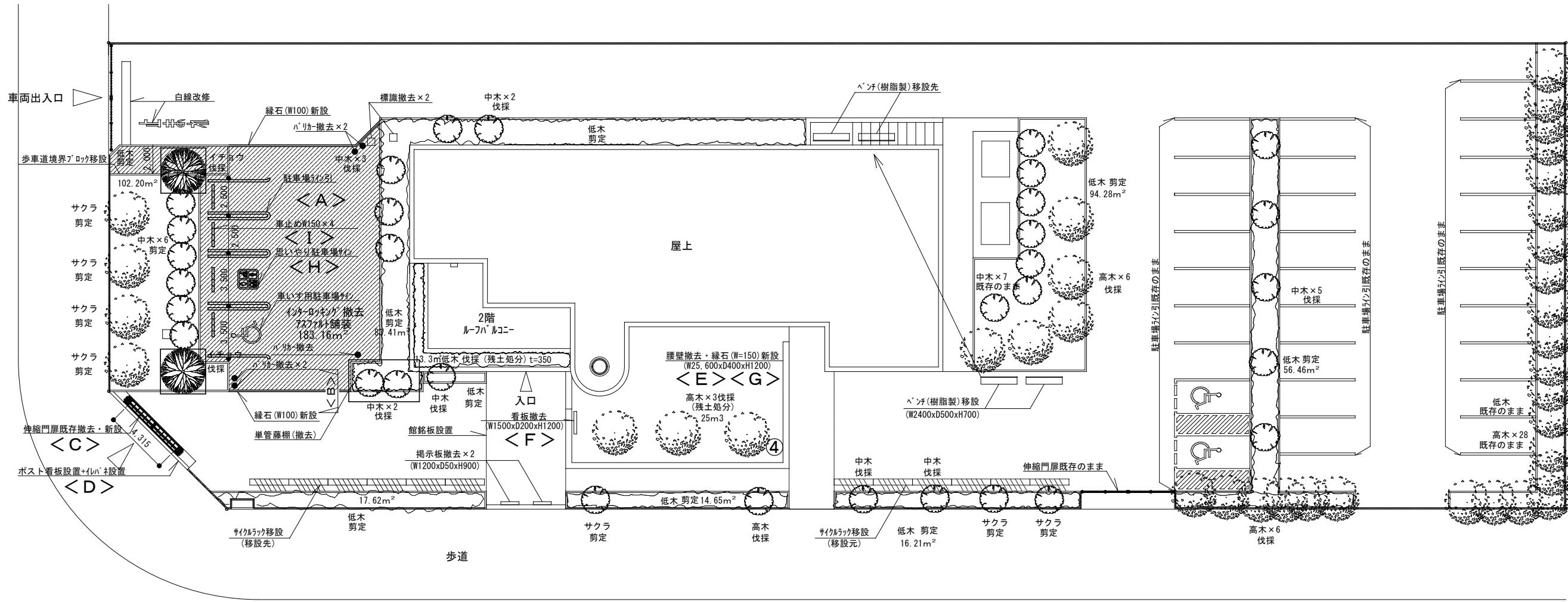
工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 家具詳細図(1)

A-51
No.



道路



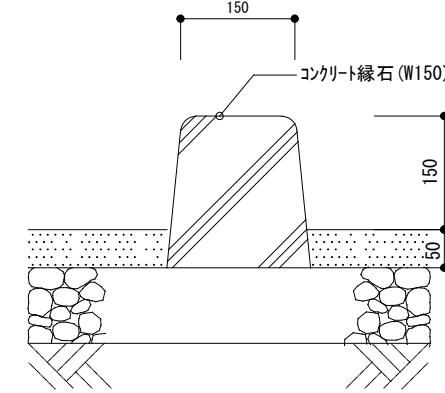
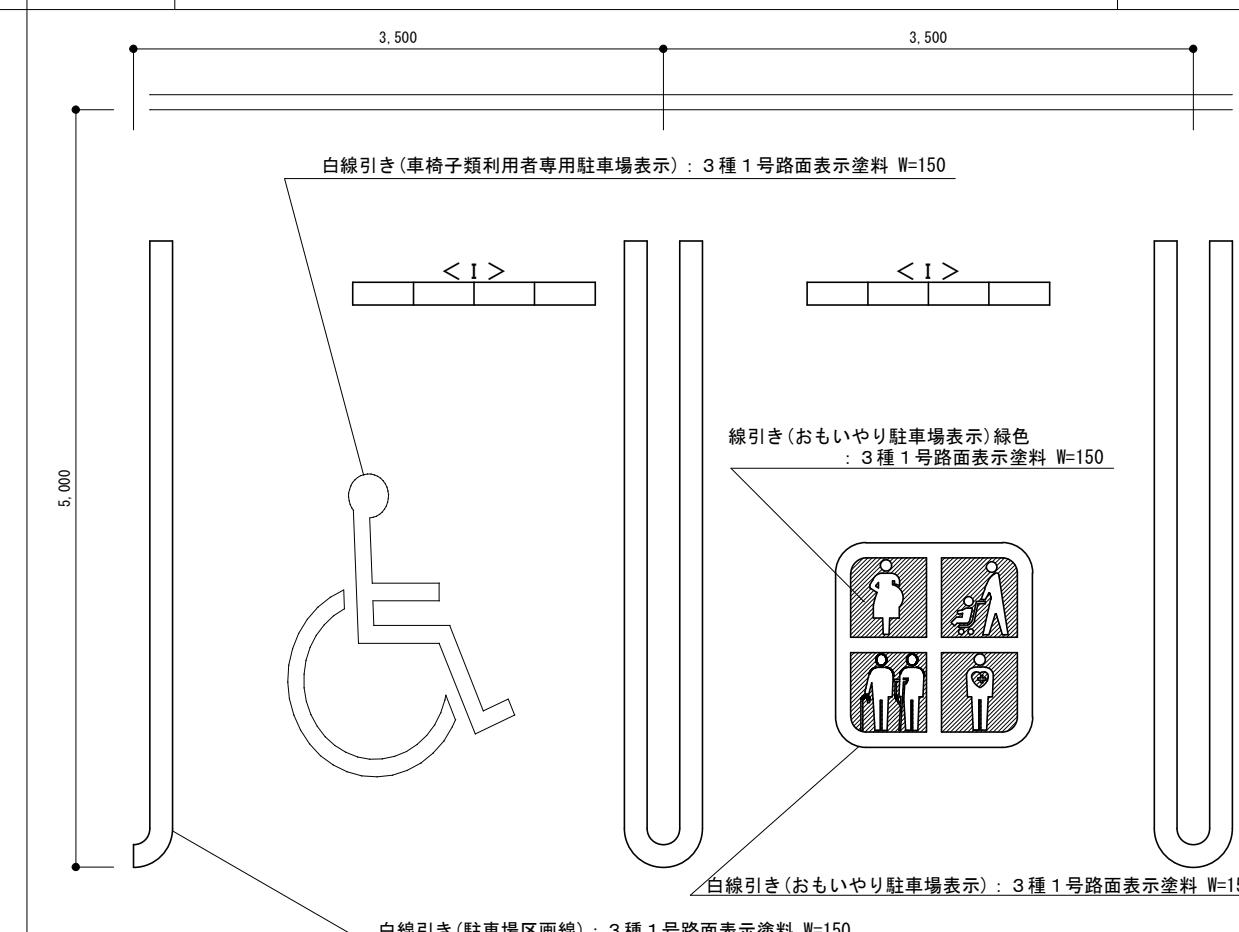
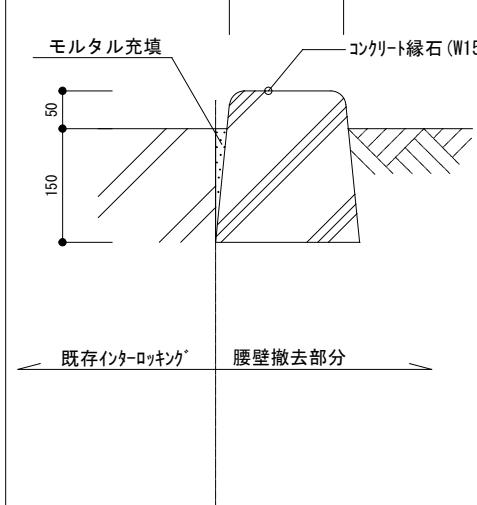
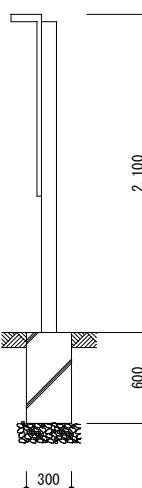
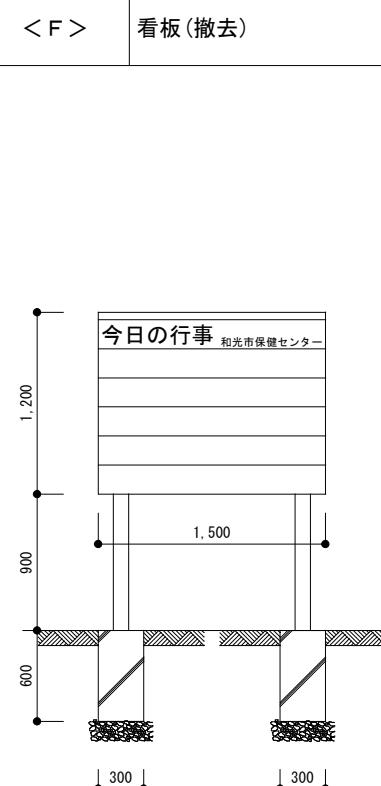
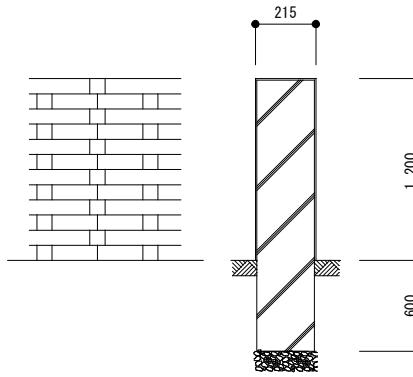
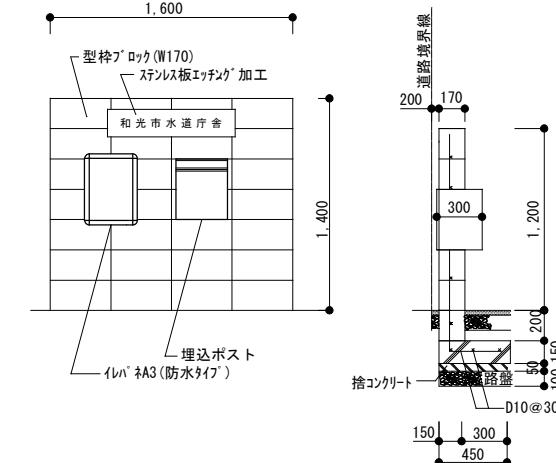
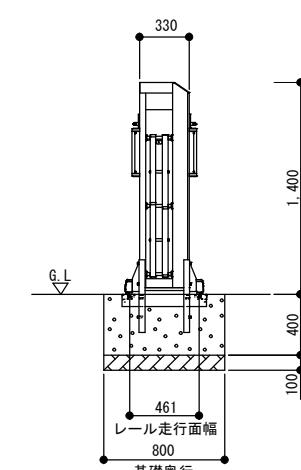
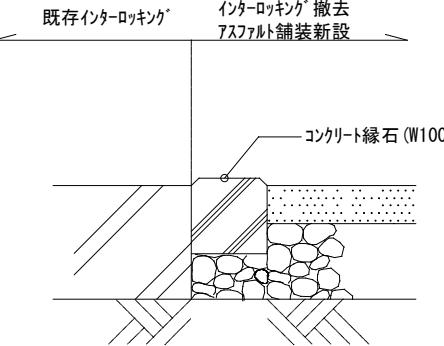
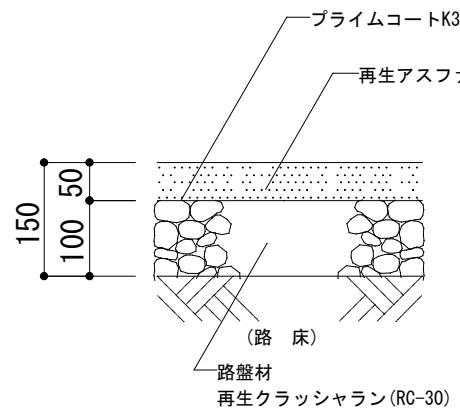
外構圖

緑地計算

必要緑地面積 : $2972.17 \times 0.1 = 297.217$
高木必要本数 : $298/10 = 29.8$ (本)
低木必要本数 : $298/10 \times 20 = 596$ (本)

MEMO	埼玉県和光市本町9番17号	承認	設計	担当	製図	縮尺	A1 : 1/150		工事名称	事務所用建物（旧保健センター）改修工事	
	株式会社 塚田設計					A3 : 1/300		設計年月日			
									図面名称	外構図	No.

<A>	駐車場アスファルト舗装	1/10		新設アスファルト舗装見切り	1/10	<C>	伸縮門扉	1/50	<D>	門塀	1/50	<E>	腰壁(撤去)	1/50
<F>	看板(撤去)	1/50	<G>	撤去腰壁見切り	1/10	<H>	駐車場				1/50	<I>	駐車場車止め	1/10



MEMO

